

第一回

年代と単位を読む

数字だけを追わず、年代・回数・単位の違いを確かめる。

今日の中心漢字

回 台 先 午 再 歳 旦 式

いっしょに覚える漢字

九	分	四	百	毎	羽
才	尺	俵	匹	厘	壺

回数や時刻、物を数える単位を確かめたあと、古い帳簿の数字を現代の年表へ正確に移す文章を読みま
す。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
回 台 先 午	カイ・エ・まわ る・まわす	めぐる／回数を数える 回数・今回・巡回・一回	再 歳 旦 貳	サイ・サ・ふたた び	もう一度 再建・再度・再開・再現
	ダイ・タイ	物を載せるもの／機械を数える 台数・台帳・土台・一台		サイ・セイ	年／年齢 歳月・何歳・歳末・歳入
	セン・さき・まず	前／これから向かう方 先代・先月・先頭・祖先		タン・ダン・あし た	夜明け／朝 元旦・一旦・旦夕・月旦
	ゴ	正午を中心とする時刻 午前・正午・午後・午前中		ニ	二の改まった書き方 貳枚・貳番・金貳円・壺貳

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
九 分 四 百 毎 羽	キュウ・ク・ここ の・ここのつ	数の九 九回・九年・九人・九月	才 尺 俵 匹 厘 壺	サイ	生まれつきの力／年齢 才能・天才・秀才・十才
	ブン・フン・ブ・ わける・わかる	分ける／時間の単位 分間・部分・区分・十分		シャク	昔の長さの単位 一尺・尺貫法・尺度・曲尺
	シ・よ・よつ・よ つつ	数の四 四年・四人・四月・四方		ヒョウ・たわら	わらで編んだ袋／俵を数える 一俵・米俵・土俵・俵物
	ヒャク・ピャク・ ピャク	数の百 百戸・百年・数百・百科		ヒツ・ひき	小動物などを数える 一匹・匹数・二匹・匹敵
	マイ・ごと	そのたび／一つ一つ 毎年・毎回・毎日・毎月		リン	一の千分の一／ごく小さい割合 一厘・九分九厘・厘毛・年利一厘
	ウ・は・はね	鳥のはね／鳥などを数える 一羽・羽毛・羽音・千羽		イチ・イツ	一の改まった書き方 壺枚・壺番・金壺円・壺貳

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「回数」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 同じ種類のことが行われた数。
- イ 一つ前の代を担った人。
- ウ 失われたり壊れたりした建物などを建て直すこと。
- エ 一月一日の朝、または一月一日。

(2) 「台数」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 正午より前の時間。
- イ 年月として積み重なった時間。
- ウ 改ざんを防ぐため式を用いて二枚と記した表記。
- エ 機械や車などを台で数えた数。

(3) 「先代」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 失われたり壊れたりした建物などを建て直すこと。
- イ 一月一日の朝、または一月一日。
- ウ 一つ前の代を担った人。
- エ 同じ種類のことが行われた数。

(4) 「午前」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 年月として積み重なった時間。
- イ 正午より前の時間。
- ウ 改ざんを防ぐため式を用いて二枚と記した表記。
- エ 機械や車などを台で数えた数。

(5) 「再建」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 失われたり壊れたりした建物などを建て直すこと。
- イ 一月一日の朝、または一月一日。
- ウ 同じ種類のことが行われた数。
- エ 一つ前の代を担った人。

(6) 「歳月」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 改ざんを防ぐため式を用いて二枚と記した表記。
- イ 機械や車などを台で数えた数。
- ウ 正午より前の時間。
- エ 年月として積み重なった時間。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 回数 歳月 四年 台数 元旦 百戸 先代 忒枚 毎年 午前 九回 一羽 再建 分間

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| (1) 練習の（ ）を増やすだけでなく、方法も見直した。 | (8) 領収書には改ざんを防ぐため「（ ）」と記した。 |
| (2) 駐車場の空き（ ）を入口の表示で確認する。 | (9) この大会への出場は、今回で（ ）目になる。 |
| (3) 店の味は（ ）から今の主人へ受け継がれた。 | (10) 目を閉じて3（ ）、ゆっくり呼吸した。 |
| (4) 会議は（ ）10時から始まる。 | (11) 大学で過ごした（ ）を振り返る。 |
| (5) 火災で失われた門を、古い図面に基づいて（ ）した。 | (12) 山あいの（ ）ほどの村に診療所ができた。 |
| (6) 長い（ ）を経ても、二人の友情は変わらなかった。 | (13) この祭りは（ ）同じ日に開かれる。 |
| (7) （ ）の朝、家族そろって新年を祝った。 | (14) 池のほとりに白い鳥が（ ）立っていた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「回数」と「年代」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 回数は出来事の起きた年や時代、年代は同じことが行われた回数を表す。
- イ 回数は同じことが行われた回数の数、年代は出来事の起きた年や時代を表す。
- ウ どちらも数字で示せるため、何を数えるかを区別する必要はない。
- エ 回数は新しい資料、年代は古い資料にだけ用いる。

(2) 「午前」と「正午」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 午前は昼の十二時に当たる時刻、正午は正午より前の時間帯を表す。
- イ どちらも昼より前を示し、時間帯と一点の時刻の違いはない。
- ウ 午前は日の出から、正午は日没までを表す。
- エ 午前は正午より前の時間帯、正午は昼の十二時に当たる時刻を表す。

(3) 「一尺」と「一厘」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 一尺は一を千に分けた一つ分ほどの小さな単位、一厘は尺を一つ分とした長さを表す。
- イ 一尺は尺を一つ分とした長さ、一厘は一を千に分けた一つ分ほどの小さな単位を表す。
- ウ どちらも昔の長さだけを測る単位であり、その対象は同じである。
- エ 一尺は重さ、一厘は個数を数える場合にだけ用いる。

(4) 「壹」と「一」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 壹は日常の文章で広く用いる数字、一は改ざんを防ぐ文書などで用いる改まった数字を表す。
- イ どちらも数値が同じなので、文書の目的にかかわらず常に同じ形を用いる。
- ウ 壹は古代だけ、一は現代だけに用いる数字である。
- エ 壹は改ざんを防ぐ文書などで用いる改まった数字、一は日常の文章で広く用いる数字を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「調査の（A）を数える」 B「資料の（B）を推定する」

- ア A=回数／B=年代 イ A=年代／B=回数
- ウ A=回数／B=回数 エ A=年代／B=年代

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「板の幅は（A）」 B「利率は（B）」

- ア A=一厘／B=一尺 イ A=一尺／B=一厘
- ウ A=一尺／B=一尺 エ A=一厘／B=一厘

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| (1) コンカイの調査では、古い地図も参考にする。 | (9) 難しい問題を次々に解き、皆からテンサイと呼ばれた。 |
| (2) 雨で中断した試合は、午後からサイカイされた。 | (10) 年齢ごとに参加者を三つのクブンへ分けた。 |
| (3) 備品の購入日を、学校のダイチョウに記録した。 | (11) シガツから、新しい学年が始まる。 |
| (4) サイマツの商店街は、買い物客でにぎわう。 | (12) 未知の言葉を調べるため、ヒャッカ事典を開いた。 |
| (5) センゲツと今月の売上を比べた。 | (13) 会議のマイカイ、議事録を残している。 |
| (6) 戦いの危機がタンセキに迫り、城内は緊張した。 | (14) 寒い地域の鳥は、厚いウモウに覆われている。 |
| (7) 時計の針がショウゴを指し、休憩に入った。 | (15) 昔の長さや重さには、シャッカカンホウが用いられた。 |
| (8) クガツになると、朝夕の空気が涼しくなる。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 一尺 () | (17) 一俵 () | (18) 一匹 () | (19) 一厘 () | (20) 壹枚 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

帳簿の数字を年表へ移す

地域史展の準備で、悠人と真央は市場の古い台帳を調べた。そこには市を開いた回数、荷車の台数、先代の名、再建した倉の年代が並ぶ。数字は多いが、そのままでは一つの年表に移せない。

ある頁には「元旦の午前九時」、別の頁には「四年後」とある。毎年の記録か、九回目の催しかも見分ける必要がある。百戸という家の数と、工事に百日かかったという期間も同じではない。

【数字の横に補うこと】年代／回数／対象／単位／原文の表記

悠人は換算後の数字だけを表へ入れかけたが、真央が原文の欄を指した。読み替えた値は便利でも、元の数え方を消せば、後から判断を戻せない。

物資欄には米一俵、鶏一羽、馬一匹、板一尺と記されていた。才は才能を表すことも年齢を数えることもあり、分は割合にも分間にもなる。後ろの語を読まなければ、数字の働きは決まらない。

証文には壺枚・弍枚という字が使われ、価格には一厘まで書かれていた。壺と弍は一と二の改まった表記で、金額や枚数を書き換えにくくする工夫である。珍しい字だから別の数というわけではない。

歳月を経て紙が欠けた箇所は、推測で埋めなかった。「再建」と「新築」、「先代」と「祖先」も区別し、元の語を欄外へ写す。現代の言葉に直すときも、原文を残せば判断を確かめ直せる。

二人は、同じ百でも百戸・百日・百俵を別の列に置いた。午前と午後は時刻の区切り、毎年は繰り返し、九年は期間である。数字の前後まで読むと、ばらばらだった記録がつながり始めた。二人は一枚の札に、原文・読み替え・根拠の三段を作った。数字の正確さだけでなく、どのように読んだかも展示するためである。

年表は数字を小さい順に並べる表ではない。何の年代か、何回起きたか、どの単位で数えたかを示すことで、初めて過去の出来事を比べられる。二人は原文と換算後の値を並べて展示することにした。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「失われたり壊れたりした建物などを建て直すこと」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「サイゲツ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「壺枚」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 鳥を一つと数える言い方。
- イ 尺を一つ分とした長さ。
- ウ 改ざんを防ぐため、壺を用いて一枚と記した表記。
- エ 同じ種類のことが九度行われること。

（4）同じ「百」でも別の列に置いたのはなぜか。

- ア 百を用いた記録は年代が分からないから。
- イ 百戸・百日・百俵では数えている対象と単位が異なり、そのままでは比べられないから。
- ウ 古い帳簿では百が九を表すから。
- エ 一つの列には二桁の数字しか置けないから。

（5）二人が原文の表記も欄外へ残したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「対象」「単位」の二語を用い、帳簿の数字を年表へ移す方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| (1) ア 同じ種類のことが行われた数。 | (4) イ 正午より前の時間。 |
| (2) エ 機械や車などを台で数えた数。 | (5) ア 失われたり壊れたりした建物などを建て直すこと。 |
| (3) ウ 一つ前の代を担った人。 | (6) エ 年月として積み重なった時間。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 回数 | (8) 式枚 |
| (2) 台数 | (9) 九回 |
| (3) 先代 | (10) 分間 |
| (4) 午前 | (11) 四年 |
| (5) 再建 | (12) 百戸 |
| (6) 歳月 | (13) 毎年 |
| (7) 元旦 | (14) 一羽 |

使い分けを確かめよう：回数は同じことが行われた回の数、年代は出来事の起きた年や時代を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 回数は同じことが行われた回の数、年代は出来事の起きた年や時代を表す。

用例：調査の回数を数える／資料の年代を推定する

(2) エ 午前は正午より前の時間帯、正午は昼の十二時に当たる時刻を表す。

用例：午前九時に開く／正午に鐘が鳴る

(3) イ 一尺は尺を一つ分とした長さ、一厘は一を千に分けた一つ分ほどの小さな単位を表す。

用例：板の幅は一尺／利率は一厘

(4) エ 壹は改ざんを防ぐ文書などで用いる改まった数字、一は日常の文章で広く用いる数字を表す。

用例：証文に金壹円と記す／一円玉を数える

(5) ア A＝回数、B＝年代。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝一尺、B＝一厘。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 今回	(11) 四月
(2) 再開	(12) 百科
(3) 台帳	(13) 毎回
(4) 歳末	(14) 羽毛
(5) 先月	(15) 尺貫法
(6) 旦夕	(16) いっしゃく
(7) 正午	(17) いっぴょう
(8) 九月	(18) いっぴき
(9) 天才	(19) いちりん
(10) 区分	(20) いちまい

七 文章の中で考えよう

- (1) 再建 本文中では「再建」と表されている。
- (2) 歳月
- (3) ウ 改ざんを防ぐため、壺を用いて一枚と記した表記。
- (4) イ 百戸・百日・百俵では数えている対象と単位が異なり、そのままでは比べられないから。
- (5) 解答例（47 字）

現代語への直し方や欠けた箇所の推定が適切か、元の資料に戻って後から確かめ直せるようにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（70 字）

数字だけを写さず、何を数えた対象なのか、どの単位を用いたのかを前後の語から確かめる。原文も残し、年代・回数・数量を別の列に整理して比較する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第二回

国土と境界

地図の線を固定した壁と見なさず、地形と人の往来から読む。

今日の中心漢字

北 県 西 丁 阪 頂 郷 溪

いっしょに覚える漢字

界	横	際	障	陞	陷
沼	隆	坪	堤	畝	嵐

北・西などの方角、郷・県などの地域を表す字を確かめたあと、古地図の境界が変わった理由を探る文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
北 県 西 丁	ホク・きた	方角の北 北部・北方・北国・東北	阪 頂 郷 溪	ハン・さか	坂／地名に用いる 京阪・大阪・阪神・京阪神
	ケン・かける	地方公共団体の区分 県境・県内・県庁・都道府県		チョウ・いただ く・いただき	いちばん高い所 山頂・頂上・絶頂・頭頂
	セイ・サイ・にし	方角の西 西岸・西部・西方・東西		キョウ・ゴウ・さ と	村里／ふるさと 郷土・故郷・郷里・在郷
	チョウ・テイ・ひ のと	町の区画／順序の印 丁目・丁番・包丁・甲乙丙丁		ケイ・たに	山あいの谷川 溪谷・溪流・雪溪・溪間

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
界 横 際 障 陞 陥	カイ	区切り／ある範囲 境界・世界・限界・業界	沼 隆 坪 堤 畝 嵐	ショウ・ぬま	浅い水がたまった所 沼地・湖沼・沼沢・泥沼
	オウ・よこ・よこ たわる・よこたえ る	左右の方向／わき 横断・横幅・横道・縦横		リュウ	盛ん／高くなる 隆起・隆盛・興隆・隆々
	サイ・きわ	境目／ある時 水際・国際・実際・間際		ヘイ・つぼ	土地や建物の面積の単位 坪数・一坪・建坪・坪庭
	ショウ・さわる	さえぎる／妨げ 障壁・障害・支障・保障		テイ・つつみ	水を防ぐ土手 堤防・防波堤・堤岸・築堤
	ヘイ	宮殿の階段／君主への敬称 陛下・陛辞・宮陞・階陞		ホ・ポウ・せ・う ね	畑の土を盛った列／土地の単位 畝・畝間・畝立て・十畝
	カン・おちいる・ おとしいれる	落ち込む／はまり込む 陥没・陥る・欠陥・陥落		ラン・あらし	激しい風雨 嵐・春嵐・砂嵐・嵐山

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「北部」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 川・湖・海などの西側の岸。
- イ ある地域の北側の部分。
- ウ 京都と大阪、またはその間の地域。
- エ 自分が生まれ育った土地や地域。

(2) 「県境」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 隣り合う県と県の境。
- イ 町を分けた区画を数える単位。
- ウ 山の最も高い所。
- エ 山地で川に削られてできた深い谷。

(3) 「西岸」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 京都と大阪、またはその間の地域。
- イ 自分が生まれ育った土地や地域。
- ウ ある地域の北側の部分。
- エ 川・湖・海などの西側の岸。

(4) 「丁目」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 山の最も高い所。
- イ 山地で川に削られてできた深い谷。
- ウ 町を分けた区画を数える単位。
- エ 隣り合う県と県の境。

(5) 「京阪」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自分が生まれ育った土地や地域。
- イ 京都と大阪、またはその間の地域。
- ウ ある地域の北側の部分。
- エ 川・湖・海などの西側の岸。

(6) 「山頂」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 山の最も高い所。
- イ 山地で川に削られてできた深い谷。
- ウ 隣り合う県と県の境。
- エ 町を分けた区画を数える単位。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 北部 山頂 水際 県境 郷土 障壁 西岸 溪谷 陛下 丁目 境界 陥没 京阪 横断

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) 県の（ ）では、冬に雪が多く降る。 | (8) 深い（ ）を川が蛇行して流れている。 |
| (2) 峠を越えると二つの県の（ ）に出る。 | (9) 杭を打ち、土地の（ ）を明確にした。 |
| (3) 夕日が湖の（ ）へ沈んでいく。 | (10) 歩道橋を使って大通りを（ ）した。 |
| (4) 住所は二（ ）まで正確に記入してください。 | (11) 子どもが（ ）で遊ぶときは目を離さない。 |
| (5) 新幹線と私鉄が（ ）地域の移動を支えている。 | (12) 言葉の違いが交流の（ ）になることもある。 |
| (6) 登山者は昼前に（ ）へ到着した。 | (13) 式典で大臣が国王（ ）へ祝辞を述べた。 |
| (7) 祭りの歌には（ ）への思いが込められている。 | (14) 大雨の後、道路の一部が（ ）した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「県境」と「境界」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 県境は県という行政区分を分ける線、境界は地域や物事を広く分ける境を表す。
- イ 県境は地域や物事を広く分ける境、境界は県という行政区分を分ける線を表す。
- ウ どちらも地図上の同じ種類の線で、行政上の区分かどうかは関係しない。
- エ 県境は山地、境界は平地にある場合だけに用いる。

(2) 「山頂」と「頂上」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 山頂は山以外も含む最も高い所や最高の段階、頂上は山の最も高い地点を表す。
- イ どちらも高い場所だけを指し、比喩的な段階には用いない。
- ウ 山頂は山の最も高い地点、頂上は山以外も含む最も高い所や最高の段階を表す。
- エ 山頂は低い山、頂上は高い山の場合だけに用いる。

(3) 「堤防」と「防波堤」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 堤防は川や海の水が陸へあふれるのを防ぐ構造物、防波堤は港などへの波を弱めるため水中へ延ばす構造物を表す。
- イ 堤防は港などへの波を弱めるため水中へ延ばす構造物、防波堤は川や海の水が陸へあふれるのを防ぐ構造物を表す。
- ウ どちらも水を防ぐため、洪水と波のどちらを抑えるかは区別しない。
- エ 堤防は土製、防波堤は石製の場合だけに用いる。

(4) 「隆起」と「陥没」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 隆起は地面が落ち込んで低くなる変化、陥没は地面が周囲より高く持ち上がる変化を表す。
- イ どちらも地面の高さが変わるため、上がるか下がるかを区別しない。
- ウ 隆起は地面が周囲より高く持ち上がる変化、陥没は地面が落ち込んで低くなる変化を表す。
- エ 隆起は自然、陥没は人工の原因だけで起こる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)に標を置く」 B「人気(B)に達する」

- ア A=頂上／B=山頂 イ A=山頂／B=山頂
- ウ A=山頂／B=頂上 エ A=頂上／B=頂上

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「地盤が(A)する」 B「道路が(B)する」

- ア A=陥没／B=隆起 イ A=隆起／B=隆起
- ウ A=陥没／B=陥没 エ A=隆起／B=陥没

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| (1) ホップウの山々には、春まで雪が残る。 | (9) 湿地やコショウには、多様な水鳥が集まる。 |
| (2) ケンナイの高校から、代表者が集まった。 | (10) 話が本題からヨコミチへそれた。 |
| (3) 長い登山の末、山のチョウジョウへ着いた。 | (11) コクサイ会議で、各国の研究者が意見を交わした。 |
| (4) 国のセイブでは、乾燥した草原が広がる。 | (12) 段差は車椅子の移動のショウガイになる。 |
| (5) 祭りの日、遠く離れたコキョウへ帰った。 | (13) 製品の設計に重大なケツカンが見つかった。 |
| (6) 野菜を切る前に、ハウチョウをよく研いだ。 | (14) 地殻がリュウキしてできた海岸段丘を調べた。 |
| (7) 冷たいケイリュウに沿って、山道を歩いた。 | (15) 土地のツボスウを、不動産の資料で確認した。 |
| (8) 体力のゲンカイを越えないよう、休憩を取った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| (16) 隆起 () | (17) 坪数 () | (18) 堤防 () | (19) 畝 () | (20) 嵐 () |
|-------------|-------------|-------------|------------|------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

動く境界を古地図から読む

展示用の古地図には、郷と郷の境界が太い線で描かれていた。現在の県境とは位置が違い、北部では溪谷、西岸では大きな堤防に沿っている。悠人は、昔の線が誤りなのかと考えた。

真央が複数の年代を重ねると、川の流路が嵐のたびに変わり、沼地が広がった時期もあった。地盤の隆起や陥没で水際が動けば、人が目印にした境も動く。一本の線だけでは変化を捉えられない。

二枚の古地図を重ねると、同じ地名が川の両側へ移って見えた。地名が動いたのか、流路が変わったのか、すぐには決められない。

山頂から西へ下る道は障壁のような尾根を避け、溪流を渡れる場所へ曲がっていた。畑の畝や一坪ごとの地割りも、斜面の向きに合わせている。地形は人の移動と土地利用の両方に影響した。

【古地図を比べる視点】方角／山頂と谷／川と堤／道の横断地点／作成年代

地名には一丁目・二丁目という丁の区画や、京阪から来た商人の名が残る。しかし、地名だけで国土の範囲を決めることはできない。移住や交易によって、遠い土地の呼び名が移ることもある。

別の絵図には陛下の領地と記されていたが、実際の管理は郷ごとに異なった。政治上の境界、税を集める範囲、日々人が往来する範囲は必ずしも重ならない。線の意味を凡例から読む必要がある。

二人は古地図を年代順に並べ、現在の地形図と透明な紙で重ねた。川筋が変わった際、堤を築いて境を保った場所と、新しい水際へ線に移した場所の違いが見えてきた。

真央は透明な紙へ現在の線を写し、古い線の上へ重ねた。ずれそのものを残すと、境界が固定された一本線ではないことが伝わった。

境界は、いつでも動かない壁なのではない。

山や川という自然、人の往来、制度上の決定が重なって生まれる。地図の線が何を分け、だれにとって意味をもったのかを問うと、国土の成り立ちが具体的に読めた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「地面などが周囲より高く持ち上がること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「ケイコク」を漢字2字で書きなさい。

（3）本文中の「障壁」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 山の最も高い地点。

イ 町を分けた区画を数える単位。

ウ 土地の広さを坪で表した数。

エ 行き来や進行を妨げる壁や条件。

（4）古地図の境界が現在の県境と違っていたのはなぜか。

ア 川や水際などの地形が変化し、政治・徴税・往来で区切る範囲も時代により異なったから。

イ 昔の人は方角を知る方法をもたなかったから。

ウ すべての古地図が別の国を描いたものだから。

エ 山頂と溪谷が現在とは上下逆だったから。

（5）二人が異なる年代の地図を重ねたことで、何が見えたか。45～55字で説明しなさい。

（6）「地形」「制度」の二語を用い、地図の境界を読む方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (1) イ ある地域の北側の部分。 | (4) ウ 町を分けた区画を数える単位。 |
| (2) ア 隣り合う県と県の境。 | (5) イ 京都と大阪、またはその間の地域。 |
| (3) エ 川・湖・海などの西側の岸。 | (6) ア 山の最も高い所。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 北部 | (8) 溪谷 |
| (2) 県境 | (9) 境界 |
| (3) 西岸 | (10) 横断 |
| (4) 丁目 | (11) 水際 |
| (5) 京阪 | (12) 障壁 |
| (6) 山頂 | (13) 陛下 |
| (7) 郷土 | (14) 陥没 |

使い分けを確かめよう：県境は県という行政区分を分ける線、境界は地域や物事を広く分ける境を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 県境は県という行政区分を分ける線、境界は地域や物事を広く分ける境を表す。

用例：県境を地図で確かめる／生活圏の境界を考える

(2) ウ 山頂は山の最も高い地点、頂上は山以外も含む最も高い所や最高の段階を表す。

用例：山頂に標を置く／人気が頂上に達する

(3) ア 堤防は川や海の水が陸へあふれるのを防ぐ構造物、防波堤は港などへの波を弱めるため水中へ延ばす構造物を表す。

用例：川の堤防を補強する／港の防波堤を築く

(4) ウ 隆起は地面が周囲より高く持ち上がる変化、陥没は地面が落ち込んで低くなる変化を表す。

用例：地盤が隆起する／道路が陥没する

(5) ウ A＝山頂、B＝頂上。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝隆起、B＝陥没。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 北方	(11) 国際
(2) 県内	(12) 障害
(3) 頂上	(13) 欠陥
(4) 西部	(14) 隆起
(5) 故郷	(15) 坪数
(6) 包丁	(16) リゅうぎ
(7) 溪流	(17) つぼすう
(8) 限界	(18) ていぼう
(9) 湖沼	(19) うね
(10) 横道	(20) あらし

七 文章の中で考えよう

- (1) 隆起 本文中では「隆起」と表されている。
- (2) 溪谷
- (3) エ 行き来や進行を妨げる壁や条件。
- (4) ア 川や水際などの地形が変化し、政治・徴税・往来で区切る範囲も時代により異なったから。
- (5) 解答例（48 字）

川筋や水際の変化に応じ、堤で境を保った場所と、新しい地形へ境を移した場所の違いが具体的に見えた。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（75 字）

山・川・水際などの地形が年代ごとにどう変わったかを確かめる。その上で、政治や徴税など制度が区切る範囲と、人が実際に往来した範囲を分けて線の意味を読む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第三回

身分と関係

家系図の線を、親族・奉仕・従属という別の関係に分けて読む。

今日の中心漢字

弟 親 母 父 媛 仁 僕 翁

いっしょに覚える漢字

並	孝	妊	如	匠	奴
紳	傍	寡	戚	嫡	族※

父母・兄弟など身近な関係と、嫡子・奴隷など歴史的な身分語を確かめたあと、家系図に表れない人々を探る文章を読みます。 ※再会漢字：族（第二冊第十二回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
弟	テイ・ダイ・デ・ おとうと	年下の兄弟／弟子 弟子・兄弟・義弟・門弟	媛	エン・ひめ	美しい女性／女性名に用いる 才媛・愛媛・媛女・媛君
親	シン・おや・した しい・したしむ	父母／近しい 親族・両親・親子・親密	仁	ジン・ニ	人を思いやる徳 仁愛・仁義・仁政・仁術
母	ボ・はは	女性の親／物事を生むもと 母系・母親・祖母・母体	僕	ボク・しもべ	自分を指す語／仕える人 下僕・僕・公僕・僕従
父	フ・ちち	男性の親 父系・父親・祖父・父母	翁	オウ・おきな	年を取った男性 老翁・翁・漁翁・翁面

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
並	ヘイ・なみ・なら べる・ならぶ・な らびに	横にそろう／普通 並列・並ぶ・人並み・並行	紳	シン	身分や教養のある男性 紳士・紳士服・紳士の・郷紳
孝	コウ	父母を大切にする 孝行・親孝行・不孝・孝養	傍	ボウ・かたわら・ そば	すぐそば／中心から外 傍系・傍ら・路傍・傍観
妊	ニン・ジン・はら む	子を身ごもる 妊婦・妊娠・懐妊・妊産婦	寡	カ	少ない／配偶者を失う 寡婦・寡黙・寡占・多寡
如	ジョ・ニョ・ごと し	同じようである 如実・突如・欠如・如来	戚	セキ	身内／親しい関係 親戚・縁戚・姻戚・外戚
匠	ショウ・たくみ	技術に優れた職人 工匠・巨匠・意匠・師匠	嫡	チャク・テキ	家を正式に継ぐ系統 嫡子・嫡男・嫡流・正嫡
奴	ド・やっこ・やつ	使役される人／人を卑しめた呼び方 奴隷・農奴・奴僕・奴婢	族 ※	ゾク	再会：同じつながりをもつ人々 氏族・家族・民族・親族

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「弟子」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 母方のつながりを基準にたどる系統。
- イ 優れた才能をもつ女性。
- ウ 師について学問や技術を学ぶ人。
- エ 身分の高い人などに仕えた者を指す歴史的な語。

(2) 「親族」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 父方のつながりを基準にたどる系統。
- イ 血縁や婚姻によってつながる人々。
- ウ 人を広く思いやり慈しむ心。
- エ 年を取った男性をいう語。

(3) 「母系」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 母方のつながりを基準にたどる系統。
- イ 優れた才能をもつ女性。
- ウ 身分の高い人などに仕えた者を指す歴史的な語。
- エ 師について学問や技術を学ぶ人。

(4) 「父系」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人を広く思いやり慈しむ心。
- イ 年を取った男性をいう語。
- ウ 血縁や婚姻によってつながる人々。
- エ 父方のつながりを基準にたどる系統。

(5) 「才媛」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 身分の高い人などに仕えた者を指す歴史的な語。
- イ 師について学問や技術を学ぶ人。
- ウ 優れた才能をもつ女性。
- エ 母方のつながりを基準にたどる系統。

(6) 「仁愛」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 年を取った男性をいう語。
- イ 人を広く思いやり慈しむ心。
- ウ 血縁や婚姻によってつながる人々。
- エ 父方のつながりを基準にたどる系統。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 弟子 仁愛 妊婦 親族 下僕 如実 母系 老翁 工匠 父系 並列 奴隸 才媛 孝行

(1) 陶工の（ ）が、窯の温度を見守っていた。 (8) 村の（ ）が、子どもたちに昔話を聞かせた。

(2) 正月には遠方の（ ）も集まった。 (9) 二つの案を（ ）し、違いが見える表にした。

(3) 家名や財産を母から娘へ継ぐ（ ）の社会もある。 (10) 離れて暮らしても、親への（ ）を忘れなかった。

(4) 王位を父から息子へ継ぐ（ ）の制度が続いた。 (11) 電車では（ ）に席を譲った。

(5) 語学と音楽に秀でた（ ）として評判になった。 (12) 災害の大きさが写真に（ ）に表れている。

(6) 弱い立場の人をいたわる（ ）の心を説いた。 (13) 城の修理には各地から優れた（ ）が集められた。

(7) 物語では、屋敷の（ ）が主人の命令を伝えた。 (14) 古代の大農園では、多くの（ ）が労働を強いられた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「親族」と「氏族」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 親族は共通の祖先を意識する歴史的な集団、氏族は血縁や婚姻で結ばれた個々の親類を表す。
- イ どちらも血縁に関わるので、集団の規模や歴史的な性格は区別しない。
- ウ 親族は父方、氏族は母方の関係だけを表す。
- エ 親族は血縁や婚姻で結ばれた個々の親類、氏族は共通の祖先を意識する歴史的な集団を表す。

(2) 「父系」と「母系」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 父系は母方のつながりを基準にたどる系統、母系は父方のつながりを基準にたどる系統を表す。
- イ 父系は父方のつながりを基準にたどる系統、母系は母方のつながりを基準にたどる系統を表す。
- ウ どちらも両親の関係を等しく示すため、どちら側を基準にするかは同じである。
- エ 父系は男性だけ、母系は女性だけが属する集団を表す。

(3) 「嫡子」と「弟子」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 嫡子は師から学問や技術を学ぶ人、弟子は家を正式に継ぐ者とされた子を表す。
- イ どちらも年長者から何かを受け継ぐため、家と技術の違いはない。
- ウ 嫡子は血縁がない人、弟子は血縁がある人に限る。
- エ 嫡子は家を正式に継ぐ者とされた子、弟子は師から学問や技術を学ぶ人を表す。

(4) 「下僕」と「公僕」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 下僕は公共に奉仕する立場の人を比喩的にいう語、公僕は個人に従属して仕えた者をいう歴史的な語を表す。
- イ 下僕は個人に従属して仕えた者をいう歴史的な語、公僕は公共に奉仕する立場の人を比喩的にいう語を表す。
- ウ どちらも命令に従う人を低く見る同じ呼び方である。
- エ 下僕は現代の公務員、公僕は古代の奴隷だけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)として所領を継ぐ」 B「工匠の(B)になる」

- ア A=嫡子/B=弟子 イ A=弟子/B=嫡子
- ウ A=嫡子/B=嫡子 エ A=弟子/B=弟子

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)へ知らせる」 B「(B)の系譜を調べる」

- ア A=氏族/B=親族 イ A=親族/B=氏族
- ウ A=親族/B=親族 エ A=氏族/B=氏族

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| (1) 妹の夫は、私にとってギテイに当たる。 | (9) 説明には、費用への視点がケツジョしていた。 |
| (2) 任侠映画では、ジングを重んじる人物が描かれる。 | (10) 正月にシンセキが集まり、近況を語り合った。 |
| (3) 幼い子が、ハハオヤの手を握って歩いていた。 | (11) 映画史に残るキョショウの作品を鑑賞した。 |
| (4) 公務員は、社会に仕えるコウボクとも呼ばれる。 | (12) 中世の農園では、ノウドが土地に縛られていた。 |
| (5) チチオヤから、若いころの仕事の話を聞いた。 | (13) リョウシンへ進路について相談した。 |
| (6) 二つの作業をヘイコウして進めた。 | (14) 本家から分かれたボウケイの家系を図に示した。 |
| (7) 忙しくても、祖父母へのオヤコウコウを忘れない。 | (15) 古い法では、夫を失った女性をカフと記す例がある。 |
| (8) 医師からニンシンしていると告げられた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 傍系 () | (17) 寡婦 () | (18) 親戚 () | (19) 嫡子 () | (20) 氏族 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

家系図の線の外側

町の旧家から、父系の嫡子だけを太線で結んだ家系図が見つかった。母や弟の名は小さく、妊婦のまま亡くなった女性は名もない。悠人は、太い線が家族全体を表すのか疑問に思った。

【関係を分ける欄】父系・母系／婚姻／師弟／雇用／強制された従属

別の帳簿には、親族・親戚だけでなく、工匠の弟子、下僕、農地で働かされた奴隷の記録があった。これらは同じ家に関わっていても、血縁・学び・従属という関係が異なる。系図の外へ置かれた人にも、手紙や贈り物を通じた関係があった。線がないことを、関係がないことと読み違えてはならない。

家系図は嫡子と傍系を区別し、氏族の連続を示すために作られた。だが、その目的のため省かれた人もいる。寡婦が財産を管理した事実や、才媛と呼ばれた女性が文書を書いた事実は、別の史料で補う必要がある。

人物評には、孝行な紳士、仁愛に富む老翁などの語が並ぶ。その評価が如実な姿かどうかは、記した人の立場も考えなければならない。「僕」という一人称と、身分語としての下僕も同じではない。真央は人々を並列に名簿へ置き、関係の種類を線の色で分けた。奴隷という語は、自由を奪われ所有物のように扱われた制度を示す。柔らかな言葉へ言い換えて、強制の事実を隠してはならない。

聞き取りでは、母系の親族から技術を継いだ例や、傍系の人が家を支えた例も見つかった。家系図の太線は制度上の継承を示すが、人の価値や働きの大小を示す線ではない。二人は太線・細線・点線を使い分け、確定した関係と推定した関係を分けた。空白にも、まだ調べる余地がある。

二人は元の家系図を残し、その横に複数の関係図を置いた。一枚の線を唯一のつながりと思わず、何の目的で引かれた線かを読む。そうすることで、記録の外へ押し出された人々も歴史の中に戻ってきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「家系で直系から分かれた系統」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「ジンアイ」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「奴隸」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 自由を奪われ、他者の所有物のように扱われた人。

イ 師について学問や技術を学ぶ人。

ウ 家を正式に継ぐ者とされた子。

エ 父方のつながりを基準にたどる系統。

(4) 太い線の家系図だけで家の歴史を捉えられないのはなぜか。

ア 家系図には年代を一切書くことができないから。

イ 太線はすべて婚姻関係だけを示すから。

ウ 父母と子の関係は史料では確かめられないから。

エ 制度上の継承を示すため、母系や傍系、働き手など多くの関係と役割が省かれているから。

(5) 二人が関係の種類ごとに線の色を分けたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「目的」「省略」の二語を用い、家系図を読むときの注意を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) ウ 師について学問や技術を学ぶ人。 | (4) エ 父方のつながりを基準にたどる系統。 |
| (2) イ 血縁や婚姻によってつながる人々。 | (5) ウ 優れた才能をもつ女性。 |
| (3) ア 母方のつながりを基準にたどる系統。 | (6) イ 人を広く思いやり慈しむ心。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 弟子 | (8) 老翁 |
| (2) 親族 | (9) 並列 |
| (3) 母系 | (10) 孝行 |
| (4) 父系 | (11) 妊婦 |
| (5) 才媛 | (12) 如実 |
| (6) 仁愛 | (13) 工匠 |
| (7) 下僕 | (14) 奴隸 |

使い分けを確かめよう：親族は血縁や婚姻で結ばれた個々の親類、氏族は共通の祖先を意識する歴史的な集団を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 親族は血縁や婚姻で結ばれた個々の親類、氏族は共通の祖先を意識する歴史的な集団を表す。

用例：親族へ知らせる／氏族の系譜を調べる

(2) イ 父系は父方のつながりを基準にたどる系統、母系は母方のつながりを基準にたどる系統を表す。

用例：父系の系譜を載せる／母系で相続をたどる

(3) エ 嫡子は家を正式に継ぐ者とされた子、弟子は師から学問や技術を学ぶ人を表す。

用例：嫡子として所領を継ぐ／工匠の弟子になる

(4) イ 下僕は個人に従属して仕えた者をいう歴史的な語、公僕は公共に奉仕する立場の人を比喩的にいう語を表す。

用例：領主の下僕と記される／公僕として職務を果たす

(5) ア A＝嫡子、B＝弟子。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝親族、B＝氏族。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 義弟	(11) 巨匠
(2) 仁義	(12) 農奴
(3) 母親	(13) 両親
(4) 公僕	(14) 傍系
(5) 父親	(15) 寡婦
(6) 並行	(16) ぼうけい
(7) 親孝行	(17) かふ
(8) 妊娠	(18) しんせき
(9) 欠如	(19) ちゃくし
(10) 親戚	(20) しぞく

七 文章の中で考えよう

- (1) 傍系 本文中では「傍系」と表されている。
- (2) 仁愛
- (3) ア 自由を奪われ、他者の所有物のように扱われた人。
- (4) エ 制度上の継承を示すため、母系や傍系、働き手など多くの関係と役割が省かれているから。
- (5) 解答例 (45 字)

同じ家に関わる人でも、血縁・婚姻・師弟・雇用・強制的従属では、結び付きの性質が異なるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (76 字)

家系図が制度上の継承など何の目的で作られたかを確認、そのために省略された人や関係を考える。
別の帳簿や聞き取りを重ね、一本の線を人の価値と結び付けない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第四回

感覚と身体の働き

昔の病名をそのまま当てはめず、観察された症状と言葉の時代差を読む。

今日の中心漢字

健 背 症 肪 疾 痢 瞳 瘍

いっしょに覚える漢字

浴	毒	項	洩	劑	臭
陰	痴	潜	睡	裾	癖

症状・疾病など身体に関わる語を確かめたあと、古い診療記録を現代の説明へ直す際の注意を考える文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
健 背 症 肪	ケン・すこやか	丈夫／すこやか 健康・健全・健診・保健	疾	シツ・はやい	病気／速い 疾病・疾患・急疾・疾走
	ハイ・セ・せい・そむく・そむける	背中／反対を向く 背部・背中・背景・背骨	痢	リ	腹を下す病気 下痢・赤痢・疫痢・痢疾
	ショウ	病気によって現れる状態 症状・重症・炎症・症例	瞳	ドウ・ひとみ	目の中心の黒い部分 瞳孔・瞳・瞳孔反射・双瞳
	ボウ	体内のあぶら 脂肪・脂肪分・体脂肪・脂肪酸	瘍	ヨウ	できものの／組織の異常 腫瘍・潰瘍・膿瘍・良性腫瘍

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
浴 毒 項 洩 剤 臭	ヨク・あびる・あびせる	水などを身に受ける 入浴・浴室・日光浴・海水浴	陰	イン・かげ・かげる	光の当たらない所／表に出ない 陰性・日陰・陰影・陰湿
	ドク	体を害するもの 中毒・毒性・消毒・解毒	痴	チ	判断力が鈍いとした旧い表現 痴呆・愚痴・音痴・痴態
	コウ・うなじ	一つのまとまり／首の後ろ 項部・項目・事項・別項	潜	セン・ひそむ・もぐる	水中や表面下へ入る／隠れる 潜伏・潜水・潜在・潜入
	ジュウ・しぶ・しぶい・しぶる	なめらかでない／ためらう 渋味・渋滞・難渋・渋る	睡	スイ	眠る 睡眠・熟睡・睡魔・午睡
	ザイ	調合した薬など 薬剤・洗剤・製剤・鎮痛剤	裾	すそ	衣服などの下端 裾・裾野・裾上げ・裾回り
	シュウ・くさい・におう	におい／悪いにおい 臭気・悪臭・無臭・消臭	癖	ヘキ・くせ	繰り返し現れる傾向 習癖・口癖・悪癖・癖毛

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「健康」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 病気やけがに伴って心身に現れる状態。
- イ 心身の機能に異常が生じる病気。
- ウ 目に入る光の量を調節する孔。
- エ 心身の状態がすこやかであること。

(2) 「背部」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 体内に蓄えられる油脂の成分。
- イ 便の水分が多くなり回数も増える症状。
- ウ 体の背中側の部分。
- エ 細胞が過剰に増えてできた組織の塊。

(3) 「症状」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 心身の機能に異常が生じる病気。
- イ 病気やけがに伴って心身に現れる状態。
- ウ 目に入る光の量を調節する孔。
- エ 心身の状態がすこやかであること。

(4) 「脂肪」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 体内に蓄えられる油脂の成分。
- イ 便の水分が多くなり回数も増える症状。
- ウ 細胞が過剰に増えてできた組織の塊。
- エ 体の背中側の部分。

(5) 「疾病」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 目に入る光の量を調節する孔。
- イ 心身の状態がすこやかであること。
- ウ 病気やけがに伴って心身に現れる状態。
- エ 心身の機能に異常が生じる病気。

(6) 「下痢」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 細胞が過剰に増えてできた組織の塊。
- イ 体の背中側の部分。
- ウ 便の水分が多くなり回数も増える症状。
- エ 体内に蓄えられる油脂の成分。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 健康 下痢 項部 背部 瞳孔 渋味 症状 腫瘍 薬剤 脂肪 入浴 臭気 疾病 中毒

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| (1) 毎日の運動と食事で（ ）を保つ。 | (8) 検査で小さな（ ）が見つかり、詳しく調べた。 |
| (2) 診察では（ ）に痛みがないか確かめた。 | (9) 就寝前にゆっくり（ ）して体を温める。 |
| (3) 熱やせきなどの（ ）が出たら休養する。 | (10) 有毒なキノコを食べ、（ ）の症状が出た。 |
| (4) 取りすぎた（ ）は体内に蓄えられる。 | (11) 首の後ろに当たる（ ）を冷やした。 |
| (5) 衛生環境の改善で、多くの（ ）が予防できるようになった。 | (12) 渋柿には強い（ ）がある。 |
| (6) （ ）が続くときは、水分不足にも注意する。 | (13) 複数の（ ）を同じ袋へ混ぜてはいけない。 |
| (7) 明るい場所では（ ）が小さくなる。 | (14) 容器から刺激のある（ ）が漏れていた。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「症状」と「疾病」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 症状は心身の機能に異常が生じる病気そのもの、疾病は病気などに伴って現れる個々の状態を表す。
- イ どちらも病名を示すので、観察された状態と病気全体を区別しない。
- ウ 症状は病気などに伴って現れる個々の状態、疾病は心身の機能に異常が生じる病気そのものを表す。
- エ 症状は軽い場合、疾病は重い場合だけに用いる。

(2) 「陰性」と「無症状」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 陰性は検査で対象の反応が認められないこと、無症状は感染などがあっても自覚できる症状がないことを表す。
- イ 陰性は感染などがあっても自覚できる症状がないこと、無症状は検査で対象の反応が認められないことを表す。
- ウ どちらも病気が存在しないことを必ず示す同じ判定である。
- エ 陰性は昔、無症状は現代の記録だけに用いる。

(3) 「中毒」と「感染」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 中毒は病原体が体内へ入り増えること、感染は有害な物質などによって体が損なわれる状態を表す。
- イ どちらも食事の後に起こり得るため、原因を区別する必要はない。
- ウ 中毒は有害な物質などによって体が損なわれる状態、感染は病原体が体内へ入り増えることを表す。
- エ 中毒は一人、感染は複数人に症状が出た場合だけを表す。

(4) 「習癖」と「症状」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 習癖は習慣となって繰り返される行動の傾向、症状は病気やけがに伴って現れる心身の変化を表す。
- イ 習癖は病気やけがに伴って現れる心身の変化、症状は習慣となって繰り返される行動の傾向を表す。
- ウ どちらも繰り返して現れる様子なら、本人の習慣か病気の変化かは同じである。
- エ 習癖は生まれつき、症状は後天的なものだけを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「睡眠前の(A)を聞く」 B「背部の(B)を記す」

- ア A=症状/B=習癖 イ A=習癖/B=習癖
- ウ A=習癖/B=症状 エ A=症状/B=症状

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「検査結果は(A)だった」 B「(B)の期間が続く」

- ア A=無症状/B=陰性 イ A=陰性/B=陰性
- ウ A=無症状/B=無症状 エ A=陰性/B=無症状

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| (1) 子どもの成長には、ケンゼンな生活環境が大切だ。 | (9) 大きな木のヒカゲで、少し休んだ。 |
| (2) 心臓のシッカンを早く見つける検査を受けた。 | (10) 薬品のドクセイを確かめ、安全な量だけ用いた。 |
| (3) 重い荷物を背負い、セナカが痛くなった。 | (11) 確認するコウモクを、一覧表にまとめた。 |
| (4) 衛生状態の改善によって、セキリの流行が減った。 | (12) 事故によるジュウタイで、到着が遅れた。 |
| (5) 患者はジュウショウだったが、治療で回復した。 | (13) 油汚れに合うセンザイを選んだ。 |
| (6) 魚には種類によって異なるシボウサンが含まれる。 | (14) 排水口から強いアクシュウが漂っていた。 |
| (7) 強い痛みが続き、胃にカイヨウがないか調べた。 | (15) チホウは現在では医学用語として用いない古い呼称である。 |
| (8) 手すりのあるヨクシツへ改修した。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| (16) 痴呆 () | (17) 潜伏 () | (18) 睡眠 () | (19) 裾 () | (20) 習癖 () |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

古い診療簿を読み替える

資料館には、百年前の診療簿が残っていた。背部の痛み、下痢、瞳孔の変化、項部の腫れなど、症状は細かく記される一方、疾病の名は現在と異なる。真央は現代の病名へ直そうとした。

しかし、当時の検査では腫瘍と炎症を区別できなかった例もある。

脂肪の多い体つきを不健康と決めた記述もあった。見た目や一つの症状から、過去の人の健康状態を断定することはできない。

古い病名を現代語へ置き換えるだけでは、当時の診断の幅を狭めるおそれがある。二人は症状の記述を先に抜き出した。

入浴後に悪化した、薬剤を飲むと渋味を感じた、衣の裾に強い臭気が付いたなど、状況の記録は手がかりになる。中毒か感染かを考えるには、潜伏した時間や他の人の状態も必要だった。

【分けて写す欄】 本人の訴え／観察した状態／当時の診断／現代からの注記

検査欄の陰性は、病気がないことと同じではない。検査が何を対象にし、どの精度だったかを確かめる必要がある。睡眠や食事の習癖も、症状の原因と決めず、生活の情報として分けて扱う。

診療簿には、現在の認知症を指す旧称として「痴呆」も書かれていた。この語は人の尊厳を損なうとして改められた。原文を隠さず示しつつ、現在は用いない理由を注記することにした。

悠人は、古い診断名を見出しにせず、「当時こう記された」と表現した。

観察された事実は資料として生かし、現代の知識だけで患者を再診断しない。時代の違う言葉の距離を保つためである。

真央は医学辞典の説明へ色を付け、当時にも確認できた事実と、後世の知識による推定を分けて示した。

身体の記録を読むときは、症状・診断・評価を混ぜないことが大切だ。言葉が変わった背景まで示せば、昔の医療を単に遅れていたと見るのでも、現代と同じとみなすのでもない展示になる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「病原体や症状などが表に現れず内部にあること」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

（2）「ショウジョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「陰性」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 風呂などに入り体を温めること。

イ 検査で対象となる反応が認められないこと。

ウ 便の水分が多くなり回数も増える状態。

エ 衣服の下縁に当たる部分。

（4）古い診断名を現代の病名へそのまま直さなかったのはなぜか。

ア 診療簿には症状が一つも書かれていないから。

イ 現代の病名はすべて漢字を用いないから。

ウ 当時は検査方法や語の意味が異なり、残された症状だけで現代の病名を断定できないから。

エ 昔の人には疾病という考えがなかったから。

（5）旧称「痴呆」に現在の注記を添えたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「観察」「診断」の二語を用い、古い診療簿を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) エ 心身の状態がすこやかであること。 | (4) ア 体内に蓄えられる油脂の成分。 |
| (2) ウ 体の背中側の部分。 | (5) エ 心身の機能に異常が生じる病気。 |
| (3) イ 病気やけがに伴って心身に現れる状態。 | (6) ウ 便の水分が多くなり回数も増える症状。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 健康 | (8) 腫瘍 |
| (2) 背部 | (9) 入浴 |
| (3) 症状 | (10) 中毒 |
| (4) 脂肪 | (11) 項部 |
| (5) 疾病 | (12) 渋味 |
| (6) 下痢 | (13) 薬剤 |
| (7) 瞳孔 | (14) 臭気 |

使い分けを確かめよう：症状は病気などに伴って現れる個々の状態、疾病は心身の機能に異常が生じる病気そのものを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 症状は病気などに伴って現れる個々の状態、疾病は心身の機能に異常が生じる病気そのものを表す。

用例：発熱の症状を記す／感染性の疾病を調べる

(2) ア 陰性は検査で対象の反応が認められないこと、無症状は感染などがあっても自覚できる症状がないことを表す。

用例：検査結果は陰性だった／無症状の期間が続く

(3) ウ 中毒は有害な物質などによって体が損なわれる状態、感染は病原体が体内へ入り増えることを表す。

用例：一酸化炭素中毒を疑う／細菌に感染する

(4) ア 習癖は習慣となって繰り返される行動の傾向、症状は病気やけがに伴って現れる心身の変化を表す。

用例：睡眠前の習癖を聞く／背部の症状を記す

(5) ウ A＝習癖、B＝症状。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝陰性、B＝無症状。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 健全	(11) 項目
(2) 疾患	(12) 渋滞
(3) 背中	(13) 洗剤
(4) 赤痢	(14) 悪臭
(5) 重症	(15) 痴呆
(6) 脂肪酸	(16) ちほう
(7) 潰瘍	(17) せんぷく
(8) 浴室	(18) すいみん
(9) 日陰	(19) すそ
(10) 毒性	(20) しゅうへき

七 文章の中で考えよう

- (1) 潜伏 本文中では「潜伏」と表されている。
- (2) 症状
- (3) イ 検査で対象となる反応が認められないこと。
- (4) ウ 当時は検査方法や語の意味が異なり、残された症状だけで現代の病名を断定できないから。
- (5) 解答例 (46 字)

原文を隠さず伝える一方、その語が人の尊厳を損なうとして現在は改められた理由も明確に示すため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (75 字)

本人の訴えや体の変化など観察された事実と、当時の知識による診断を別の欄へ写す。検査法と言葉の時代差を注記し、現代の病名を過去の人へ安易に当てはめない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第五回

喜怒と葛藤

一人の心を一語で決めず、同時に重なる感情とその向きを読む。

今日の中心漢字

態 恒 忍 悼 恣 憶 惧 慄

いっしょに覚える漢字

独	浅	康	狂	朴	娛
歓	寛	爽	傲	羨	遜

歓喜・羨望・危惧など複雑な感情を表す語を確かめたあと、祭りの中止をめぐる日記を多面的に読む文章を扱います。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
態	タイ・わざと	身構え／様子 態度・状態・事態・態勢	恣	シ・ほしいまま	自分の思うままにする 恣意・恣意的・放恣・専恣
恒	コウ・つね	いつも変わらない 恒常・恒例・恒久・恒温	憶	オク	心にとどめる／思い出す 記憶・追憶・憶測・記憶力
忍	ニン・しのぶ・しのばせる	こらえる／人目を避ける 忍耐・忍ぶ・残忍・忍者	惧	グ・ク・おそれる	心配し恐れる 危惧・疑惧・畏惧・懸惧
悼	トウ・いたむ	人の死を悲しむ 追悼・哀悼・悼む・悼辞	慄	リツ・おののく・ふるえる	恐ろしくて震える 戦慄・震慄・慄然・慄く

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
独	ドク・ひとり	一人／他と異なる 孤独・独立・独自・単独	歓	カン	喜ぶ 歓喜・歓迎・歓声・歓談
浅	セン・あさい	深さが少ない／考えが十分でない 浅慮・浅い・浅学・深浅	寛	カン・くつろぐ・ひろい・ゆるやか	心や幅が広い 寛容・寛大・寛解・寛ぐ
康	コウ	すこやか／安らか 安康・健康・小康・康寧	爽	ソウ・さわやか	すっきりして気持ちよい 爽快・爽やか・清爽・颯爽
狂	キョウ・くるう・くるおしい	正常さを失う／激しく夢中になる 狂喜・熱狂・狂乱・狂言	傲	ゴウ・おごる・あなどる	おごり高ぶる 傲慢・傲岸・傲然・傲語
朴	ボク	飾りけがない 素朴・純朴・朴訥・質朴	羨	セン・うらやむ・うらやましい	他人をうらやむ 羨望・羨む・羨ましい・羡慕
娛	ゴ	心を楽しませる 娯楽・娯遊・歓娛・娯楽費	遜	ソン・へりくだる	自分を控えめにする 謙遜・不遜・遜色・遜る

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「態度」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人や物事に向き合うときの構えや振る舞い。
- イ 苦しさやつらさに耐えること。
- ウ 客観的な基準によらず自分の考えだけで決めること。
- エ 悪い結果になるのではないかと心配すること。

(2) 「恒常」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 亡くなった人を思い悲しむこと。
- イ 経験したことを心にとどめ、思い出せる働き。
- ウ 恐ろしさのため身が震えること。
- エ 状態が一定して変わらないこと。

(3) 「忍耐」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 客観的な基準によらず自分の考えだけで決めること。
- イ 悪い結果になるのではないかと心配すること。
- ウ 苦しさやつらさに耐えること。
- エ 人や物事に向き合うときの構えや振る舞い。

(4) 「追悼」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 経験したことを心にとどめ、思い出せる働き。
- イ 亡くなった人を思い悲しむこと。
- ウ 恐ろしさのため身が震えること。
- エ 状態が一定して変わらないこと。

(5) 「恣意」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 客観的な基準によらず自分の考えだけで決めること。
- イ 悪い結果になるのではないかと心配すること。
- ウ 人や物事に向き合うときの構えや振る舞い。
- エ 苦しさやつらさに耐えること。

(6) 「記憶」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 恐ろしさのため身が震えること。
- イ 状態が一定して変わらないこと。
- ウ 亡くなった人を思い悲しむこと。
- エ 経験したことを心にとどめ、思い出せる働き。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 態度 記憶 安康 恒常 危惧 狂喜 忍耐 戦慄 素朴 追悼 孤独 娯楽 恣意 浅慮

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| (1) 相手の話を聴く（ ）に誠実さが表れる。 | (8) 暗闇から突然声がして、全身に（ ）が走った。 |
| (2) 装置を（ ）な温度に保つ。 | (9) 大勢の中にいても、深い（ ）を感じることもある。 |
| (3) 長い練習には技術だけでなく（ ）も要る。 | (10) 一時の感情で決めた（ ）を後悔した。 |
| (4) 没後 50 年の（ ）式が開かれた。 | (11) 手紙の結びに、家族の（ ）を祈る言葉を添えた。 |
| (5) 担当者の（ ）的な判断で順番を変えてはいけ
ない。 | (12) 優勝が決まると、応援席は（ ）に包まれた。 |
| (6) 幼い日の（ ）が、古い写真からよみがえった。 | (13) 土と木を生かした（ ）な家に心が落ち着く。 |
| (7) 専門家は被害の拡大を（ ）して対策を求めた。 | (14) 読書や映画を日々の（ ）として楽しむ。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「歓喜」と「狂喜」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 歓喜は我を忘れるほど激しく喜ぶこと、狂喜は心から大いに喜ぶことを表す。
- イ 歓喜は心から大いに喜ぶこと、狂喜は我を忘れるほど激しく喜ぶことを表す。
- ウ どちらも喜びを表すので、感情の激しさや自製の有無は区別しない。
- エ 歓喜は集団、狂喜は一人の喜びだけを表す。

(2) 「危惧」と「戦慄」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 危惧は目の前の恐ろしさなどに身が震えること、戦慄は悪い結果を予想して心配することを表す。
- イ どちらも恐れなので、将来への心配か身体を伴う強い反応かは同じである。
- ウ 危惧は弱い人、戦慄は勇気ある人だけが抱く。
- エ 危惧は悪い結果を予想して心配すること、戦慄は目の前の恐ろしさなどに身が震えることを表す。

(3) 「謙遜」と「卑下」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 謙遜は自分の価値を必要以上に低く扱うこと、卑下は自分の能力などを控えめに述べることを表す。
- イ 謙遜は自分の能力などを控えめに述べること、卑下は自分の価値を必要以上に低く扱うことを表す。
- ウ どちらも自分を低く言うため、程度や自尊心への影響を区別しない。
- エ 謙遜は真実、卑下は必ずうそを述べることを表す。

(4) 「寛容」と「忍耐」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 寛容は苦しさや不快さをこらえて持ちこたえること、忍耐は他者の違いや過ちを受け入れる心の広さを表す。
- イ どちらも我慢する態度で、相手を受け入れるか苦しさには耐えるかは同じである。
- ウ 寛容は楽な場合、忍耐は苦しい場合にだけ用いる。
- エ 寛容は他者の違いや過ちを受け入れる心の広さ、忍耐は苦しさや不快さをこらえて持ちこたえることを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「成功を（A）する」 B「知らせに（B）する」

- ア A＝歓喜／B＝狂喜 イ A＝狂喜／B＝歓喜
- ウ A＝歓喜／B＝歓喜 エ A＝狂喜／B＝狂喜

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「成果を尋ねられ（A）する」 B「自分を（B）する言葉を重ねる」

- ア A＝卑下／B＝謙遜 イ A＝謙遜／B＝卑下
- ウ A＝謙遜／B＝謙遜 エ A＝卑下／B＝卑下

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| (1) 機械のジョウタイを見て、修理が必要か判断した。 | (9) 新入生をカンゲイする会が開かれた。 |
| (2) 若いころは規則に縛られず、ホウシに振る舞った。 | (10) センガクの身ですが、調べた範囲を報告します。 |
| (3) 春のコウレイ行事として、川辺を清掃する。 | (11) 毎日の食事と睡眠が、ケンコウを支える。 |
| (4) 古い写真を見ながら、学生時代をツイオクした。 | (12) 決勝戦の観客は、見事な逆転にネッキョウした。 |
| (5) 弱い者を傷つけるザンニンな行為を許してはならない。 | (13) 村には飾り気のないジュンボクな暮らしが残る。 |
| (6) 式典で犠牲者へアイトウの意を表した。 | (14) 失敗を責めず、互いにカンヨウでありたい。 |
| (7) 突然の爆音に、皆はリツゼンとして立ち尽くした。 | (15) 走り終わると、ソウカイな気分になった。 |
| (8) 地域の素材を生かしたドクジの料理を作った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 寛容 () | (17) 爽快 () | (18) 傲慢 () | (19) 羨望 () | (20) 謙遜 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

祭りを中止した日の声

百年前、疫病のため恒例の祭りが中止された。町の日記には、安康を願う決定を歓迎した人、娯楽を奪われ孤独を感じた人、商いへの影響を危惧した人の声が残っている。

一人の若者は、最初は傲慢な態度で決定を嘲ったが、病人の知らせに戦慄し、後には忍耐が必要だと書いた。同じ人の中でも、時間と出来事によって感情は変わっていた。中止を知らせる張り紙の裏には、準備を続けた人の名前が残っていた。行事が開かれなかった日にも、消えない働きがある。

別の日記には、祭りが再開したとの誤報に狂喜した直後、死者への追悼を忘れた自分を恥じたとある。歓喜と哀悼は反対の感情に見えても、同じ日の心に重なることがある。

【感情を読む手がかり】何に向いた感情か／強さ／表れた時／行動との関係

記憶を語る老翁は、昔の祭りを素朴で爽快だったと振り返った。一方、参加できなかった人は、その語りに羨望を覚えた。追憶は事実の一覧ではなく、現在の気持ちから過去を選び直す働きももつ。

決定を恣意的だと批判する手紙もあった。だが、批判者を浅慮と決める前に、情報が十分に届いたかを確かめる必要がある。寛容とは何でも同意することではなく、異なる立場が生じた理由を聞くことでもある。

真央は、謙遜した表現を自信のなさや決めず、傲慢な語をその人の恒常的な性格とも決めなかった。文章が書かれた状況と、その後の変化を横に置いた。録音には怒り、安堵、残念さが入り交じっていた。二人は一つの感情名でまとめず、声の変化をそのまま記した。

感情語は人に札を貼るためではない。何を喜び、何を恐れ、だれを悼んだのかを具体と結ぶためにある。複数の声を並べると、祭りの中止が人々の心へ異なる葛藤を生んだことが見えてきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「客観的な基準によらず、自分の考えだけで決めること」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

（2）「センリツ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「羨望」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 自分の能力を控えめに言うこと。
- イ 人の死を思い悲しむこと。
- ウ 他人の境遇や能力をうらやましく思うこと。
- エ 気分が晴れてすっきりすること。

（4）一人の若者の態度を恒常的な性格と決めなかったのはなぜか。

- ア 日記には感情を表す語が一つもなかったから。
- イ 同じ人でも、情報や出来事、時間の経過によって恐れや判断、行動が変化していたから。
- ウ 祭りに参加した人は必ず寛容になるから。
- エ 昔の人には恒常的な性格が存在しないから。

（5）追憶を事実の一覧として扱わなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「向き」「状況」の二語を用い、日記の感情語を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| (1) ア 人や物事に向き合うときの構えや振る舞い。 | (4) イ 亡くなった人を思い悲しむこと。 |
| (2) エ 状態が一定して変わらないこと。 | (5) ア 客観的な基準によらず自分の考えだけで決めること。 |
| (3) ウ 苦しさやつらさに耐えること。 | (6) エ 経験したことを心にとどめ、思い出せる働き。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 態度 | (8) 戦慄 |
| (2) 恒常 | (9) 孤独 |
| (3) 忍耐 | (10) 浅慮 |
| (4) 追悼 | (11) 安康 |
| (5) 恣意 | (12) 狂喜 |
| (6) 記憶 | (13) 素朴 |
| (7) 危惧 | (14) 娯楽 |

使い分けを確かめよう：歓喜は心から大いに喜ぶこと、狂喜は我を忘れるほど激しく喜ぶことを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 歓喜は心から大いに喜ぶこと、狂喜は我を忘れるほど激しく喜ぶことを表す。

用例：成功を歓喜する／知らせに狂喜する

(2) エ 危惧は悪い結果を予想して心配すること、戦慄は目の前の恐ろしさなどに身が震えることを表す。

用例：事故の再発を危惧する／惨状に戦慄する

(3) イ 謙遜は自分の能力などを控えめに述べること、卑下は自分の価値を必要以上に低く扱うことを表す。

用例：成果を尋ねられ謙遜する／自分を卑下する言葉を重ねる

(4) エ 寛容は他者の違いや過ちを受け入れる心の広さ、忍耐は苦しさや不快さをこらえて持ちこたえることを表す。

用例：異なる意見に寛容である／困難を忍耐して待つ

(5) ア A＝歓喜、B＝狂喜。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝謙遜、B＝卑下。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 状態	(11) 健康
(2) 放恣	(12) 熱狂
(3) 恒例	(13) 純朴
(4) 追憶	(14) 寛容
(5) 残忍	(15) 爽快
(6) 哀悼	(16) かんよう
(7) 慄然	(17) そうかい
(8) 独自	(18) ごうまん
(9) 歓迎	(19) せんぼう
(10) 浅学	(20) けんそん

七 文章の中で考えよう

- (1) 恣意 本文中では「恣意」と表されている。
- (2) 戦慄
- (3) ウ 他人の境遇や能力をうらやましく思うこと。
- (4) イ 同じ人でも、情報や出来事、時間の経過によって恐れや判断、行動が変化していたから。
- (5) 解答例 (45 字)

思い出には過去の出来事だけでなく、語る現在の気持ちや、選んで残した記憶も含まれているから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (75 字)

喜びや恐れを一語だけで人の性格にせず、その感情が何へ向き、どの状況で生まれたかを確認める。前後の日記と他者の声も重ね、同時に存在する葛藤と変化を読む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第六回

記述と応答

発した側の文書と、受け取った側の反響を往復して読む。

今日の中心漢字

鳴 符 啓 響 諮 詔 嘲 諦

いっしょに覚える漢字

印	周	章	誕	臨	吹
齊	抄	讓	嗣	踪	述※

詔書・諮問・記述など伝達に関わる語を確かめたあと、公式の命令が町へ届くまでに意味を変えた過程を読む文章を扱います。 ※再会漢字：述（第一冊第十回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
鳴	メイ・なく・なる・ならず	音を出す 鳴動・鳴る・共鳴・悲鳴	諮	シ・はかる	意見を求める 諮問・諮る・諮詢・諮問機関
符	フ	しるし／割り当てた記号 符号・切符・音符・符合	詔	ショウ・みことのり	君主が広く告げる言葉 詔書・詔勅・詔命・大詔
啓	ケイ・ひらく・もうす	教え導く／申し上げる 拝啓・啓発・啓示・啓上	嘲	チョウ・あざける	あざ笑う 嘲笑・自嘲・嘲る・嘲弄
響	キョウ・ひびく	音や影響が広がる 反響・音響・影響・響く	諦	テイ・あきらめる	明らかに見る／望みを断つ 諦観・諦める・諦念・真諦

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
印	イン・しるし	しるし／押した形 印章・印刷・目印・調印	斉	セイ・サイ・そろ う・ひとしい	そろう／ひとしくする 一斉・斉唱・均斉・斉一
周	シュウ・まわり	まわり／行き渡る 周知・周囲・一周・周到	抄	ショウ	一部を抜き出す 抄録・抄本・抄訳・抄出
章	ショウ	文章の区切り／しるし 章句・文章・勲章・章題	讓	ジョウ・ゆずる	相手へ渡す／控える 讓位・讓歩・讓渡・分讓
誕	タン	生まれる／大げさな言葉 誕生・生誕・誕生日・虚誕	嗣	シ・つぐ	あとを継ぐ 後嗣・継嗣・嗣子・皇嗣
臨	リン・のぞむ	その場に向かう／面する 臨時・臨席・臨海・君臨	踪	ソウ・ショウ・あと	足あと／行方 失踪・追踪・足踪・踪跡
吹	スイ・ふく	息や風を出す 吹聴・吹奏・風吹・吹雪	述 ※	ジュツ・のべる	再会：言葉で表す 記述・述語・詳述・陳述

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「鳴動」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 手紙の初めに相手を敬って用いる語。
- イ 大きな音を立てて揺れ動くこと。
- ウ 専門家や機関に意見を求めること。
- エ 相手を見下してあざ笑うこと。

(2) 「符号」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 意味や関係を示すために定めたしるし。
- イ ある働きかけに対して起こる反応や評判。
- ウ 天皇や君主の命令・意思を記した公文書。
- エ 物事の本質や成り行きを静かに見極めること。

(3) 「拝啓」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 専門家や機関に意見を求めること。
- イ 相手を見下してあざ笑うこと。
- ウ 大きな音を立てて揺れ動くこと。
- エ 手紙の初めに相手を敬って用いる語。

(4) 「反響」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 天皇や君主の命令・意思を記した公文書。
- イ 物事の本質や成り行きを静かに見極めること。
- ウ ある働きかけに対して起こる反応や評判。
- エ 意味や関係を示すために定めたしるし。

(5) 「諮問」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 相手を見下してあざ笑うこと。
- イ 専門家や機関に意見を求めること。
- ウ 大きな音を立てて揺れ動くこと。
- エ 手紙の初めに相手を敬って用いる語。

(6) 「詔書」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 天皇や君主の命令・意思を記した公文書。
- イ 物事の本質や成り行きを静かに見極めること。
- ウ 意味や関係を示すために定めたしるし。
- エ ある働きかけに対して起こる反応や評判。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 鳴動 詔書 章句 符号 嘲笑 誕生 拝啓 諦観 臨時 反響 印章 吹聴 諮問 周知

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 地震の直前、山の奥で低い（ ）が続いた。 | (8) 移ろいを受け入れる（ ）の境地が作品に表れている。 |
| (2) 地図上の（ ）が何を示すか、凡例で確認した。 | (9) 公文書には正式な（ ）が押されていた。 |
| (3) 正式な手紙を「（ ）」の挨拶から書き始めた。 | (10) 変更内容を関係者へ（ ）した。 |
| (4) 新しい制度への市民の（ ）を調べた。 | (11) 古典の難しい（ ）を一つずつ読み解いた。 |
| (5) 市長は専門委員会に今後の方針を（ ）した。 | (12) 新しい命の（ ）を家族で喜んだ。 |
| (6) 天皇の命を記した（ ）が諸国へ伝えられた。 | (13) 故障のため、（ ）の乗り場を設けた。 |
| (7) 失敗した人を（ ）するような言葉は慎む。 | (14) 確かめていない噂を周囲へ（ ）してはいけない。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「詔書」と「諮問」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 詔書は君主の命令や意思を示す公文書、諮問は専門家や機関へ意見を求める手続を表す。
- イ 詔書は専門家や機関へ意見を求める手続、諮問は君主の命令や意思を示す公文書を表す。
- ウ どちらも上位者の考えを伝えるため、命令か意見募集かは区別しない。
- エ 詔書は口頭、諮問は書面の場合だけに用いる。

(2) 「周知」と「吹聴」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 周知は話を得意げに、またはむやみに言い広めること、吹聴は必要な情報を広く知らせることを表す。
- イ どちらも多くの人へ伝える行為なので、目的や話し方の違いはない。
- ウ 周知は必要な情報を広く知らせること、吹聴は話を得意げに、またはむやみに言い広めることを表す。
- エ 周知は正しい情報、吹聴は必ず虚偽だけを広めることを表す。

(3) 「抄録」と「記述」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 抄録は元の文章の要点や一部を抜き出したもの、記述は事実や考えを書き表す行為やその内容を表す。
- イ 抄録は事実や考えを書き表す行為やその内容、記述は元の文章の要点や一部を抜き出したものを表す。
- ウ どちらも文章を短くする作業で、元の文から選ぶか新たに書くかは同じである。
- エ 抄録は古文、記述は現代文にだけ用いる。

(4) 「諦観」と「諦め」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 諦観は望みを断って続けることをやめること、諦めは本質や成り行きを静かに見極める見方を表す。
- イ どちらも行動をやめる消極的な態度だけを表す。
- ウ 諦観は本質や成り行きを静かに見極める見方、諦めは望みを断って続けることをやめることを表す。
- エ 諦観は成功後、諦めは失敗後にだけ生じる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「変更を住民へ（A）する」 B「手柄を（B）する」

- ア A=吹聴／B=周知 イ A=周知／B=周知
- ウ A=周知／B=吹聴 エ A=吹聴／B=吹聴

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「変化を（A）する」 B「交渉を（B）る」

- ア A=諦め／B=諦観 イ A=諦観／B=諦観
- ウ A=諦め／B=諦め エ A=諦観／B=諦め

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 同じ振動数の音叉がキョウメイして鳴った。 | (9) 案内冊子を両面インサツした。 |
| (2) 委員会は専門家ヘシジュンし、意見を求めた。 | (10) 全員で校歌をセイショウした。 |
| (3) 駅の窓口で、目的地までのキップを買った。 | (11) 建物のシュウイに、安全柵を設けた。 |
| (4) 史料に残るショウチョクから、君主の意向を読む。 | (12) 作家のセイタン百年を記念する展示が開かれた。 |
| (5) 人権への理解を深めるケイハツ活動が行われた。 | (13) 式典には知事もリンセキした。 |
| (6) 失敗を笑うように、自分へ向けてジチョウした。 | (14) 管楽器を中心とするスイソウ楽を演奏した。 |
| (7) 劇場のオンキョウ設備を調整した。 | (15) 論文の内容を短いショウロクにまとめた。 |
| (8) 努力しても届かないというテイネンを振り払った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 抄録 () | (17) 譲位 () | (18) 後嗣 () | (19) 失踪 () | (20) 記述 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

命令が町の言葉になるまで

古い詔書の写しには君主の印章があり、新しい制度の誕生を一齐に周知せよと記されていた。町では鐘を鳴らし、符号を付けた掲示を出したという。公式文書はそれだけなら一方向の命令に見える。

しかし、評議会の記録には、実施方法を職人へ諮問したとある。拝啓で始まる商人の手紙は負担を訴え、町人の記述には嘲笑や戸惑いも残った。命令を受けた側にも、それぞれの応答があった。

【伝達の段階】原文／抄録／読み上げ／聞いた人の反響／後日の記憶

中央から届いた命令は、町で読み上げられ、掲示され、家庭へ伝えられた。そのたびに言葉が少しずつ補われている。

詔書の長い章句は地域ごとに抄録され、臨時の掲示へ直された。その際、「望ましい」が「必ず行え」に変わった箇所もある。短くするだけで、命令の強さまで変わることがある。

使者が到着する前に内容を吹聴した人もいた。失踪した後嗣への譲位という誤った話が広がり、宮殿が鳴動したとの噂まで加わった。伝達の速さと確かさは同じではない。

後世の記録は、町が命令に従ったと簡潔に述べる。だが、反響を読むと、交渉して方法を変えた人も、諦観して受け入れた人もいた。結果が同じでも、そこへ至る過程は一つではなかった。

悠人と真央は、公式の詔書を中心に置き、その周りに手紙・掲示・口伝を並べた。矢印には「命令」「相談」「要約」「噂」と書き、同じ情報がどう変わったかを示した。

悠人は原文と口伝を左右に置き、増えた説明へ線を引いた。変化は誤りだけでなく、伝える相手への工夫もあった。

文書の力を読むには、発した側の言葉だけでなく、受け取った側の応答が必要である。原文と反響を往復すると、命令がそのまま届いたのではなく、人々の解釈を経て町の現実になったことが分かる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「文章の要点や一部を抜き出してまとめたもの」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「シモン」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「反響」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 君主が地位を後継者へ譲ること。

イ 意味を示すために定めたしるし。

ウ 行方を知らせず姿を消すこと。

エ ある働きかけに対して起こる反応や評判。

（4）詔書の原文と町の掲示を分けて展示したのはなぜか。

ア 抄録や読み上げの過程で、言葉の省略だけでなく命令の強さや意味も変わっていたから。

イ 印章のある文書は町で読むことが禁じられていたから。

ウ 掲示には漢字を一字も使えなかったから。

エ 詔書と掲示は必ず別の制度を述べるから。

（5）公式文書だけでなく町人の手紙も並べたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「原文」「反響」の二語を用い、命令の伝わり方を調べる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| (1) イ 大きな音を立てて揺れ動くこと。 | (4) ウ ある働きかけに対して起こる反応や評判。 |
| (2) ア 意味や関係を示すために定めたしるし。 | (5) イ 専門家や機関に意見を求めること。 |
| (3) エ 手紙の初めに相手を敬って用いる語。 | (6) ア 天皇や君主の命令・意思を記した公文書。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 鳴動 | (8) 諦観 |
| (2) 符号 | (9) 印章 |
| (3) 拝啓 | (10) 周知 |
| (4) 反響 | (11) 章句 |
| (5) 諮問 | (12) 誕生 |
| (6) 詔書 | (13) 臨時 |
| (7) 嘲笑 | (14) 吹聴 |

使い分けを確かめよう：詔書は君主の命令や意思を示す公文書、諮問は専門家や機関へ意見を求める手続を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 詔書は君主の命令や意思を示す公文書、諮問は専門家や機関へ意見を求める手続を表す。

用例：詔書を読み上げる／評議会へ諮問する

(2) ウ 周知は必要な情報を広く知らせること、吹聴は話を得意げに、またはむやみに言い広めることを表す。

用例：変更を住民へ周知する／手柄を吹聴する

(3) ア 抄録は元の文章の要点や一部を抜き出したもの、記述は事実や考えを書き表す行為やその内容を表す。

用例：会議録の抄録を作る／反応を詳しく記述する

(4) ウ 諦観は本質や成り行きを静かに見極める見方、諦めは望みを断って続けることをやめることを表す。

用例：変化を諦観する／交渉を諦める

(5) ウ A＝周知、B＝吹聴。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝諦観、B＝諦め。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 共鳴

(11) 周囲

(2) 諮詢

(12) 生誕

(3) 切符

(13) 臨席

(4) 詔勅

(14) 吹奏

(5) 啓発

(15) 抄録

(6) 自嘲

(16) しょうろく

(7) 音響

(17) じょうい

(8) 諦念

(18) こうし

(9) 印刷

(19) しっそう

(10) 斉唱

(20) きじゅつ

七 文章の中で考えよう

- (1) 抄録 本文中では「抄録」と表されている。
- (2) 諮問
- (3) エ ある働きかけに対して起こる反応や評判。
- (4) ア 抄録や読み上げの過程で、言葉の省略だけでなく命令の強さや意味も変わっていたから。
- (5) 解答例（46 字）

命令を受けた人々の戸惑い・批判・交渉を示し、同じ結果へ至る応答の違いを読めるようにするため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（77 字）

発した側の原文を基準に、抄録・掲示・口伝で何が省かれ強められたかを比べる。さらに手紙や評議記録の反響を重ね、受け手の解釈と交渉が実施をどう変えたかを読む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第七回

抽象と判断

もっともらしい説明を、根拠・含意・例外に分けて検討する。

今日の中心漢字

簡 覧 伺 尋 欺 顧 詣 擬

いっしょに覚える漢字

曲	欠	拳	然	及	含
屈	那	尚	衝	剖	遵

簡潔・含意・遵守など判断に関わる語を確かめたあと、由来の異なる二つの参詣記録を吟味する文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
簡 覧 伺 尋	カン・ケン	手軽／複雑でない 簡潔・簡単・簡略・書簡	欺 顧 詣 擬	ギ・あざむく	うそを用いてだます 詐欺・欺く・欺瞞・欺罔
	ラン	広く見る 閲覧・一覧・観覧・展覧		コ・かえりみる	振り返る／心にかける 顧慮・回顧・顧客・一顧
	シ・うかがう	尋ねる／相手の様子を見る 伺書・伺う・伺候・伺い		ケイ・もうでる・いたる	社寺へ参る／高い境地へ至る 参詣・詣でる・造詣・初詣
	ジン・たずねる・ひろ	探し求める／問いただす 尋問・尋ねる・尋常・千尋		ギ・まがい	本物に似せる／仮に置く 模擬・擬態・擬音・擬似

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
曲 欠 拳 然 及 含	キョク・まがる・まげる	まがる／正しくない形へ変える 曲解・曲線・楽曲・委曲	屈 那 尚 衝 剖 遵	クツ・かがむ・かがめる	折れ曲がる／従う 屈服・屈折・理屈・不屈
	ケツ・かける・かく	一部が足りない 欠如・欠点・欠席・不可欠		ナ	どれ／音を表す字として用いる 刹那・旦那・支那・那辺
	キョ・あげる・あげる	持ち上げる／取り上げる 列举・拳手・選挙・検挙		ショウ・なお	さらに／重んじる 尚早・高尚・尚武・時期尚早
	ゼン・ネン・しか・しかり	そのとおり／そのような状態 当然・自然・偶然・然る		ショウ・つく	突き当たる／大切な地点 衝突・衝撃・要衝・折衝
	キュウ・およぶ・および・およぼす	届く／そこまで至る 波及・及第・言及・普及		ボウ	切り分けて明らかにする 解剖・剖検・剖析・縦剖
	ガン・ふくむ・ふくめる	中に入れる／意味をもたせる 含意・包含・含有・含蓄		ジュン	決まりや道筋に従う 遵守・遵法・遵行・遵奉

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「簡潔」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 上位者へ判断や許可を求める文書。
- イ 人をだまして利益などを得る行為。
- ウ 要点がまとまり、無駄がなく分かりやすいこと。
- エ 神社や寺へ参ること。

(2) 「閲覧」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 事実を明らかにするため問いただすこと。
- イ 書物や資料などを調べるために見ること。
- ウ 事情や影響を心にかけ、よく考えること。
- エ 実際のものに似せて行うこと。

(3) 「伺書」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 上位者へ判断や許可を求める文書。
- イ 人をだまして利益などを得る行為。
- ウ 神社や寺へ参ること。
- エ 要点がまとまり、無駄がなく分かりやすいこと。

(4) 「尋問」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 事情や影響を心にかけ、よく考えること。
- イ 実際のものに似せて行うこと。
- ウ 書物や資料などを調べるために見ること。
- エ 事実を明らかにするため問いただすこと。

(5) 「詐欺」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 神社や寺へ参ること。
- イ 要点がまとまり、無駄がなく分かりやすいこと。
- ウ 人をだまして利益などを得る行為。
- エ 上位者へ判断や許可を求める文書。

(6) 「顧慮」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 実際のものに似せて行うこと。
- イ 事情や影響を心にかけ、よく考えること。
- ウ 書物や資料などを調べるために見ること。
- エ 事実を明らかにするため問いただすこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 簡潔 顧慮 列举 閲覧 参詣 当然 伺書 模擬 波及 尋問 曲解 含意 詐欺 欠如

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| (1) 報告は要点を絞り、（ ）にまとめた。 | (8) 本番に備えて避難訓練を（ ）した。 |
| (2) 館内の資料は受付を済ませれば（ ）できる。 | (9) 発言の一部だけを取り出して（ ）してはいけ
ない。 |
| (3) 担当課は上司の判断を求める（ ）を提出した。 | (10) 計画には費用への配慮が（ ）している。 |
| (4) 捜査官は証人を別室で（ ）した。 | (11) 必要な道具を順に（ ）した。 |
| (5) 甘い言葉で金をだまし取る（ ）に注意する。 | (12) 借りた物を返すのは（ ）のことだ。 |
| (6) 相手の事情を（ ）して、期限を延ばした。 | (13) 一社の値上げが業界全体へ（ ）した。 |
| (7) 春の彼岸に家族で寺へ（ ）した。 | (14) 遠回しな表現に込められた（ ）を考える。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「簡潔」と「単純」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 簡潔は構造や要素が込み入っていないこと、単純は要点を保ちながら無駄なくまとまっていることを表す。
- イ どちらも短く分かりやすいことなので、情報を保つか要素が少ないかは同じである。
- ウ 簡潔は文章、単純は機械にだけ用いる。
- エ 簡潔は要点を保ちながら無駄なくまとまっていること、単純は構造や要素が込み入っていないことを表す。

(2) 「閲覧」と「参照」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 閲覧は判断や説明のため別の資料を手がかりにすること、参照は資料そのものを開いて見ることを表す。
- イ 閲覧は資料そのものを開いて見ること、参照は判断や説明のため別の資料を手がかりにすることを表す。
- ウ どちらも資料を見るため、その資料を読むことと手がかりに用いることは区別しない。
- エ 閲覧は紙、参照は電子資料の場合だけに用いる。

(3) 「詐欺」と「曲解」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 詐欺は言葉や事実を本来と違う意味へねじ曲げる解釈、曲解は人をだまして利益などを得る行為を表す。
- イ どちらも事実と異なるため、利益目的の行為か誤った解釈かは同じである。
- ウ 詐欺は意図的、曲解は必ず無意識の場合だけを表す。
- エ 詐欺は人をだまして利益などを得る行為、曲解は言葉や事実を本来と違う意味へねじ曲げる解釈を表す。

(4) 「顧慮」と「遵守」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 顧慮は定められた規則や約束に従うこと、遵守は事情や影響を心にかけて判断することを表す。
- イ 顧慮は事情や影響を心にかけて判断すること、遵守は定められた規則や約束に従うことを表す。
- ウ どちらも慎重な態度なので、状況を考えるか決まりを守るかは区別しない。
- エ 顧慮は例外を認め、遵守は例外を一切認めない場合だけに用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の手口を調べる」 B「記録を都合よく(B)する」

- ア A=詐欺/B=曲解 イ A=曲解/B=詐欺
- ウ A=詐欺/B=詐欺 エ A=曲解/B=曲解

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「説明を(A)にする」 B「(B)な仕組みを用いる」

- ア A=単純/B=簡潔 イ A=簡潔/B=単純
- ウ A=簡潔/B=簡潔 エ A=単純/B=単純

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 仕組みをカンタンな図にして説明した。 | (9) グラフのキョクセンが、途中から急に上がった。 |
| (2) 事実を隠すギマンに満ちた説明を見抜いた。 | (10) 水中では光がクッセツし、物がずれて見える。 |
| (3) 参加者の名前をイチランにして配った。 | (11) この案のケッテンを挙げ、改善策を考えた。 |
| (4) 卒業生は、学校の歩みをカイコした。 | (12) 賛成の人は、手を挙げてキョシュしてください。 |
| (5) 家臣は朝早く登城し、主君のもとヘシコウした。 | (13) 自然を支配するのではなく、シゼンと共に暮らす。 |
| (6) 彼は東洋美術への深いゾウケイで知られる。 | (14) 努力が実り、難しい試験にキュウダイした。 |
| (7) いつもより高い波で、ジンジョウでない様子だった。 | (15) この概念は、複数の小さな要素をハウガンする。 |
| (8) 昆虫に似せたロボットがギタイして背景へ溶け込む。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 刹那 () | (17) 尚早 () | (18) 衝突 () | (19) 解剖 () | (20) 遵守 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

二つの参詣記録を吟味する

同じ寺への参詣を記した二冊の書簡が見つかった。一冊は道順を簡潔に列挙し、もう一冊は奇跡が起きたと詳しく述べる。閲覧した悠人は、詳しい方が当然正しいのではないかと考えた。

ところが、奇跡の記録は寺が参詣者を集め始めた後に書かれていた。利益のための詐欺と断定するのも尚早だが、宣伝の意図を顧慮する必要はある。詳しくと確かさは同じではない。参詣記録の歩数と宿泊日数は一致しなかった。速く歩いたと決めず、道の変更や記録漏れも候補に残した。

道順の記録には、規則を遵守して関所へ伺書を出したこと、尋問を受けたことがある。一方、奇跡の記録には関所がない。省略なのか、別の道なのか、それだけでは決められなかった。

真央は両方の地名を地図へ置き、模擬の旅程を作った。刹那で移動できない距離なのに、一日で着いたという箇所がある。誇張か日付の誤りかを考えるには、宿場や道の状態も要る。

【判断を分ける】書かれた事実／書き手の推論／言葉の含意／欠如した情報

奇跡を信じた人を欺かれたと嘲るのも、記録をそのまま史実とするのも曲解になり得る。信仰が人々の行動へどう波及したかは、出来事の真偽とは別に調べられる。

二人の意見は衝突したが、資料を解剖するように主張と根拠を分けた。説明に含意された価値判断、反例の欠如、権威へ屈服した可能性も書き出すと、どこまで言えるかが見えた。

二人は二冊の記録を一日ごとに切り分け、重なる地点だけを先に確定した。違いは、どちらかを捨てる理由ではない。

史料を読む判断は、正しいか偽物かの二択ではない。確かな部分、推測できる部分、なお不明な部分を分ける。根拠に即した範囲を守ること、魅力ある話にも否定的な話にも引きずられずに済む。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「言葉の表面には出ず、その内に含まれている意味」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

（2）「ジュンシュ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「尚早」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 判断や実行をするには、まだ早すぎること。

イ 二つ以上の意見がぶつかること。

ウ 資料の要点を一つずつ並べること。

エ 力に押され抵抗をやめて従うこと。

（4）詳しい記録をただちに正しいとしなかったのはなぜか。

ア 簡潔な記録には必ず誤りがないから。

イ 寺の記録はすべて詐欺として作られるから。

ウ 参詣の道順は地図で確かめられないから。

エ 記録の詳しさは、書き手の目的や作成時期、他の資料との一致まで保証するものではないから。

（5）奇跡の真偽と、信仰の波及を分けて調べたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「根拠」「範囲」の二語を用い、史料から判断するときの方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) ウ 要点がまとまり、無駄がなく分かりやすいこと。 | (4) エ 事実を明らかにするため問いただくこと。 |
| (2) イ 書物や資料などを調べるために見ること。 | (5) ウ 人をだまして利益などを得る行為。 |
| (3) ア 上位者へ判断や許可を求める文書。 | (6) イ 事情や影響を心につけて、よく考えること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 簡潔 | (8) 模擬 |
| (2) 閲覧 | (9) 曲解 |
| (3) 伺書 | (10) 欠如 |
| (4) 尋問 | (11) 列举 |
| (5) 詐欺 | (12) 当然 |
| (6) 顧慮 | (13) 波及 |
| (7) 参詣 | (14) 含意 |

使い分けを確かめよう：簡潔は要点を保ちながら無駄なくまとまっていること、単純は構造や要素が込み入っていないことを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 簡潔は要点を保ちながら無駄なくまとまっていること、単純は構造や要素が込み入っていないことを表す。

用例：説明を簡潔にする／単純な仕組みを用いる

(2) イ 閲覧は資料そのものを開いて見ること、参照は判断や説明のため別の資料を手がかりにすることを表す。

用例：原本を閲覧する／年表を参照して比べる

(3) エ 詐欺は人をだまして利益などを得る行為、曲解は言葉や事実を本来と違う意味へねじ曲げる解釈を表す。

用例：詐欺の手口を調べる／記録を都合よく曲解する

(4) イ 顧慮は事情や影響を心にかけて判断すること、遵守は定められた規則や約束に従うことを表す。

用例：周囲への影響を顧慮する／閲覧規則を遵守する

(5) ア A＝詐欺、B＝曲解。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝簡潔、B＝単純。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 簡単	(11) 欠点
(2) 欺瞞	(12) 拳手
(3) 一覽	(13) 自然
(4) 回顧	(14) 及第
(5) 伺候	(15) 包含
(6) 造詣	(16) せつな
(7) 尋常	(17) しょうそう
(8) 擬態	(18) しょうとつ
(9) 曲線	(19) かいぼう
(10) 屈折	(20) じゅんしゅ

七 文章の中で考えよう

- (1) 含意 本文中では「含意」と表されている。
- (2) 遵守
- (3) ア 判断や実行をするには、まだ早すぎることに。
- (4) エ 記録の詳しさは、書き手の目的や作成時期、他の資料との一致まで保証するものではないから。

(5) 解答例（48 字）

奇跡が実際に起きたかとは別に、それを信じた人々の移動や寄進という行動は史料から確かめられるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例（76 字）

記述を事実・推論・含意へ分け、作成時期や目的、他資料との一致を根拠として確かめる。その根拠が支える範囲だけを結論とし、不明な部分や別の可能性も明示する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第八回

強い行為と移動

移動の記録を、命令・交渉・抵抗・偶発的な接触に分けて読む。

今日の中心漢字

打 使 投 乗 就 沿 触 挨

いっしょに覚える漢字

揮	操	抵	把	披	遇
逸	遂	撮	拶	墜	搾

使節・投降・沿岸など行為と移動に関わる語を確かめたあと、海を渡った一団の航海記録を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
打	ダ・うつ・うち	強く当てる／手を加える 打開・打撃・打診・打算	就	シュウ・ジュ・つ く・つける	その位置や仕事につく 就任・就職・就航・成就
使	シ・つかう・つか い	用いる／人を向かわせる 使節・使用・使者・大使	沿	エン・そう	線や岸に従って進む 沿岸・沿線・沿道・河沿い
投	トウ・なげる	手から放る／身を置く 投降・投入・投票・投書	触	ショク・ふれる・ さわる	接する／感じ取る 接触・触覚・抵触・触発
乗	ジョウ・のる・の せる	乗り物などに身を置く 乗船・乗客・搭乗・便乗	挨	アイ	近づく／受け答える 挨拶状・挨拶・挨拶回り・挨拶文

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
揮	キ・ふるう	振り動かす／力を発する 指揮・発揮・揮毫・揮発	逸	イツ・そらす・そ られる・はやる	定まった道から外れる 逸脱・逸話・逸材・散逸
操	ソウ・みさお・あ やつる	巧みに動かす／節操 操船・操作・体操・操縦	遂	スイ・とげる	最後までやり通す 遂行・完遂・未遂・成し遂げる
抵	テイ	押し返す／逆らう 抵抗・抵触・抵当・大抵	撮	サツ・とる・つま む	指でつまむ／写真などを取る 撮影・撮る・盗撮・一撮
把	ハ・わ	手で握る／一つに捉える 把握・一把・把持・全体把握	拶	サツ	迫る／受け答える 挨拶・挨拶文・挨拶状・挨拶回り
披	ヒ・ひらく	開いて見せる 披露・披見・披露宴・直披	墜	ツイ・おちる	高い所から落ちる 墜落・撃墜・墜死・失墜
遇	グウ	出会う／扱う 遭遇・待遇・優遇・奇遇	搾	サク・しぼる	強く押して液などを出す 压榨・搾取・搾乳・搾油

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「打開」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 戦うのをやめ敵に降ること。
- イ 新しく役職や任務につくこと。
- ウ 異なるものや人が近づき触れ合うこと。
- エ 困難な状態を切り開き解決の道をつくること。

(2) 「使節」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 船に乗り込むこと。
- イ 海・湖・川などの岸に沿った地域。
- ウ 国や組織を代表して他国などへ派遣される人。
- エ 挨拶の言葉を記して送る文書。

(3) 「投降」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 新しく役職や任務につくこと。
- イ 戦うのをやめ敵に降ること。
- ウ 異なるものや人が近づき触れ合うこと。
- エ 困難な状態を切り開き解決の道をつくること。

(4) 「乗船」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 船に乗り込むこと。
- イ 海・湖・川などの岸に沿った地域。
- ウ 挨拶の言葉を記して送る文書。
- エ 国や組織を代表して他国などへ派遣される人。

(5) 「就任」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 異なるものや人が近づき触れ合うこと。
- イ 困難な状態を切り開き解決の道をつくること。
- ウ 戦うのをやめ敵に降ること。
- エ 新しく役職や任務につくこと。

(6) 「沿岸」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 挨拶の言葉を記して送る文書。
- イ 国や組織を代表して他国などへ派遣される人。
- ウ 海・湖・川などの岸に沿った地域。
- エ 船に乗り込むこと。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 打開 沿岸 抵抗 使節 接触 把握 投降 挨拶状 披露 乗船 指揮 遭遇 就任 操船

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) 行き詰まった交渉を（ ）する糸口を探した。 | (8) 転任先へ季節の（ ）を送った。 |
| (2) 国王は友好のしるしとして隣国へ（ ）を送った。 | (9) 指導者の（ ）に合わせて隊列が動いた。 |
| (3) 城を守れなくなった軍はついに（ ）した。 | (10) 強風の中で安全に（ ）する技術を学ぶ。 |
| (4) 出港 30 分前までに（ ）手続きを終える。 | (11) 住民は立ち退き命令に（ ）した。 |
| (5) 新しい校長が 4 月に（ ）した。 | (12) 現場の（ ）に努め、必要な人数を見積もった。 |
| (6) 台風に備え、（ ）の住民へ避難を呼びかけた。 | (13) 完成した作品を初めて来客に（ ）した。 |
| (7) 壊れた電線に（ ）しないよう近づかない。 | (14) 山道で野生の熊に（ ）した。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「使節」と「使者」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 使節は命令や知らせを届けるため派遣される人、使者は国や組織を代表し外交などの任務を負う人を表す。
- イ どちらも派遣された人なので、代表権や任務の範囲は区別しない。
- ウ 使節は国や組織を代表し外交などの任務を負う人、使者は命令や知らせを届けるため派遣される人を表す。
- エ 使節は複数、使者は一人の場合だけに用いる。

(2) 「投降」と「降伏」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 投降は戦闘をやめて敵方へ身を差し出す行為、降伏は争いに敗れ相手へ従うことを広く示す語を表す。
- イ 投降は争いに敗れ相手へ従うことを広く示す語、降伏は戦闘をやめて敵方へ身を差し出す行為を表す。
- ウ どちらも敗北を認めるため、個人の行為か集団・国家の決定かは同じである。
- エ 投降は海上、降伏は陸上の戦いだけに用いる。

(3) 「沿岸」と「沖合」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 沿岸は岸から離れた海上の区域、沖合は岸に沿った陸地や近い水域を表す。
- イ どちらも海辺の同じ範囲を示し、岸からの距離は区別しない。
- ウ 沿岸は岸に沿った陸地や近い水域、沖合は岸から離れた海上の区域を表す。
- エ 沿岸は北、沖合は南の海域だけを表す。

(4) 「遭遇」と「接触」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 遭遇は予期せず人や出来事に会うこと、接触は異なる集団などが近づき関わりをもつことを表す。
- イ 遭遇は異なる集団などが近づき関わりをもつこと、接触は予期せず人や出来事に会うことを表す。
- ウ どちらも出会いを表すので、偶然性や関係の継続は同じである。
- エ 遭遇は敵、接触は友好者と会う場合だけに用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「嵐に（A）する」 B「港の住民と（B）する」

- ア A＝接触／B＝遭遇 イ A＝遭遇／B＝遭遇
- ウ A＝遭遇／B＝接触 エ A＝接触／B＝接触

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「兵が（A）する」 B「城側が（B）を認める」

- ア A＝降伏／B＝投降 イ A＝投降／B＝投降
- ウ A＝降伏／B＝降伏 エ A＝投降／B＝降伏

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 台風は地域の農業へ大きなダゲキを与えた。 | (9) 土地に伝わる不思議なイツワを聞いた。 |
| (2) 卒業後は、地域の会社へシュウショクした。 | (10) 端末の画面を指でソウサした。 |
| (3) 薬品は説明書に従ってシヨウする。 | (11) 二つの規則がテイショクする場合を検討した。 |
| (4) 鉄道のエンセンに、新しい住宅地が広がった。 | (12) 手術器具を安定してハジする力を測った。 |
| (5) 改善のため、設備へ多くの資金をトウニュウした。 | (13) 会った人には、まず明るくアイサツする。 |
| (6) 指先のショッカクで、布の違いを確かめた。 | (14) 届いた古文書を慎んでヒケンした。 |
| (7) 列車のジョウキヤクへ、遅れを案内した。 | (15) 勤務時間だけでなく、働く人のタイグウも見直す。 |
| (8) 練習の成果を本番で十分にハッキした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 遂行 () | (17) 撮影 () | (18) 挨拶 () | (19) 墜落 () | (20) 圧搾 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

海を渡った使節の航路

港の碑文には、使節が沿岸を進み、沖合で別の船へ乗船したとある。就任したばかりの指揮者が操船し、交易の道を打開したという英雄的な記述だった。

【移動記録の動詞】命令された／選んだ／抵抗した／偶然起きた／最後まで遂行した

ところが相手側の記録では、一団は嵐に遭遇し、予定の航路から逸脱して漂着したとある。港の住民との接触も、計画した交渉ではなく、食料を求めたことから始まっていた。

航路図には海だけでなく、寄港地で得た水や食料も書き込んだ。移動は一本の線ではなく、各地の支えによって続いていた。

使節は挨拶状を披露し、友好の任務を遂行したと報告した。

しかし、船員の日記には指揮へ抵抗した者や、帰国を求めた者もいる。状況を把握すると、一団を一つの意思で動いた集団とはみなせない。

途中の争いで投降した人がいたとの記録もある。相手側は捕虜にしたと書くため、自発的な投降か強制かは判断できない。強い行為を表す語ほど、だれの視点で選ばれたかが重要になる。

積荷には圧搾した油があり、容器の絵を撮影すると遠方の工房印が見つかった。物の移動は、使節の公式な航路だけでなく、船員や商人の別の接触も示していた。

後世の絵巻には、船が墜落するように波へ落ちる場面と、港で挨拶する場面が続く。物語的な誇張を除きつつ、恐怖や歓迎をどう表したかは文化資料として読むことができる。

使節の日記と港の記録を重ねると、同じ到着でも日付が一日ずれた。二人は暦と時刻の基準を確かめ直した。

悠人と真央は、予定航路と実際の航路を別の線で描いた。移動は指揮者の命令だけで生まれない。抵抗、事故、現地との交渉まで動詞ごとに分けると、海を渡った人々の選択と制約が見えてきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「任務や計画を最後まで行うこと」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

(2) 「ソウセン」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「逸脱」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 国や組織を代表して派遣される人。

イ 決まりや本来の道筋から外れること。

ウ 写真や映像を撮ること。

エ 圧力を加えて液体をしぼり出すこと。

(4) 碑文の航路だけを実際の移動としなかったのはなぜか。

ア 碑文には港の名前が一つもなかったから。

イ 使節は必ず陸路だけを利用するから。

ウ 相手側の記録や船員の日記には、嵐による漂着や抵抗など予定外の移動が記されていたから。

エ 沿岸と沖合は地図に表せないから。

(5) 移動の動詞を五つの種類へ分けたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「予定」「実際」の二語を用い、使節の移動を復元する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| (1) エ 困難な状態を切り開き解決の道をつくること。 | (4) ア 船に乗り込むこと。 |
| (2) ウ 国や組織を代表して他国などへ派遣される人。 | (5) エ 新しく役職や任務につくこと。 |
| (3) イ 戦うのをやめ敵に降ること。 | (6) ウ 海・湖・川などの岸に沿った地域。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 打開 | (8) 挨拶状 |
| (2) 使節 | (9) 指揮 |
| (3) 投降 | (10) 操船 |
| (4) 乗船 | (11) 抵抗 |
| (5) 就任 | (12) 把握 |
| (6) 沿岸 | (13) 披露 |
| (7) 接触 | (14) 遭遇 |

使い分けを確かめよう：使節は国や組織を代表し外交などの任務を負う人、使者は命令や知らせを届けるため派遣される人を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 使節は国や組織を代表し外交などの任務を負う人、使者は命令や知らせを届けるため派遣される人を表す。

用例：交易交渉の使節を送る／到着を告げる使者が来る

(2) ア 投降は戦闘をやめて敵方へ身を差し出す行為、降伏は争いに敗れ相手へ従うことを広く示す語を表す。

用例：兵が投降する／城側が降伏を認める

(3) ウ 沿岸は岸に沿った陸地や近い水域、沖合は岸から離れた海上の区域を表す。

用例：沿岸を進む／沖合で停泊する

(4) ア 遭遇は予期せず人や出来事に会うこと、接触は異なる集団などが近づき関わりをもつことを表す。

用例：嵐に遭遇する／港の住民と接触する

(5) ウ A＝遭遇、B＝接触。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝投降、B＝降伏。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 打撃	(11) 抵触
(2) 就職	(12) 把持
(3) 使用	(13) 挨拶
(4) 沿線	(14) 披見
(5) 投入	(15) 待遇
(6) 触覚	(16) すいこう
(7) 乗客	(17) さつえい
(8) 発揮	(18) あいさつ
(9) 逸話	(19) ついらく
(10) 操作	(20) あっさく

七 文章の中で考えよう

- (1) 遂行 本文中では「遂行」と表されている。
- (2) 操船
- (3) イ 決まりや本来の道筋から外れること。
- (4) ウ 相手側の記録や船員の日記には、嵐による漂着や抵抗など予定外の移動が記されていたから。
- (5) 解答例 (46 字)

同じ航路上の行動でも、命令・選択・抵抗・偶然・任務の遂行では、本人の意思と制約が異なるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (76 字)

公式記録から予定された航路と任務を取り出し、相手側の記録、船員の日記、積荷の出所を重ねる。実際に起きた漂着・抵抗・接触を分け、移動が変わった理由を示す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第九回

成長・衰退・変質

栄えた時期と衰えた時期を一つの原因で結ばず、複数の指標で読む。

今日の中心漢字

冷 折 況 砕 繁 耗 毀 綻

いっしょに覚える漢字

満

無

密

蒸

更

駐

裂

准

凄

墮

貌

衰※

繁栄・消耗・破綻など変化を表す語を確かめたあと、港町の盛衰を人口・建物・制度から読み解く文章を扱います。 ※再会漢字：衰（第二冊第六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
冷 折 況 砕	レイ・つめたい・ひえる・ひやす・さめる・さます	温度が低い／勢いが静まる 冷却・冷淡・冷静・寒冷	繁 耗 毀 綻	ハン	盛んに増える／込み入る 繁栄・繁殖・繁華・頻繁
	セツ・おる・おれる・おり	曲げて重ねる／途中で曲がる 折衷・折半・骨折・時折		モウ・コウ・へる	すり減る／使ってなくなる 消耗・摩耗・減耗・耗弱
	キョウ・まして	物事のありさま 状況・近況・不況・況して		キ・こぼつ・こわす・こわれる	壊す／傷つける 毀損・名誉毀損・毀壊・毀棄
	サイ・くだく・くだける	細かく壊す 粉碎・碎石・砕く・玉砕		タン・ほころびる	縫い目がほどける／破れが現れる 破綻・綻び・綻裂・綻ぶ

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
満 無 密 蒸 更 駐	マン・みちる・みたす	いっぱいになる 満潮・満員・満足・充滿	裂 准 凄 墮 貌 衰※	レツ・さく・さける	引き分かれて破れる 亀裂・分裂・破裂・裂け目
	ム・ブ・ない	存在しない／打ち消す 無効・無事・無理・無数		ジュン	あるものに準じる 批准・准将・批准書・准教授
	ミツ	すき間がない／ひそか 密集・秘密・精密・過密		セイ・サイ・すごい・すさまじい	ぞっとするほど激しい 凄惨・凄絶・物凄・凄腕
	ジョウ・むす・むれる・むらす	熱気が上がる／蒸気で熱する 蒸発・蒸気・蒸留・蒸す		ダ・おちる	悪い状態へ落ちる 墮落・墮胎・墮す・墮落論
	コウ・さら・ふける・ふかす	新しくする／さらに 更新・変更・更地・更生		ボウ・バク・かたち	顔つき／外から見える姿 変貌・容貌・全貌・美貌
	チュウ	一定の場所にとどまる 駐屯・駐車・駐在・常駐		スイ・おとろえる	再会：勢いや力が弱くなる 衰退・老衰・盛衰・衰弱

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「冷却」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 熱を取り除いて温度を下げること。
- イ その時、その場で物事がどのようなになっているか。
- ウ 国や町、産業などが豊かに栄えること。
- エ 物や信用などを壊し傷つけること。

(2) 「折衷」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 強い力で細かく砕くこと。
- イ 使ううちに量や力が減ること。
- ウ 制度や計画などが成り立たなくなること。
- エ 異なる考えのよい点を取り合わせること。

(3) 「状況」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 国や町、産業などが豊かに栄えること。
- イ 物や信用などを壊し傷つけること。
- ウ その時、その場で物事がどのようなになっているか。
- エ 熱を取り除いて温度を下げること。

(4) 「粉碎」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 使ううちに量や力が減ること。
- イ 強い力で細かく砕くこと。
- ウ 制度や計画などが成り立たなくなること。
- エ 異なる考えのよい点を取り合わせること。

(5) 「繁栄」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 国や町、産業などが豊かに栄えること。
- イ 物や信用などを壊し傷つけること。
- ウ 熱を取り除いて温度を下げること。
- エ その時、その場で物事がどのようなになっているか。

(6) 「消耗」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 制度や計画などが成り立たなくなること。
- イ 異なる考えのよい点を取り合わせること。
- ウ 強い力で細かく砕くこと。
- エ 使ううちに量や力が減ること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 冷却 消耗 密集 折衷 毀損 蒸発 状況 破綻 更新 粉碎 満潮 駐屯 繁栄 無効

(1) 熱を持った機械を停止し、十分に（ ）した。 (8) 収入の見通しが崩れ、資金計画が（ ）した。

(2) 両案を生かす（ ）案をまとめた。 (9) （ ）になる前に、岩場から戻った。

(3) 被災地の（ ）を地図と写真で確認した。 (10) 期限を過ぎた券は（ ）となる。

(4) 岩を細かく（ ）して成分を調べた。 (11) 駅前に店や住宅が（ ）している。

(5) 港町は交易によって長く（ ）した。 (12) 水たまりは日差しを受けて（ ）した。

(6) 長距離の移動で体力を（ ）した。 (13) 期限の切れた免許を（ ）した。

(7) 展示品を（ ）しないよう、ケースには触れない。
い。 (14) 国境近くには兵士が長く（ ）していた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「繁栄」と「繁殖」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 繁栄は生物が子孫や個体数を増やすこと、繁殖は町や産業などが豊かに栄えることを表す。
- イ 繁栄は町や産業などが豊かに栄えること、繁殖は生物が子孫や個体数を増やすことを表す。
- ウ どちらも数や勢が増えるため、社会と生物の違いは区別しない。
- エ 繁栄はよい増加、繁殖は悪い増加だけを表す。

(2) 「毀損」と「粉碎」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 毀損は強い力で物を細かく砕くこと、粉碎は物や信用などを傷つけ価値を損なうことを表す。
- イ どちらも壊す行為なので、価値を損なうか細片にするかは同じである。
- ウ 毀損は故意、粉碎は事故の場合だけに用いる。
- エ 毀損は物や信用などを傷つけ価値を損なうこと、粉碎は強い力で物を細かく砕くことを表す。

(3) 「破綻」と「衰退」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 破綻は勢いや力が次第に弱くなること、衰退は制度や計画が成り立たなくなることを表す。
- イ 破綻は制度や計画が成り立たなくなること、衰退は勢いや力が次第に弱くなることを表す。
- ウ どちらも悪化を示すため、成り立たなくなる時点か徐々な変化かは区別しない。
- エ 破綻は急変、衰退は百年以上かかる場合だけを表す。

(4) 「変貌」と「更新」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 変貌は古い内容や状態を新しく改めること、更新は外見やあり方が大きく変わることを表す。
- イ どちらも新しくなるので、結果として変わるか意図的に改めるかは同じである。
- ウ 変貌は自然、更新は人工物だけに用いる。
- エ 変貌は外見やあり方が大きく変わることを、更新は古い内容や状態を新しく改めることを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「港町が(A)する」 B「害虫が(B)する」

- ア A＝繁栄／B＝繁殖 イ A＝繁殖／B＝繁栄
- ウ A＝繁栄／B＝繁栄 エ A＝繁殖／B＝繁殖

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「財政計画が(A)する」 B「港の交易が(B)する」

- ア A＝衰退／B＝破綻 イ A＝破綻／B＝衰退
- ウ A＝破綻／B＝破綻 エ A＝衰退／B＝衰退

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) 困っている人へレイタンな態度を取らない。 | (9) 意見の違いから、組織が二つにブンレツした。 |
| (2) 春になると、多くの生き物がハンショク期を迎える。 | (10) 家族がブジに避難したと分かり、安心した。 |
| (3) 食事代は参加者二人でセツパンした。 | (11) この話は二人だけのヒミツにしよう。 |
| (4) 長年使った石段は、表面がマモウしている。 | (12) 工場ではジョウキを使って部品を加熱する。 |
| (5) 遠くの友人へ、最近のキンキョウを知らせた。 | (13) 雨の予報を受け、遠足の日程をヘンコウした。 |
| (6) 不要な契約書を勝手にキキすれば、責任を問われる。 | (14) 入口の前はチュウシャ禁止である。 |
| (7) 線路の下へ敷くサイセキを運んだ。 | (15) 議会は、条約をヒジュンするか審議した。 |
| (8) 人気の講演で、会場はマンインになった。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 批准 () | (17) 凄惨 () | (18) 墮落 () | (19) 変貌 () | (20) 衰退 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

港町はいつ衰えたのか

展示の年表では、港町の繁栄が一八〇〇年に頂点を迎え、その後は衰退したとされていた。だが、真央が人口表を見ると、家屋はなお密集し、倉庫も更新されている。一本の折れ線だけでは説明できない。

港の状況は指標ごとに違った。交易量は減っても、駐屯する人は増え、満潮時に使える岸壁も広がった。古い制度が無効になった年と、人々の暮らしが変貌した年も一致しない。船の数が減った年と、倉庫の使用が減った年は同じではなかった。衰えを一つの日付へ押し込むと、原因の順序が見えなくなる。

火災で倉が凄惨な状態になり、石材は粉碎され、壁には亀裂が入った。これは物の毀損である。一方、共同の保険制度が費用を払えず破綻したことは、仕組みが成り立たなくなった変化だった。

【変化を測る指標】人口／取引量／建物／制度／自然環境／人の評価

冷却設備の導入で魚の消耗は減ったが、蒸気機関を動かす燃料費はかさんだ。一つの技術が改善しても、産業全体が繁栄するとは限らない。何が伸び、何が減ったかを分ける必要がある。外国との条約が批准されると、別の港へ船が集まった。これを町人の墮落だけで説明する後世の文章もあるが、人柄の評価は原因の証明にならない。航路・税・設備の変化を確かめるべきだ。

悠人は「衰退の開始年」を一つに決めず、各指標が向きを変えた期間を帯で示した。建物は残っても仕事が減り、人口が保たれても自治制度が綻ぶ場合がある。真央は変化の速さを三本の線で表し、人口、交易、施設が別々に動いたことを示した。

成長と衰退は、町全体が同時に上下する一つの線ではない。物・制度・人口・評価を分け、変化の速さを比べると、港町が何を失い、何を保ち、新しく得たのかを具体的に読める。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「制度や計画などが成り立たなくなる」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「キソン」を漢字2字で書きなさい。

（3）本文中の「批准」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 熱を取り除いて温度を下げること。
- イ 多くのものが狭い場所に集まること。
- ウ 条約などを国家が正式に確認し、同意すること。
- エ 物の表面や内部に生じた割れ目。

（4）港町の衰退開始年を一つに決めなかったのはなぜか。

- ア 年表には西暦を記すことができないから。
- イ 人口・交易・建物・制度では変化の向きと時期が異なり、町全体が同時に衰えたわけではないから。
- ウ 港町の人口は一度も変化しなかったから。
- エ 衰退という語は自然環境にしか使えないから。

（5）火災の毀損と保険制度の破綻を分けたのはなぜか。45～55字で説明しなさい。

（6）「指標」「時期」の二語を用い、町の盛衰を調べる方法を70～90字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| (1) ア 熱を取り除いて温度を下げること。 | (4) イ 強い力で細かく砕くこと。 |
| (2) エ 異なる考えのよい点を取り合わせること。 | (5) ア 国や町、産業などが豊かに栄えること。 |
| (3) ウ その時、その場で物事がどのようなになっているか。 | (6) エ 使ううちに量や力が減ること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 冷却 | (8) 破綻 |
| (2) 折衷 | (9) 満潮 |
| (3) 状況 | (10) 無効 |
| (4) 粉碎 | (11) 密集 |
| (5) 繁荣 | (12) 蒸発 |
| (6) 消耗 | (13) 更新 |
| (7) 毀損 | (14) 駐屯 |

使い分けを確かめよう：繁荣は町や産業などが豊かに栄えること、繁殖は生物が子孫や個体数を増やすことを表す。

五 似た語を使い分けよう

- (1) イ 繁栄は町や産業などが豊かに栄えること、繁殖は生物が子孫や個体数を増やすことを表す。
用例：港町が繁栄する／害虫が繁殖する
- (2) エ 毀損は物や信用などを傷つけ価値を損なうこと、粉碎は強い力で物を細かく砕くことを表す。
用例：石碑を毀損する／岩を粉碎する
- (3) イ 破綻は制度や計画が成り立たなくなること、衰退は勢いや力が次第に弱くなることを表す。
用例：財政計画が破綻する／港の交易が衰退する
- (4) エ 変貌は外見やあり方が大きく変わること、更新は古い内容や状態を新しく改めることを表す。
用例：港の景観が変貌する／台帳の記録を更新する
- (5) ア A＝繁栄、B＝繁殖。(1)の使い分けを参照。
- (6) イ A＝破綻、B＝衰退。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 冷淡	(11) 秘密
(2) 繁殖	(12) 蒸気
(3) 折半	(13) 変更
(4) 摩耗	(14) 駐車
(5) 近況	(15) 批准
(6) 毀棄	(16) ひじゅん
(7) 碎石	(17) せいさん
(8) 満員	(18) だらく
(9) 分裂	(19) へんぼう
(10) 無事	(20) すいたい

七 文章の中で考えよう

(1) 破綻 本文中では「破綻」と表されている。

(2) 毀損

(3) ウ 条約などを国家が正式に確認し、同意すること。

(4) イ 人口・交易・建物・制度では変化の向きと時期が異なり、町全体が同時に衰えたわけではないから。

(5) 解答例 (48 字)

前者は建物や石材の価値が損なわれた変化、後者は費用を支える仕組みが成り立たなくなった変化だから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例 (77 字)

人口・取引量・建物・制度・自然環境を別の指標として調べ、それぞれが増減した時期を帯で示す。一つの年や人物評を原因とせず、何が失われ何が保たれたかを比べる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十回

慣習と身分

慣習を変えない決まりとせず、参加者・地域・時代の違いから読む。

今日の中心漢字

集 帰 参 支 栄 堂 籍 庸

いっしょに覚える漢字

漢

奈

寿

厄

拐

竜

掌

捉

戯

畿

褒

鎮

戸籍・畿内・鎮守など社会の営みに関わる語を確かめたあと、祭礼の参加名簿から慣習と身分の関係を考える文章を読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
集 帰 参 支	シュウ・あつま る・あつめる・つ どう	一か所へ寄る 集落・集合・収集・編集	栄 堂 籍 庸	エイ・さかえる・ はえ・はえる	盛んになる／名誉 栄典・繁栄・光栄・栄養
	キ・かえる・かえ す	もとの所へ戻る／属する 帰属・帰郷・復帰・帰結		ドウ	大きな建物／公の場所 公会堂・本堂・食堂・堂々
	サン・まいる	加わる／訪れる 参列・参加・参照・参詣		セキ	人や物の所属を記す帳簿 戸籍・国籍・書籍・在籍
	シ・ささえる	分かれる／持ちこたえさせる 支度・支持・支給・支流		ヨウ	普通／古代の労役・布の税 租庸調・中庸・凡庸・登庸

二いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
漢 奈 寿 厄 拐 竜	カン	中国の王朝名／男性 漢代・漢字・漢文・好漢	掌 捉 戯 畿 褒 鎮	ショウ・たなごこ ろ	手のひら／手中に収める 掌握・手掌・車掌・合掌
	ナ・ダイ・いかん	音や問いを表す字／地名に用いる 奈良・神奈川・奈落・如何		ソク・とらえる	つかまえる／理解する 捉える・捕捉・捉え方・把捉
	ジュ・ス・ことぶ き	長生き／祝い 長寿・寿命・賀寿・寿司		ギ・たわむれる・ ざれる・じゃれる	ふざける／演じる 遊戯・戯曲・悪戯・戯画
	ヤク	災い／苦しみ 厄年・厄介・災厄・厄除け		キ	都に近い地域 畿内・近畿・畿央・王畿
	カイ	だまして連れ去る 誘拐・拐帯・拐取・略拐		ホウ・ほめる	よい行いをたたえる 褒賞・褒める・褒美・褒章
	リュウ・リョウ・ たつ	想像上の動物 竜神・恐竜・竜巻・登竜門		チン・しずめる・ しずまる	しずめる／その地を守る 鎮守・鎮圧・鎮静・鎮座

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「集落」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 式や行事に出席して列に加わること。
- イ 家々がまとまって建つ居住の単位。
- ウ 功績をたたえて与えられる名誉や褒賞。
- エ 家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録。

(2) 「帰属」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 人や物がある集団・組織などに属すること。
- イ 出発や行事などに備えて準備すること。
- ウ 集会や行事のため人々が集まる建物。
- エ 古代日本で稲・労役や布・地方の産物を納めた税制。

(3) 「参列」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 功績をたたえて与えられる名誉や褒賞。
- イ 家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録。
- ウ 家々がまとまって建つ居住の単位。
- エ 式や行事に出席して列に加わること。

(4) 「支度」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 集会や行事のため人々が集まる建物。
- イ 古代日本で稲・労役や布・地方の産物を納めた税制。
- ウ 出発や行事などに備えて準備すること。
- エ 人や物がある集団・組織などに属すること。

(5) 「栄典」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録。
- イ 功績をたたえて与えられる名誉や褒賞。
- ウ 家々がまとまって建つ居住の単位。
- エ 式や行事に出席して列に加わること。

(6) 「公会堂」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 集会や行事のため人々が集まる建物。
- イ 古代日本で稲・労役や布・地方の産物を納めた税制。
- ウ 人や物がある集団・組織などに属すること。
- エ 出発や行事などに備えて準備すること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 集落 公会堂 長寿 帰属 戸籍 厄年 参列 租庸調 誘拐 支度 漢代 竜神 栄典 奈良

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| (1) 川沿いの小さな（ ）に 20 世帯ほどが暮らしている。 | (8) 古代の律令国家は（ ）によって税や労役を課した。 |
| (2) 島の（ ）をめぐって二国が協議した。 | (9) （ ）の中国では儒学が国家統治に用いられた。 |
| (3) 親族だけでなく近隣の人々も式に（ ）した。 | (10) 修学旅行で（ ）の古い寺院を訪れた。 |
| (4) 旅に出る（ ）を前夜のうちに済ませた。 | (11) 健康な暮らしが（ ）につながる。 |
| (5) 功績をたたえ、国から（ ）が授けられた。 | (12) 地方によって異なる（ ）の習俗を調べた。 |
| (6) 町の（ ）で住民集会が開かれた。 | (13) 子どもの（ ）事件を防ぐため、地域で見守る。 |
| (7) 出生や婚姻の記録は（ ）に登録される。 | (14) 村では湖の（ ）に豊作を祈る祭りが伝わる。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「戸籍」と「名簿」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 戸籍は家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録、名簿は一定の目的で人名を並べた一覧を表す。
- イ 戸籍は一定の目的で人名を並べた一覧、名簿は家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録を表す。
- ウ どちらも人名を載せるため、公的登録が行事ごとの一覧かは区別しない。
- エ 戸籍は家族、名簿は他人だけを記すものを表す。

(2) 「帰属」と「参加」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 帰属は行事や活動へ加わることで、参加はある集団や組織の一員として属することを表す。
- イ どちらも集団に関わるため、継続的に属するか一時的に加わるかは同じである。
- ウ 帰属はある集団や組織の一員として属すること、参加は行事や活動へ加わることを表す。
- エ 帰属は強制、参加は自由な場合だけを表す。

(3) 「栄典」と「褒賞」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 栄典は国家や組織が功績をたたえて与える名誉、褒賞はよい行いをほめ賞や品を与えることを表す。
- イ 栄典はよい行いをほめ賞や品を与えること、褒賞は国家や組織が功績をたたえて与える名誉を表す。
- ウ どちらも評価の表れなので、制度的な名誉が具体的な賞かは区別しない。
- エ 栄典は死後、褒賞は生前だけに与えられる。

(4) 「鎮守」と「竜神」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 鎮守は竜の姿などで表され水をつかさどるとされた神、竜神は土地や寺社などを守る役割から呼ぶ神を表す。
- イ どちらも同じ一柱の神の固有名で、役割や姿の違いはない。
- ウ 鎮守は土地や寺社などを守る役割から呼ぶ神、竜神は竜の姿などで表され水をつかさどるとされた神を表す。
- エ 鎮守は山、竜神は海だけを守る神を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「どの集落に（A）するか」 B「祭礼へ（B）する」

- ア A＝参加／B＝帰属 イ A＝帰属／B＝帰属
- ウ A＝帰属／B＝参加 エ A＝参加／B＝参加

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「村の（A）を祭る」 B「雨を（B）に祈る」

- ア A＝竜神／B＝鎮守 イ A＝鎮守／B＝鎮守
- ウ A＝竜神／B＝竜神 エ A＝鎮守／B＝竜神

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------|--|
| (1) 午後一時に校庭へシュウゴウしてください。 | (9) 同じカンジでも、複数の読みを持つ字がある。 |
| (2) 港は交易によってハンエイした。 | (10) 列車のシャショウが、車内放送を行った。 |
| (3) 祭りに合わせ、久しぶりにキキョウした。 | (11) 舞台の床が開き、役者がナラクへ下りた。 |
| (4) 寺のホンドウで、古い仏像を拝観した。 | (12) 新鮮な魚を使ったスシを味わった。 |
| (5) 地域の清掃活動にサンカした。 | (13) 手続に時間がかかり、少しヤッカイだった。 |
| (6) 二つのコクセキを持つ人もいる。 | (14) 古い法令では、預かった金を持ち逃げする行為をカ
イタイと呼んだ。 |
| (7) 住民のシジを得て、新制度が始まった。 | (15) 化石から、キョウリュウの姿を復元した。 |
| (8) 極端に偏らないチュウヨウの立場を探った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 捉える () | (17) 遊戯 () | (18) 畿内 () | (19) 褒賞 () | (20) 鎮守 () |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

祭礼の名簿にある決まり

公会堂で行う祭礼の名簿には、集落ごとの参列順が書かれていた。戸籍上の家、職人組合への帰属、年齢による役目が並び、昔から変わらない慣習だと説明されていた。

しかし、古い帳簿では支度を担った人の範囲が年ごとに違う。厄年の人を外す地域もあれば、長寿を祝って先頭に置く地域もある。慣習は一つの形で畿内全体に広がったわけではない。

祭礼名簿には、役目の名だけで本人の名がない欄があった。役目が続いても、担った人は毎年同じとは限らない。

鎮守の祭りには竜神の遊戯が加わり、奈良時代や漢代の物語に取材した衣装も使われた。

遠い文化の要素を取り入れても、地域では新しい意味を与えられる。古い形と外来の形は混ざり合っていた。

【慣習を比べる視点】 だれが参加したか／役目／褒賞／変わった時期／記録した人

名簿の末尾には、誘拐を防ぐため子どもの移動を見守った役もある。

後世の説明は勇者一人が町を守ったとするが、実際には多くの人が支えた。褒賞や栄典の有無だけで働きの大小は決められない。

租庸調を納めた家の子孫だけが祭具を掌握した時期もあったが、その後は新しい住民も参加した。帰属の基準が戸籍から居住年数へ変わると、名簿の順序も変化している。

悠人は決まりを「伝統だから」と説明せず、いつ、だれが、どのように変えたかを捉える年表を作った。真央は参加できなかった人の記録も横に置いた。

二人は名簿の順序を身分の上下と決めつけず、当日の動線や準備の時刻と照らした。並びには実務上の理由もあり得る。

慣習は、過去から同じ形で届く箱ではない。人々が受け継ぎ、外から取り入れ、必要に応じて変えてきた営みである。名簿の変化を読むと、身分と共同体の境が動いてきたことが見えた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「物事や人を自分の支配・管理のもとに置くこと」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「ソヨウチョウ」を漢字 3 字で書きなさい。

（3）本文中の「畿内」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 町を守るために置かれた神。

イ 災いに注意すべき年齢とする慣習。

ウ 式や行事に出席して列へ加わること。

エ 古代日本で、都の周辺に置かれた五つの国の地域。

（4）祭礼が変わらない慣習としなかったのはなぜか。

ア 参加者・役目・帰属の基準が年代や地域で変わり、外来の要素も取り入れられていたから。

イ 祭礼の名簿には人名が一つもなかったから。

ウ 畿内では祭礼を行うことが禁じられていたから。

エ すべての役目が毎年くじで決められたから。

（5）褒賞の有無だけで働きの大小を決めなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「参加」「変化」の二語を用い、慣習の受け継がれ方を調べる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| (1) イ 家々がまとまって建つ居住の単位。 | (4) ウ 出発や行事などに備えて準備すること。 |
| (2) ア 人や物がある集団・組織などに属すること。 | (5) イ 功績をたたえて与えられる名誉や褒賞。 |
| (3) エ 式や行事に出席して列に加わること。 | (6) ア 集会や行事のため人々が集まる建物。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 集落 | (8) 租庸調 |
| (2) 帰属 | (9) 漢代 |
| (3) 参列 | (10) 奈良 |
| (4) 支度 | (11) 長寿 |
| (5) 栄典 | (12) 厄年 |
| (6) 公会堂 | (13) 誘拐 |
| (7) 戸籍 | (14) 竜神 |

使い分けを確かめよう：戸籍は家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録、名簿は一定の目的で人名を並べた一覧を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 戸籍は家族関係や身分事項を公に登録する制度と記録、名簿は一定の目的で人名を並べた一覧を表す。

用例：戸籍の制度を調べる／祭礼の名簿を読む

(2) ウ 帰属はある集団や組織の一員として属すること、参加は行事や活動へ加わることを表す。

用例：どの集落に帰属するか／祭礼へ参加する

(3) ア 栄典は国家や組織が功績をたたえて与える名誉、褒賞はよい行いをほめ賞や品を与えることを表す。

用例：功労者に栄典が授けられる／祭りの働きに褒賞を出す

(4) ウ 鎮守は土地や寺社などを守る役割から呼ぶ神、竜神は竜の姿などで表され水をつかさどるとされた神を表す。

用例：村の鎮守を祭る／雨を竜神に祈る

(5) ウ A＝帰属、B＝参加。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝鎮守、B＝竜神。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 集合	(11) 奈落
(2) 繁栄	(12) 寿司
(3) 帰郷	(13) 厄介
(4) 本堂	(14) 拐帯
(5) 参加	(15) 恐竜
(6) 国籍	(16) とらえる
(7) 支持	(17) ゆうぎ
(8) 中庸	(18) きない
(9) 漢字	(19) ほうしょう
(10) 車掌	(20) ちんじゅ

七 文章の中で考えよう

- (1) 掌握 本文中では「掌握」と表されている。
- (2) 租庸調
- (3) エ 古代日本で、都の周辺に置かれた五つの国の地域。
- (4) ア 参加者・役目・帰属の基準が年代や地域で変わり、外来の要素も取り入れられていたから。
- (5) 解答例（45 字）

記録でたえられた人のほかにも、支度や見守りなど祭礼を支えた多くの人が名簿の外にいるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76 字）

年代ごとの名簿から、だれが参加し、どの役目を担ったかを比べる。帰属の基準や外来文化の取り入れ方の変化もたどり、現在の形を昔から不変の決まりとみなさない。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十一回

権力と争い

命令した側・従わされた側・巻き込まれた側の言葉を分けて読む。

今日の中心漢字

衛 警 屯 廷 邪 剣 勅 隸

いっしょに覚える漢字

臣	殺	免	侵	挟	砲
獲	室	殉	轄	賂	嚇

勅令・管轄・侵攻など権力と争いに関わる語を確かめたあと、城をめぐる三種類の記録を比べる文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一

今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
衛	エイ	守る／守る人 防衛・衛生・護衛・自衛	邪	ジャ・よこしま	正しくない／悪い 邪悪・邪魔・邪念・風邪
警	ケイ・いましめる	注意する／見張る 警備・警告・警察・警戒	剣	ケン・つるぎ	両刃などの刀 剣術・剣士・短剣・真剣
屯	トン	集まってとどまる 駐屯・屯田・屯所・屯集	勅	チョク・みことのり	君主の命令 勅令・勅命・勅語・詔勅
廷	テイ	政治を行う場所／裁きの場 宮廷・法廷・朝廷・廷臣	隸	レイ	従属する／しもべ 奴隸・隸属・奴隸制・隸書

二

いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
臣	シン・ジン	君主に仕える人 家臣・臣下・大臣・君臣	獲	カク・える	つかまえて手に入れる 捕獲・獲得・漁獲・獲物
殺	サツ・サイ・セツ・ころす・そぐ	命を奪う／勢いをそぐ 殺害・殺人・相殺・減殺	窒	チツ	ふさがる／息ができない 窒息・窒素・窒塞・窒息死
免	メン・まぬかれる・まぬがれる	逃れる／許して除く 免除・免許・罷免・免税	殉	ジュン	ある人や信念のため命を捨てる 殉死・殉職・殉教・殉難
侵	シン・おかす	他の領域へ入り害する 侵攻・侵入・侵害・侵食	轄	カツ・くさび	車輪を留めるくさび／支配範囲 管轄・所轄・直轄・統轄
挟	キョウ・はさむ・はさまる	両側から間に置く 挟撃・挟む・板挟み・挟持	賂	ロ・まいない	利益を得るため渡す不正な金品 賄賂・収賂・贈賂・賂を取る
砲	ハウ	大きな弾丸を発射する兵器 大砲・砲撃・鉄砲・砲台	嚇	カク・おどす	おどして恐れさせる 威嚇・嚇す・恐嚇・嚇怒

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「防衛」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 軍隊などがある場所にとどまること。
- イ 心や行いが正しくなく悪いこと。
- ウ 外からの攻撃などに備えて守ること。
- エ 天皇や君主が直接出す命令。

(2) 「警備」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 君主が暮らし政治を行う場所やその周辺の人々。
- イ 事故や犯罪に備えて場所や人を守ること。
- ウ 剣を用いて戦う技術。
- エ 自由を奪われ他者の所有物のように扱われた人。

(3) 「駐屯」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 軍隊などがある場所にとどまること。
- イ 心や行いが正しくなく悪いこと。
- ウ 天皇や君主が直接出す命令。
- エ 外からの攻撃などに備えて守ること。

(4) 「宮廷」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 剣を用いて戦う技術。
- イ 自由を奪われ他者の所有物のように扱われた人。
- ウ 事故や犯罪に備えて場所や人を守ること。
- エ 君主が暮らし政治を行う場所やその周辺の人々。

(5) 「邪悪」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 天皇や君主が直接出す命令。
- イ 外からの攻撃などに備えて守ること。
- ウ 心や行いが正しくなく悪いこと。
- エ 軍隊などがある場所にとどまること。

(6) 「剣術」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 自由を奪われ他者の所有物のように扱われた人。
- イ 剣を用いて戦う技術。
- ウ 事故や犯罪に備えて場所や人を守ること。
- エ 君主が暮らし政治を行う場所やその周辺の人々。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 防衛 剣術 免除 警備 勅令 侵攻 駐屯 奴隷 挟撃 宮廷 家臣 大砲 邪悪 殺害

(1) 国境の（ ）を強化し、侵入に備えた。

(8) 戦争で連れてこられた人々が（ ）として売買された。

(2) 式典会場の（ ）に多くの人員を配置した。

(9) 領主の（ ）が城を守った。

(3) 同盟軍が要地に（ ）して守りを固めた。

(10) 無抵抗の人を（ ）した行為が厳しく裁かれた。

(4) （ ）では王族を囲んで政治や文化が発展した。

(11) 災害で被害を受けた世帯は税を（ ）された。

(5) 物語では、善良な主人公が（ ）な力と戦う。

(12) 隣国軍の（ ）に備え、見張りを増やした。

(6) 道場で基本の（ ）を学んだ。

(13) 左右から敵を（ ）する作戦が取られた。

(7) 税を改める（ ）が全国へ出された。

(14) 城壁の上に大きな（ ）が据えられていた。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「防衛」と「警備」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 防衛は事故や犯罪に備え特定の場所や人を守ること、警備は外からの攻撃などに備え地域や国を守ることを表す。
- イ どちらも守る行為なので、想定する脅威と守る範囲は区別しない。
- ウ 防衛は軍人、警備は民間人だけが行う。
- エ 防衛は外からの攻撃などに備え地域や国を守ること、警備は事故や犯罪に備え特定の場所や人を守ることを表す。

(2) 「勅令」と「法令」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 勅令は国家や自治体が定める法的な規則の総称、法令は君主が直接出す命令を表す。
- イ 勅令は君主が直接出す命令、法令は国家や自治体が定める法的な規則の総称を表す。
- ウ どちらも守るべき決まりなので、発令主体や制度上の位置は同じである。
- エ 勅令は口頭、法令は書面の場合だけに用いる。

(3) 「侵攻」と「侵入」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 侵攻は許可なく、または境を越えて中へ入り込むこと、侵入は軍事力で他国や他地域へ攻め入ることを表す。
- イ どちらも境を越えるため、軍事行動が個別の入り込みかは区別しない。
- ウ 侵攻は集団、侵入は一人の場合だけを必ず表す。
- エ 侵攻は軍事力で他国や他地域へ攻め入ること、侵入は許可なく、または境を越えて中へ入り込むことを表す。

(4) 「管轄」と「支配」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 管轄は力を及ぼして人や地域を従わせること、支配は機関が権限をもち管理する制度上の範囲を表す。
- イ 管轄は機関が権限をもち管理する制度上の範囲、支配は力を及ぼして人や地域を従わせることを表す。
- ウ どちらも権力が及ぶことなので、制度上の担当が実際の力関係かは同じである。
- エ 管轄は平時、支配は戦時にだけ用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「軍が隣国へ（A）する」 B「兵が倉へ（B）する」

- ア A=侵攻／B=侵入 イ A=侵入／B=侵攻
- ウ A=侵攻／B=侵攻 エ A=侵入／B=侵入

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「城下を（A）する」 B「門を（B）する」

- ア A=警備／B=防衛 イ A=防衛／B=警備
- ウ A=防衛／B=防衛 エ A=警備／B=警備

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 調理前に手を洗い、エイセイを保った。 | (9) 王のシンカが、政策について進言した。 |
| (2) 大きな荷物が通路のジャマになっている。 | (10) 努力して出場の資格をカクトクした。 |
| (3) 崖へ近づかないよう、看板でケイコクした。 | (11) サツジン事件を扱う記事を、慎重な表現で書いた。 |
| (4) 修行を積んだケンシが、静かに構えた。 | (12) 重大な不正により、長官はヒメンされた。 |
| (5) 北海道では、開拓とともにトンデン兵が置かれた。 | (13) 夜間に倉庫ヘシンニュウした者がいた。 |
| (6) 使者は王のチョクメイを各地へ伝えた。 | (14) 町は長時間のハウゲキを受けた。 |
| (7) 証人はハウテイで、見たことを述べた。 | (15) 煙を吸い込み、危うくチッソクするところだった。 |
| (8) 植民地の住民は、本国ヘレイゾクさせられた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 窒息 () | (17) 殉死 () | (18) 管轄 () | (19) 賄賂 () | (20) 威嚇 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

城をめぐる三つの記録

城の年代記は、隣国の邪悪な侵攻を家臣が防衛し、剣術に優れた将が挟撃で勝ったと記す。宮廷の勅令に従った正しい戦いとして描かれ、殉死した者は英雄とされた。

相手側の記録では、争いは境界の管轄をめぐる交渉から始まり、先に大砲で威嚇したのは城側だという。どちらも自らの行動を守り、相手を攻めとして表していた。戦記、会計簿、住民の日記は、同じ城を別の距離から見ていた。どれか一冊だけでは、攻防も暮らしも十分に分からない。

【記録の立場】 命令した側／戦った側／従わされた側／暮らしを失った側

村の帳簿には、軍の駐屯で食料が不足し、門の警備を強いられた人々がいる。奴隷として捕獲された者、煙で窒息した者、殺害された者も記された。勝敗の物語からは見えにくい被害である。

税の免除を求めて賄賂を渡したとの告発もあった。これを一人の悪として終わらせず、だれが免除を決める権限をもち、なぜ正規の手続が働かなかったかを調べる必要がある。

後世の物語は殉死を忠義として称えるが、選択を迫る制度や周囲の圧力も考えなければならない。従属する人の死を美しい語だけで包むと、権力関係が見えなくなる。

悠人と真央は三つの記録を同じ日付で並べ、主語を色分けした。「守った」「侵した」「従った」という動詞が、書き手の立場で入れ替わることが分かった。砲撃の記録の横へ、避難と炊き出しの記録を置いた。戦いの外側に見える行動も、城を支えた出来事である。

争いの歴史を読むには、勝者の命令と戦術だけでなく、従わされた人と暮らしへの影響が必要である。権力がどこから生まれ、だれに何をさせたかを問うと、正邪だけでは捉えられない構造が見える。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「機関などが権限をもち管理する範囲」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「チョコレイ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「賄賂」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 便宜を得るため、不正に渡す金品。

イ 外からの攻撃に備えて守ること。

ウ 敵を両側から挟んで攻撃すること。

エ 義務や負担を特別に取り除くこと。

（4）三つの記録の主語を色分けしたのはなぜか。

ア 年代記には主語を示す語がなかったから。

イ 戦いの勝敗を色だけで決めるため。

ウ 家臣と村人が同じ命令を出したから。

エ 同じ行為でも、書き手の立場によって守る・侵す・従うという表現が入れ替わるから。

（5）殉死を忠義という語だけで説明しなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「立場」「影響」の二語を用い、争いの記録を比較する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) ウ 外からの攻撃などに備えて守ること。 | (4) エ 君主が暮らし政治を行う場所やその周辺の人々。 |
| (2) イ 事故や犯罪に備えて場所や人を守ること。 | (5) ウ 心や行いが正しくなく悪いこと。 |
| (3) ア 軍隊などがある場所にとどまること。 | (6) イ 剣を用いて戦う技術。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 防衛 | (8) 奴隸 |
| (2) 警備 | (9) 家臣 |
| (3) 駐屯 | (10) 殺害 |
| (4) 宮廷 | (11) 免除 |
| (5) 邪悪 | (12) 侵攻 |
| (6) 剣術 | (13) 挟撃 |
| (7) 勅令 | (14) 大砲 |

使い分けを確かめよう：防衛は外からの攻撃などに備え地域や国を守ること、警備は事故や犯罪に備え特定の場所や人を守ることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 防衛は外からの攻撃などに備え地域や国を守ること、警備は事故や犯罪に備え特定の場所や人を守ることを表す。

用例：城下を防衛する／門を警備する

(2) イ 勅令は君主が直接出す命令、法令は国家や自治体が定める法的な規則の総称を表す。

用例：勅令を発する／法令に基づいて裁く

(3) エ 侵攻は軍事力で他国や他地域へ攻め入ること、侵入は許可なく、または境を越えて中へ入り込むことを表す。

用例：軍が隣国へ侵攻する／兵が倉へ侵入する

(4) イ 管轄は機関が権限をもち管理する制度上の範囲、支配は力を及ぼして人や地域に従わせることを表す。

用例：裁判所の管轄を調べる／領主が土地を支配する

(5) ア A＝侵攻、B＝侵入。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝防衛、B＝警備。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 衛生	(11) 殺人
(2) 邪魔	(12) 罷免
(3) 警告	(13) 侵入
(4) 剣士	(14) 砲撃
(5) 屯田	(15) 窒息
(6) 勅命	(16) ちっそく
(7) 法廷	(17) じゅんし
(8) 隷属	(18) かんかつ
(9) 臣下	(19) わいろ
(10) 獲得	(20) いかく

七 文章の中で考えよう

- (1) 管轄 本文中では「管轄」と表されている。
- (2) 勅令
- (3) ア 便宜を得るため、不正に渡す金品。
- (4) エ 同じ行為でも、書き手の立場によって守る・侵す・従うという表現が入れ替わるから。
- (5) 解答例（47 字）

本人の信念だけでなく、死を選ばせた背後の制度や周囲の圧力、主君との権力関係が隠れてしまうから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（78 字）

命令した側、戦った側、従わされた側という立場ごとに主語と動詞を比べる。勝敗だけでなく、徴発・捕獲・死や暮らしへの影響も重ね、権力がだれに何をさせたかを読む。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十二回

労働・蓄積・取引

品物の値段だけでなく、労働・税・信用の流れを帳簿から読む。

今日の中心漢字

経 貝 貿 貧 販 俸 租 貪

いっしょに覚える漢字

園	旅	倉	賀	搜	掛
乏	累	晶	貼	獲	業※

貿易・俸給・租税など経済に関わる語を確かめたあと、港の倉庫帳簿から取引の光と影を読み解く文章を扱います。 ※再会漢字：業（第一冊第十一回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
経 貝 貿 貧	ケイ・キョウ・ヘ る	通り過ぎる／物事を治める 経済・経験・経路・経営	販 俸 租 貪	ハン	売り広める 販売・市販・販路・物販
	バイ・かい	殻をもつ水生動物 貝貨・貝殻・二枚貝・貝塚		ホウ	職務に対して支給される金品 俸給・年俸・月俸・俸禄
	ボウ	品物を取り替える／売買する 貿易・貿易港・貿易商・外貿		ソ	土地や収穫に課す税 租税・地租・租界・租借
	ヒン・ビン・まず しい	物や資源が乏しい 貧困・貧乏・清貧・貧富		ドン・タン・むさ ぼる	欲深く求め続ける 貪欲・貪る・貪食・貪婪

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
園 旅 倉 賀 搜 掛	エン・その	囲われた土地／施設 農園・庭園・学園・果樹園	乏 累 晶 貼 穫 業 ※	ボウ・とぼしい	足りない／少ない 欠乏・乏しい・窮乏・耐乏
	リョ・たび	住む所を離れて移動する 旅商・旅行・旅費・旅人		ルイ	重なる／関わりが及ぶ 累積・累計・累代・係累
	ソウ・くら	品物を保管する建物 倉庫・船倉・米倉・穀倉		ショウ	光り輝く／規則正しく並ぶ 結晶・水晶・晶出・晶質
	ガ	よろこび祝う 祝賀・賀状・賀宴・年賀		チョウ・はる	はり付ける 貼付・貼る・添付・貼紙
	ソウ・さがす	見えないものを探す 搜索・捜査・捜し物・捜し出す		カク	作物を取り入れる 収穫・豊穫・穫得・収穫期
	かける・かかる・ かかり	上からつるす／関係させる 売掛金・掛け金・手掛かり・掛け売り		ギョウ・ゴウ・わ ざ	再会：仕事／行い 産業・職業・事業・商業

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「経済」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 国や地域の間で品物やサービスを売買すること。
- イ 品物やサービスを代金と引き換えに売ること。
- ウ 国や自治体が法律に基づいて徴収する金銭や物品。
- エ 生産・分配・消費を通じて人々の暮らしを成り立たせる仕組み。

(2) 「貝貨」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活に必要な所得や資源が不足し選択が制限される状態。
- イ 官吏などに職務の対価として支給される給与。
- ウ 貝殻を交換や支払いに用いた貨幣。
- エ 満足せず欲深く求めること。

(3) 「貿易」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 品物やサービスを代金と引き換えに売ること。
- イ 国や地域の間で品物やサービスを売買すること。
- ウ 国や自治体が法律に基づいて徴収する金銭や物品。
- エ 生産・分配・消費を通じて人々の暮らしを成り立たせる仕組み。

(4) 「貧困」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 生活に必要な所得や資源が不足し選択が制限される状態。
- イ 官吏などに職務の対価として支給される給与。
- ウ 満足せず欲深く求めること。
- エ 貝殻を交換や支払いに用いた貨幣。

(5) 「販売」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 国や自治体が法律に基づいて徴収する金銭や物品。
- イ 生産・分配・消費を通じて人々の暮らしを成り立たせる仕組み。
- ウ 国や地域の間で品物やサービスを売買すること。
- エ 品物やサービスを代金と引き換えに売ること。

(6) 「俸給」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 満足せず欲深く求めること。
- イ 貝殻を交換や支払いに用いた貨幣。
- ウ 官吏などに職務の対価として支給される給与。
- エ 生活に必要な所得や資源が不足し選択が制限される状態。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 経済 俸給 倉庫 貝貨 租税 祝賀 貿易 貪欲 搜索 貧困 農園 売掛金 販売 旅商

(1) 物価の上昇が家庭の（ ）に影響している。

(8) 利益を独り占めしようとする（ ）な商人が批判された。

(2) 島では貝殻を（ ）として交易に使った時代がある。

(9) 広い（ ）でコーヒー豆を栽培する。

(3) 港では遠い国との（ ）が盛んに行われた。

(10) 隊商に加わる（ ）が各地の商品を運んだ。

(4) 教育の機会を奪う（ ）の連鎖を断つ。

(11) 港の（ ）に輸入品が積み上げられた。

(5) 収穫した果物を市場で（ ）する。

(12) 優勝を記念する（ ）会が開かれた。

(6) 役人には国から定期的な（ ）が与えられた。

(13) 行方不明者の（ ）が夜通し続いた。

(7) 国は法律に基づいて（ ）を集める。

(14) まだ受け取っていない代金を（ ）として帳簿に記す。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「貿易」と「販売」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

ア 貿易は品物などを代金と引き換えに顧客へ売ること、販売は国や地域の間で品物やサービスを売買することを表す。

イ どちらも品物売るため、地域間の取引か個々の売却かは区別しない。

ウ 貿易は国や地域の間で品物やサービスを売買すること、販売は品物などを代金と引き換えに顧客へ売ることを表す。

エ 貿易は大量、販売は少量の場合だけに用いる。

(2) 「俸給」と「賃金」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

ア 俸給は官吏などへ職務の対価として定期的に支給する給与、賃金は雇われた労働への対価として支払われる金銭を表す。

イ 俸給は雇われた労働への対価として支払われる金銭、賃金は官吏などへ職務の対価として定期的に支給する給与を表す。

ウ どちらも働いた対価なので、身分や支給制度の違いは同じである。

エ 俸給は年払い、賃金は日払いの場合だけに用いる。

(3) 「租税」と「関税」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

ア 租税は国境を越える品物などに課す税、関税は国や自治体が法律に基づいて徴収する金銭や物品を表す。

イ どちらも国へ納めるため、課税の対象や徴収の場面は区別しない。

ウ 租税は国や自治体が法律に基づいて徴収する金銭や物品、関税は国境を越える品物などに課す税を表す。

エ 租税は国内品、関税はぜいたく品だけに課される。

(4) 「貧困」と「欠乏」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

ア 貧困は所得や資源の不足で生活の選択が制限される状態、欠乏は必要な特定の物や資源が足りないことを表す。

イ 貧困は必要な特定の物や資源が足りないこと、欠乏は所得や資源の不足で生活の選択が制限される状態を表す。

ウ どちらも物が少ないため、生活全体の制約か特定資源の不足かは同じである。

エ 貧困は長期、欠乏は一日だけ続く場合を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)から教育機会を失う」 B「水が(B)する」

ア A=欠乏/B=貧困 イ A=貧困/B=貧困

ウ A=貧困/B=欠乏 エ A=欠乏/B=欠乏

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「役人へ(A)を支給する」 B「荷運びの(B)を払う」

ア A=賃金/B=俸給 イ A=俸給/B=俸給

ウ A=賃金/B=賃金 エ A=俸給/B=賃金

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 失敗も大切なケイケンとして次に生かす。 | (9) 戦後、人々は深刻なキュウボウに苦しんだ。 |
| (2) 一般にシハンされている薬を、薬局で買った。 | (10) 出張のリョヒは、会社の規定に従って精算する。 |
| (3) 浜辺で拾ったカイガラを、種類ごとに分けた。 | (11) 船底のフナグラに、食料と水を積んだ。 |
| (4) 選手は球団と一年のネンボウを契約した。 | (12) 新年のガジョウを、遠くの友人へ送った。 |
| (5) 明治期に土地へ課されたチソを学んだ。 | (13) 警察は事件のソウサを続けている。 |
| (6) 収入が減り、家計がビンボウになった。 | (14) 毎日の小さな差が、長期にはルイセキする。 |
| (7) 大型魚が小魚を次々にドンショクする。 | (15) 塩のケッショウを顕微鏡で観察した。 |
| (8) 緑の多いガクエンで、学生が学んでいる。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 累積 () | (17) 結晶 () | (18) 貼付 () | (19) 収穫 () | (20) 産業 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

倉庫帳簿に残る見えない労働

港の倉庫帳簿には、貿易で届いた貝貨、砂糖の結晶、農園の収穫物が並び、販売額と租税が細かく記されていた。祝賀の宴が開かれ、産業が栄えた証拠だと説明されてきた。

しかし、荷を運んだ人の名や賃金はほとんどない。役人の俸給は記されても、旅商や季節労働者の支払いは「雑費」とまとめられる。品物の蓄積と、働いた人の豊かさは同じではなかった。

帳簿には品名と数量があっても、運んだ人や夜通し見張った人の名は少ない。数字の外に労働が隠れている。

売掛金が累積し、現金が欠乏した年には、倉庫に品物が満ちていても取引が止まった。物があることと、支払いに使える信用があることは別である。

【帳簿で追う流れ】だれが作ったか／運んだか／保管したか／売ったか／税と代金を受け取ったか

一部の商人は貪欲に利益を集めたと批判された。だが、人物の性格だけで価格の上昇を説明せず、収穫量、運賃、税率、販路を確かめる必要がある。制度が利益を偏らせた可能性もある。

紛失した荷を捜索した記録や、封印を貼付した箱も見つかった。誰が倉の鍵を持ち、損失を負担したかを追うと、管理する側と運ぶ側の力の差が見えてきた。

悠人と真央は値札の下に、生産・運搬・保管・販売・納税の線を描いた。経済を価格だけでなく、人と物と権利の流れとして示すためである。

真央は倉庫の開閉時刻から仕事の長さを推定したが、推定だと分かる印を付けた。見えないからこそ、断定を避けた。

取引の繁栄は、すべての人の暮らしが豊かになったことを自動的には意味しない。帳簿に数字として残る利益と、残りにくい労働や貧困を同じ図へ置くと、蓄積の光と影が読めた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「品物を先に渡し、後で受け取る約束の代金」という意味で使われている熟語を抜き出ささい。

（2）「ルイセキ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「俸給」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 各地を旅しながら品物を売買する商人。
- イ 官吏などに、職務の対価として支給される給与。
- ウ 原子や分子が規則正しく並んだ固体。
- エ 必要な物や資源が不足すること。

（4）倉庫に品物があっても取引が止まったのはなぜか。

- ア 倉庫の品物がすべて貝貨だったから。
- イ 租税を納めることが法律で禁止されたから。
- ウ 売掛金が積み重なって現金や信用が不足し、次の支払いを行えなくなったから。
- エ 収獲物には値段を付けられなかったから。

（5）商人の性格だけで価格上昇を説明しなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「労働」「流れ」の二語を用い、帳簿から取引を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| (1) エ 生産・分配・消費を通じて人々の暮らしを成り立たせる仕組み。 | (4) ア 生活に必要な所得や資源が不足し選択が制限される状態。 |
| (2) ウ 貝殻を交換や支払いに用いた貨幣。 | (5) エ 品物やサービスを代金と引き換えに売ること。 |
| (3) イ 国や地域の間で品物やサービスを売買すること。 | (6) ウ 官吏などに職務の対価として支給される給与。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 経済 | (8) 貪欲 |
| (2) 貝貨 | (9) 農園 |
| (3) 貿易 | (10) 旅商 |
| (4) 貧困 | (11) 倉庫 |
| (5) 販売 | (12) 祝賀 |
| (6) 俸給 | (13) 搜索 |
| (7) 租税 | (14) 売掛金 |

使い分けを確かめよう：貿易は国や地域の間で品物やサービスを売買すること、販売は品物などを代金と引き換えに顧客へ売ることを表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 貿易は国や地域の間で品物やサービスを売買すること、販売は品物などを代金と引き換えに顧客へ売ることを表す。

用例：隣国と貿易する／市場で布を販売する

(2) ア 俸給は官吏などへ職務の対価として定期的に支給する給与、賃金は雇われた労働への対価として支払われる金銭を表す。

用例：役人へ俸給を支給する／荷運びの賃金を払う

(3) ウ 租税は国や自治体が法律に基づいて徴収する金銭や物品、関税は国境を越える品物などに課す税を表す。

用例：収穫から租税を納める／輸入品に関税を課す

(4) ア 貧困は所得や資源の不足で生活の選択が制限される状態、欠乏は必要な特定の物や資源が足りないことを表す。

用例：貧困から教育機会を失う／水が欠乏する

(5) ウ A＝貧困、B＝欠乏。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝俸給、B＝賃金。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 経験	(11) 船倉
(2) 市販	(12) 賀状
(3) 貝殻	(13) 捜査
(4) 年俸	(14) 累積
(5) 地租	(15) 結晶
(6) 貧乏	(16) るいせき
(7) 貪食	(17) けっしょう
(8) 学園	(18) ちょうふ
(9) 窮乏	(19) しゅうかく
(10) 旅費	(20) さんぎょう

七 文章の中で考えよう

- (1) 売掛金 本文中では「売掛金」と表されている。
- (2) 累積
- (3) イ 官吏などに、職務の対価として支給される給与。
- (4) ウ 売掛金が積み重なって現金や信用が不足し、次の支払いを行えなくなったから。
- (5) 解答例 (46 字)

価格は個人の欲だけでなく、収穫量・運賃・税率・販路や、利益を偏らせる制度にも左右されるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (72 字)

価格と利益だけを見ず、生産・運搬・保管・販売・納税へ物と代金はどう流れたかを追う。帳簿に残りにくい労働の担い手と賃金、損失の負担も同じ図に置く。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十三回

地球の激しい動き

災害の記録を、現象・被害・人の判断という別の層に分けて読む。

今日の中心漢字

風 注 池 沖 熱 炉 沙 滝

いっしょに覚える漢字

放	炭	灯	華	焦	虹
沃	渦	梗	薰	溺	窟

熱・渦・河道梗塞など地球の激しい動きに関わる語を確かめたあと、噴火と洪水が重なった年の記録を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
風 注 池 沖	フウ・フ・かぜ・かざ	空気の流れ／様子 風向・風速・台風・風土	熱	ネツ・あつい	温度が高い／強い勢い 熱波・高熱・地熱・熱気
	チュウ・そそぐ・さす・つぐ	一か所へそそぐ／心に向ける 注水・注意・注目・注釈	炉	ロ	高温で燃焼・加熱する設備 溶鉱炉・暖炉・原子炉・炉心
	チ・いけ	地面のくぼみに水がたまった所 貯水池・池水・電池・ため池	沙	サ・シャ	細かな砂／水辺 流沙・沙漠・沙汰・沙門
	チュウ・おき	岸から離れた水上 沖合・沖縄・沖積・沖波	滝	ロウ・ソウ・たき	高所から落ちる水流 滝・滝口・瀑布・滝壺

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
放 炭 灯 華 焦 虹	ハウ・はなす・はなつ・はなれる・ほうる	自由にする／外へ出す 放出・放流・解放・放射	沃	ヨク	土地が肥えている／水を注ぐ 肥沃・沃土・沃野・沃素
	タン・すみ	木などを焼いて作る燃料／炭素を含む物 石炭・木炭・炭素・炭田	渦	カ・うず	水や空気が巻き回る 渦潮・渦中・渦巻・渦流
	トウ・ひ	明かり／火 灯火・電灯・灯台・提灯	梗	コウ・キョウ	ふさがる／硬い茎 河道梗塞・梗概・心筋梗塞・桔梗
	カ・ケ・はな	花／美しく盛ん 昇華・華麗・繁華・精華	薫	クン・かおる	よい香りが漂う／感化する 薫風・薫陶・薫香・薫る
	ショウ・こげる・こがす・こがれる・あせる	焼けて黒くなる／いらだつ 焦土・焦点・焦燥・焦げる	溺	デキ・おぼれる	水中で呼吸できなくなる／夢中になる 溺水・溺死・溺愛・耽溺
	コウ・にじ	空中の水滴が光を分けて見せる弧 虹・虹色・虹彩・白虹	窟	クツ・いわや	岩などにあいた洞穴 洞窟・岩窟・巢窟・石窟

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「風向」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 風が吹いてくる方向。
- イ 水をためて利用するための池。
- ウ 広い地域に続く異常な高温。
- エ 水や風などで流れ動く細かな砂。

(2) 「注水」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 岸から離れた海や湖の上。
- イ 鉱石を高温で溶かして金属を取り出す炉。
- ウ 川の水が高い所から急に落下する場所。
- エ 水を注ぎ入れること。

(3) 「貯水池」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 広い地域に続く異常な高温。
- イ 水や風などで流れ動く細かな砂。
- ウ 水をためて利用するための池。
- エ 風が吹いてくる方向。

(4) 「沖合」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 鉱石を高温で溶かして金属を取り出す炉。
- イ 岸から離れた海や湖の上。
- ウ 川の水が高い所から急に落下する場所。
- エ 水を注ぎ入れること。

(5) 「熱波」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 広い地域に続く異常な高温。
- イ 水や風などで流れ動く細かな砂。
- ウ 風が吹いてくる方向。
- エ 水をためて利用するための池。

(6) 「溶鉱炉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 川の水が高い所から急に落下する場所。
- イ 水を注ぎ入れること。
- ウ 岸から離れた海や湖の上。
- エ 鉱石を高温で溶かして金属を取り出す炉。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 風向 溶鉱炉 灯火 注水 流沙 昇華 貯水池 滝 焦土 沖合 放出 虹 熱波 石炭

(1) 旗の動きから () を確かめた。 (8) 岩壁から落ちる大きな () の音が谷に響く。

(2) 水槽へゆっくり () し、水位を上げた。 (9) ダムは必要に応じて下流へ水を () する。

(3) 山あいの () から町へ水を送る。 (10) かつて工場や鉄道の燃料に () が多く使われた。

(4) 漁船は港から離れた () で網を入れた。 (11) 夜道を照らす () が風に揺れた。

(5) 記録的な () が農作物に被害を与えた。 (12) 固体が液体にならず気体へ変わる現象を () という。

(6) () の高熱で鉄鉱石を溶かす。 (13) 火災の後、町は一面の () となった。

(7) 砂漠では人や車をのみ込む () に注意する。 (14) 雨上がりの空に大きな () が架かった。

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「熱波」と「高熱」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 熱波は人の体温などが非常に高い状態、高熱は広い地域に続く異常な高温を表す。
- イ 熱波は広い地域に続く異常な高温、高熱は人の体温などが非常に高い状態を表す。
- ウ どちらも温度が高いことなので、気象現象か身体の状態かは区別しない。
- エ 熱波は夏、高熱は冬にだけ起こる。

(2) 「放出」と「放流」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 放出はためた水や魚などを川・海へ流すこと、放流は物質やエネルギーを内部から外へ出すことを表す。
- イ どちらも外へ出す行為なので、何をどこへ出すかは同じである。
- ウ 放出は自然、放流は人為の場合だけを必ず表す。
- エ 放出は物質やエネルギーを内部から外へ出すこと、放流はためた水や魚などを川・海へ流すことを表す。

(3) 「焦土」と「沃土」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 焦土は肥えて作物がよく育つ土地、沃土は火災などで焼け荒れた土地を表す。
- イ 焦土は火災などで焼け荒れた土地、沃土は肥えて作物がよく育つ土地を表す。
- ウ どちらも黒い土を指すため、荒廃か肥沃かは区別しない。
- エ 焦土は都市、沃土は農村だけにある土地を表す。

(4) 「河道梗塞」と「堤防決壊」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 河道梗塞は水を防ぐ堤防が壊れて水が外へ出る現象、堤防決壊は土砂などが川の流れを途中でふさぐ現象を表す。
- イ どちらも洪水の原因となるため、流れがふさがるか防壁が破れるかは同じである。
- ウ 河道梗塞は上流、堤防決壊は下流だけで起こる。
- エ 河道梗塞は土砂などが川の流れを途中でふさぐ現象、堤防決壊は水を防ぐ堤防が壊れて水が外へ出る現象を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)が町を覆う」 B「患者に(B)が出る」

- ア A=熱波/B=高熱 イ A=高熱/B=熱波
- ウ A=熱波/B=熱波 エ A=高熱/B=高熱

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「市街が(A)となる」 B「火山灰が(B)をつくる」

- ア A=沃土/B=焦土 イ A=焦土/B=沃土
- ウ A=焦土/B=焦土 エ A=沃土/B=沃土

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1) 急なコウネツが出たため、病院を受診した。 | (9) 川沿いのヨクドでは、作物がよく育つ。 |
| (2) 足元にチュウイして、ぬれた階段を下りた。 | (10) 昔はモクタンを燃料や製鉄に用いた。 |
| (3) 冬の夜は、ダンロの前で本を読む。 | (11) 机のデントウをつけ、手元を明るくした。 |
| (4) 古いラジオへ新しいデンチを入れた。 | (12) 俳優はカレイな衣装で舞台に現れた。 |
| (5) 古い表記では、砂漠をサバクと書く。 | (13) 初夏のクンプウが、若葉の香りを運んだ。 |
| (6) 川が運んだ土砂で、チュウセキ平野が形成された。 | (14) 話し合いのショウテンを一つに絞った。 |
| (7) 渓谷のタキグチに、白い水しぶきが上がる。 | (15) 目のコウサイは、瞳の周りにある色の部分である。 |
| (8) 保護した魚を川へホウリュウした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 渦潮 () | (17) 河道梗塞
() | (18) 薰風 () | (19) 溺水 () | (20) 洞窟 () |
|-------------|------------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

噴火と洪水が重なった年

山の噴火記録には、地熱が上がり、洞窟から蒸気が放出され、夜も灯火のように山頂が赤かったとある。沖合の船からも見えたため、噴火の規模は大きかったと考えられた。

【災害記録を分ける】自然現象／人の対応／被害／後世の評価

同じ年、熱波の後に激しい雨が降った。火山灰と流沙が川へ入り、河道梗塞を起こした。天然の堤が破れると、滝のような水が町へ流れ、貯水池へも一気に注ぎ込んだ。

灰の層と泥の層が同じ場所で見つかった。噴火の直後に洪水が起きたのか、別の年の出来事かを、地層だけでは決められない。

年代記は、渦潮が逆回転し、空に七重の虹が出たと記す。虹は水滴と光で説明できるが、渦の向きまで本文だけで確かめられない。目撃した場所と風向を照合する必要がある。

洪水で溺水した人がいる一方、高台の溶鉱炉や石炭庫は被害を免れた。町は焦土になったと後世に語られるが、すべての土地が焼けたわけではない。被害の分布を地図に戻した。

噴火後の灰は初め作物を枯らしたが、歳月を経ると一部の土地を肥沃にした。薫風が戻ったという詩は復興の象徴として読めるが、農業の回復を示す統計とは別の資料である。

悠人と真央は、現象の因果を矢印で示し、人の判断を別色にした。昇華のような物質変化と、災いを神意と見る解釈を同じ欄に置かないためである。二人は年代測定、日記、川の工事記録を別々の列に置いた。重なる証拠が増えるたび、出来事の順序を更新した。

災害は一つの激しい出来事で終わらない。噴火が土砂を生み、雨が川をふさぎ、堤の決壊が被害を広げる。現象の連鎖と、人がどう備えたかを分けて読むと、過去の経験を現在の防災へ生かせる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「土砂などが川の流れをふさぐこと」という意味で使われている熟語を抜き出しなさい。

(2) 「ヒヨク」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「昇華」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 水中で呼吸が妨げられる状態。
- イ 土地が焼け荒れて作物が育たない状態。
- ウ 固体が液体にならず、直接気体へ変わる事。
- エ 岸から離れた海や湖の上。

(4) 「町は焦土になった」という記述をそのまま被害地図にしなかったのはなぜか。

- ア 焦土という語は農地にしか使えないから。
- イ 高台の施設など被害を免れた場所もあり、後世の表現が町全域の実態を示すとは限らないから。
- ウ 噴火の年には火災が一度もなかったから。
- エ 被害の分布は地図に表せないから。

(5) 現象の因果と人の解釈を別色にしたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「連鎖」「対応」の二語を用い、複合災害を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| (1) ア 風が吹いてくる方向。 | (4) イ 岸から離れた海や湖の上。 |
| (2) エ 水を注ぎ入れること。 | (5) ア 広い地域に続く異常な高温。 |
| (3) ウ 水をためて利用するための池。 | (6) エ 鉱石を高温で溶かして金属を取り出す炉。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 風向 | (8) 滝 |
| (2) 注水 | (9) 放出 |
| (3) 貯水池 | (10) 石炭 |
| (4) 沖合 | (11) 灯火 |
| (5) 熱波 | (12) 昇華 |
| (6) 溶鉱炉 | (13) 焦土 |
| (7) 流沙 | (14) 虹 |

使い分けを確かめよう：熱波は広い地域に続く異常な高温、高熱は人の体温などが非常に高い状態を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 熱波は広い地域に続く異常な高温、高熱は人の体温などが非常に高い状態を表す。

用例：熱波が町を覆う／患者に高熱が出る

(2) エ 放出は物質やエネルギーを内部から外へ出すこと、放流はためた水や魚などを川・海へ流すことを表す。

用例：火山が熱を放出する／貯水池の水を放流する

(3) イ 焦土は火災などで焼け荒れた土地、沃土は肥えて作物がよく育つ土地を表す。

用例：市街が焦土となる／火山灰が沃土をつくる

(4) エ 河道梗塞は土砂などが川の流れを途中でふさぐ現象、堤防決壊は水を防ぐ堤防が壊れて水が外へ出る現象を表す。

用例：崩落で河道梗塞が起きる／増水で堤防が決壊する

(5) ア A＝熱波、B＝高熱。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝焦土、B＝沃土。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 高熱	(11) 電灯
(2) 注意	(12) 華麗
(3) 暖炉	(13) 薰風
(4) 電池	(14) 焦点
(5) 沙漠	(15) 虹彩
(6) 沖積	(16) うずしお
(7) 滝口	(17) かどうこうそく
(8) 放流	(18) くんぷう
(9) 沃土	(19) できすい
(10) 木炭	(20) どうくつ

七 文章の中で考えよう

(1) 河道梗塞 本文中では「河道梗塞」と表されている。

(2) 肥沃

(3) ウ 固体が液体にならず、直接気体へ変わることを。

(4) イ 高台の施設など被害を免れた場所もあり、後世の表現が町全域の実態を示すとは限らないから。

(5) 解答例（45 字）

噴火・雨・河道梗塞という確かめられる連鎖と、神意など人が意味を与えた見方を混同しないため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例（78 字）

噴火・土砂・豪雨・河道梗塞・決壊がどの順で被害へつながったかを連鎖として示す。同時に避難や放流など人の対応を別に置き、被害を広げた条件と抑えた条件を比べる。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十四回

作物と生態

農作物だけを中心にせず、虫・動物・人の営みが結ぶ関係を読む。

今日の中心漢字

草 森 虫 馬 析 豚 蚊 蜂

いっしょに覚える漢字

梅	芽	梨	爪	虎	苗
菊	芯	獮	蜜	鯨	蓋

発芽・苗木・狩猟など生態に関わる語を確かめたあと、古い農事暦と博物図から畑の変化を読み解く文章を扱います。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一

今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
草	ソウ・くさ	地面に生える植物 草原・雑草・薬草・草木	朽	とち	落葉高木の朽 朽の木・朽木・朽餅・朽葉
森	シン・もり	木が多く生い茂る所 森林・森・森林帯・鎮守の森	豚	トン・ぶた	家畜のぶた 養豚・豚肉・子豚・河豚
虫	チュウ・むし	小さな生き物、とくに昆虫 昆虫・害虫・虫害・虫眼鏡	蚊	ブン・か	血を吸う種類もある昆虫 蚊帳・蚊・蚊取り・蚊柱
馬	バ・うま・ま	家畜の馬 馬匹・乗馬・馬車・軍馬	蜂	ホウ・はち	群れを作る種類もある昆虫 蜂蜜・蜜蜂・蜂巢・蜂起

二

いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
梅	バイ・うめ	梅の木や実 梅林・梅雨・梅干し・紅梅	菊	キク	秋に花をつけるキク科の植物 菊花・白菊・野菊・菊人形
芽	ガ・め	植物が伸び始める部分 発芽・新芽・萌芽・芽生え	芯	シン	物の中心部分 芯・鉛筆の芯・灯芯・芯材
梨	リ・なし	果樹の梨やその実 梨畑・山梨・洋梨・梨園	猟	リョウ・レフ・かり	野生動物を捕らえる 狩猟・猟師・猟犬・密猟
爪	ソウ・つめ・つま	指先の硬い部分／物の先端 爪痕・爪先・鉤爪・生爪	蜜	ミツ	甘く粘りのある液 花蜜・糖蜜・蜜月・蜜腺
虎	コ・とら	大型のネコ科動物 虎・白虎・虎視・虎穴	鯨	ゲイ・くじら	海に暮らす大型の哺乳類 捕鯨・鯨肉・白鯨・鯨類
苗	ビョウ・ミョウ・なえ・なわ	植え替える前の若い植物 苗木・種苗・育苗・早苗	蓋	ガイ・ふた・けだし	容器を覆うもの／おおう 木蓋・蓋然性・頭蓋・蓋物

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「草原」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 体が頭・胸・腹に分かれ六本の脚をもつ動物。
- イ 草が広く一面に生えている土地。
- ウ 実からでんぶんを得ることもできる落葉高木。
- エ 蚊を防ぐため寝床などの周囲につるす網。

(2) 「森林」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 多くの樹木がまとまって生える地域。
- イ 軍事・運送などで用いる馬を数えていう語。
- ウ 食肉などのため豚を飼育すること。
- エ 蜂が花の蜜を集め巣に蓄えたもの。

(3) 「昆虫」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 実からでんぶんを得ることもできる落葉高木。
- イ 蚊を防ぐため寝床などの周囲につるす網。
- ウ 草が広く一面に生えている土地。
- エ 体が頭・胸・腹に分かれ六本の脚をもつ動物。

(4) 「馬匹」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 食肉などのため豚を飼育すること。
- イ 蜂が花の蜜を集め巣に蓄えたもの。
- ウ 軍事・運送などで用いる馬を数えていう語。
- エ 多くの樹木がまとまって生える地域。

(5) 「桁の木」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 蚊を防ぐため寝床などの周囲につるす網。
- イ 実からでんぶんを得ることもできる落葉高木。
- ウ 草が広く一面に生えている土地。
- エ 体が頭・胸・腹に分かれ六本の脚をもつ動物。

(6) 「養豚」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 食肉などのため豚を飼育すること。
- イ 蜂が花の蜜を集め巣に蓄えたもの。
- ウ 多くの樹木がまとまって生える地域。
- エ 軍事・運送などで用いる馬を数えていう語。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 草原 養豚 梨畑 森林 蚊帳 爪痕 昆虫 蜂蜜 虎 馬匹 梅林 苗木 栃の木 発芽

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) 風に揺れる広い（ ）を馬の群れが走った。 | (8) 採れたての（ ）をパンに塗った。 |
| (2) 豊かな（ ）が二酸化炭素を吸収する。 | (9) 早春の（ ）に白い花が咲く。 |
| (3) 夜の灯りにさまざまな（ ）が集まった。 | (10) 気温が上がり、まいた種が（ ）した。 |
| (4) 農場が所有する（ ）の数を記録した。 | (11) 収穫期の（ ）に甘い香りが広がる。 |
| (5) 公園の（ ）が大きな実を落とした。 | (12) 壁に残る大きな（ ）から、熊の侵入が分かった。 |
| (6) 地域では食肉用の豚を育てる（ ）が盛んだ。 | (13) 森の保護区で野生の（ ）を調査した。 |
| (7) 夏の夜、（ ）の中で眠った。 | (14) 山へ植える（ ）を丁寧に運んだ。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「発芽」と「苗木」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 発芽は種などから芽が出る変化、苗木は移植するために育てた若い木を表す。
- イ 発芽は移植するために育てた若い木、苗木は種などから芽が出る変化を表す。
- ウ どちらも若い植物を示すため、成長の出来事か植物そのものかは区別しない。
- エ 発芽は草、苗木は果樹の場合だけに用いる。

(2) 「花蜜」と「蜂蜜」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 花蜜は蜂が花蜜を集め巣で加工し蓄えたもの、蜂蜜は花が昆虫などを引き寄せるため分泌する液を表す。
- イ どちらも花から得る甘い液なので、蜂による加工と貯蔵の有無は同じである。
- ウ 花蜜は花が昆虫などを引き寄せるため分泌する液、蜂蜜は蜂が花蜜を集め巣で加工し蓄えたものを表す。
- エ 花蜜は春、蜂蜜は秋にだけ存在する。

(3) 「狩猟」と「捕獲」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 狩猟は野生の鳥獣を狙って捕らえる行為、捕獲は人や動物などをつかまえることを広く示す語を表す。
- イ 狩猟は人や動物などをつかまえることを広く示す語、捕獲は野生の鳥獣を狙って捕らえる行為を表す。
- ウ どちらも生き物を捕らえるため、目的と対象の範囲は区別しない。
- エ 狩猟は食用、捕獲は保護目的の場合だけに用いる。

(4) 「森林」と「梅林」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 森林は梅の木を主に植えた林や畑、梅林は多様な樹木がまとまって生える地域を表す。
- イ どちらも木が多い場所なので、自然な植生か特定作物の栽培地かは同じである。
- ウ 森林は多様な樹木がまとまって生える地域、梅林は梅の木を主に植えた林や畑を表す。
- エ 森林は山、梅林は平地にだけ見られる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「蜂が(A)を吸う」 B「巣から(B)を採る」

- ア A=蜂蜜/B=花蜜 イ A=花蜜/B=花蜜
- ウ A=花蜜/B=蜂蜜 エ A=蜂蜜/B=蜂蜜

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の生態を調べる」 B「(B)で開花を記録する」

- ア A=梅林/B=森林 イ A=森林/B=森林
- ウ A=梅林/B=梅林 エ A=森林/B=梅林

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| (1) 山で採れたヤクソウを、乾かして保存した。 | (9) 枝の先から柔らかなシンメが伸びている。 |
| (2) 夕食にブタニクと野菜を炒めた。 | (10) 熟したヨウナシを薄く切った。 |
| (3) 畑の作物を食べるガイチュウを防いだ。 | (11) 暗い道で石につまずき、ツマサキを痛めた。 |
| (4) 夏の夕方、虫が集まってカバシラを作った。 | (12) 東西南北を守る四神の一つにビャッコがいる。 |
| (5) 牧場で初めてジョウバを体験した。 | (13) 農家は病気に強いシュビヨウを選んだ。 |
| (6) 巣箱では、ミツバチが蜜を集めている。 | (14) 自然保護区ではシュリョウが禁止されている。 |
| (7) ツユの時期は、洗濯物が乾きにくい。 | (15) 砂糖を作る過程で生じるトウミツを菓子に使った。 |
| (8) 祭壇にシラギクを供えた。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 芯 () | (17) 狩猟 () | (18) 花蜜 () | (19) 捕鯨 () | (20) 木蓋 () |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

農事暦の外にいる生き物

古い農事暦には、梅林の開花、梨畑への苗木の移植、菊花の時期が書かれていた。発芽の日と収穫の日を結び、人が作物を管理した一年の流れが見える。

だが、畑の周りには森林と草原があり、昆虫や鳥獣も暮らす。蜂が花蜜を集めて受粉を助け、蚊帳が必要な季節には水辺の虫も増えた。農業は畑の内側だけで成り立たない。

農事暦は人の仕事を中心に作られていたが、虫や鳥にも季節の動きがある。暦の外へ追いやられた生き物を別の帯に描いた。

帳簿には養豚用の餌、荷を運ぶ馬匹、栃の木の実から作った栃餅もある。作物と家畜、森林の恵みが交換され、食生活を支えていた。

害虫と書かれた虫も、別の生き物の餌になる。蜂蜜を採りすぎれば蜂の群れが弱る。木蓋で標本を閉じた箱には、畑に役立つ虫と害を与える虫が同じ分類で入っていた。

【関係を結ぶ】作物／花粉を運ぶ生き物／食べる生き物／人の手入れ／季節

博物図には、この地域にいない虎や遠海の鯨も描かれている。

狩猟や捕鯨の経験だけでなく、交易で届いた話や絵が知識を広げた証拠である。絵をそのまま地域の生息記録にはできない。

真央は、災害の爪痕という表現と動物の爪の跡を分けた。悠人は植物の芯を切った標本と、農事暦の中心事項という比喻を区別した。語の比喻も生態の事実と混ぜないためである。

開花、産卵、渡りの時期を重ねると、農作業との関係が現れた。人の一年だけでは、生態系の変化を読み切れない。

農事暦は人が必要とした作業をよく伝えるが、生態系の全体を記したものではない。暦・標本・動物記録を重ねると、作物、人、他の生き物が互いに影響してきた関係が見えてきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「花の内部で分泌され、昆虫などを引き寄せる甘い液」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「シュリョウ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「馬匹」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 梅の木が多く植えられた林や畑。
- イ 移植するため育てた若い木。
- ウ 木で作った容器の蓋。
- エ 軍事・運送などで用いる馬を数えるという語。

（4）博物図の虎を地域の生息記録としなかったのはなぜか。

- ア 交易で届いた話や別の絵をもとに描いた可能性があり、実際に地域で見た証拠ではないから。
- イ 虎は絵に描くことが禁じられていたから。
- ウ この地域には森林が存在しなかったから。
- エ 博物図には作物しか描けないから。

（5）農事暦だけで生態系全体を捉えなかったのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「作物」「関係」の二語を用い、昔の畑の生態を復元する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) イ 草が広く一面に生えている土地。 | (4) ウ 軍事・運送などで用いる馬を数えていう語。 |
| (2) ア 多くの樹木がまとまって生える地域。 | (5) イ 実からでんぷんを得ることもできる落葉高木。 |
| (3) エ 体が頭・胸・腹に分かれ六本の脚をもつ動物。 | (6) ア 食肉などのため豚を飼育すること。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 草原 | (8) 蜂蜜 |
| (2) 森林 | (9) 梅林 |
| (3) 昆虫 | (10) 発芽 |
| (4) 馬匹 | (11) 梨畑 |
| (5) 枥の木 | (12) 爪痕 |
| (6) 養豚 | (13) 虎 |
| (7) 蚊帳 | (14) 苗木 |

使い分けを確かめよう：発芽は種などから芽が出る変化、苗木は移植するために育てた若い木を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 発芽は種などから芽が出る変化、苗木は移植するために育てた若い木を表す。

用例：種が発芽する／苗木を畑へ移す

(2) ウ 花蜜は花が昆虫などを引き寄せるため分泌する液、蜂蜜は蜂が花蜜を集め巣で加工し蓄えたものを表す。

用例：蜂が花蜜を吸う／巣から蜂蜜を採る

(3) ア 狩猟は野生の鳥獣を狙って捕らえる行為、捕獲は人や動物などをつかまえることを広く示す語を表す。

用例：山で狩猟を行う／調査のため虫を捕獲する

(4) ウ 森林は多様な樹木がまとまって生える地域、梅林は梅の木を主に植えた林や畑を表す。

用例：森林の生態を調べる／梅林で開花を記録する

(5) ウ A＝花蜜、B＝蜂蜜。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝森林、B＝梅林。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 薬草

(11) 爪先

(2) 豚肉

(12) 白虎

(3) 害虫

(13) 種苗

(4) 蚊柱

(14) 狩猟

(5) 乗馬

(15) 糖蜜

(6) 蜜蜂

(16) しん

(7) 梅雨

(17) しゅりょう

(8) 白菊

(18) かみつ

(9) 新芽

(19) ほげい

(10) 洋梨

(20) きぶた

七 文章の中で考えよう

- (1) 花蜜 本文中では「花蜜」と表されている。
- (2) 狩猟
- (3) エ 軍事・運送などで用いる馬を数えている語。
- (4) ア 交易で届いた話や別の絵をもとに描いた可能性があり、実際に地域で見た証拠ではないから。
- (5) 解答例（46 字）

暦は人が必要とした作業を中心に記し、畑の外の生き物や、虫同士の関係までは十分に残さないから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（70 字）

農事暦で作物の発芽・移植・収穫をたどり、標本や動物記録から花粉を運ぶ虫、餌を食べる家畜、周辺の森林を加える。それぞれの関係を季節ごとに結ぶ。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十五回

形状と加工

完成した姿だけでなく、素材・道具・加工痕から作り方を読む。

今日の中心漢字

色 丸 紙 黒 銅 紅 璃 鍵

いっしょに覚える漢字

綿	鏡	瓦	凸	凹	鈴
銘	鉛	塊	墨	羅	材※

青銅・玻璃・凸凹など素材と形状に関わる語を確かめたあと、出土品の製作工程を復元する文章を読みます。 ※再会漢字：材（第二冊第十六回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一

今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
色	ショク・シキ・いろ	光の違いで見える性質／様子 色彩・特色・景色・色調	銅	ドウ・あかがね	赤みを帯びた金属元素 青銅・銅器・銅線・銅山
丸	ガン・まる・まるい・まるめる	円形／まとまり 丸形・丸い・弾丸・丸太	紅	コウ・ク・べに・くれない	鮮やかな赤色 紅花・紅色・口紅・紅葉
紙	シ・かみ	植物繊維などを薄く広げた素材 和紙・紙面・紙幣・製紙	璃	リ	玉やガラスに関わる字 玻璃・瑠璃・玻璃器・琉璃
黒	コク・くろ・くろい	光をほとんど反射しない色 黒曜石・黒色・暗黒・黒土	鍵	ケン・かぎ	錠を開閉する道具／重要な手がかり 鍵穴・鍵・合鍵・鍵盤

二

いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
綿	メン・わた	綿花から採る繊維 綿布・木綿・綿花・脱脂綿	銘	メイ	物に刻んだ名や言葉 銘文・銘柄・感銘・碑銘
鏡	キョウ・かがみ	光を反射して像を映すもの 銅鏡・鏡面・望遠鏡・手鏡	鉛	エン・なまり	重く柔らかい金属元素 鉛板・鉛筆・鉛色・亜鉛
瓦	ガ・かわら・ぐらむ	屋根などに用いる焼き物 瓦・瓦屋根・煉瓦・瓦版	塊	カイ・かたまり	一つに固まったもの 金属塊・岩塊・団塊・塊状
凸	トツ・でこ	中央が突き出る 凸面・凸形・凹凸・凸版	墨	ボク・すみ	黒い文字や絵を書く材料 墨書・水墨・墨色・墨跡
凹	オウ・くぼむ・へこむ・ぼこ	中央がくぼむ 凹面・凹形・凹凸・凹版	羅	ラ	薄い絹布／並べ連ねる 羅紗・羅列・網羅・羅針盤
鈴	レイ・リン・すず	振ると音が鳴る小さな器具 銅鈴・風鈴・鈴音・鈴蘭	材※	ザイ	再会：物を作るとも／役に立つ人 材料・木材・素材・人材

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「色彩」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 日本で伝統的な方法により作られる紙。
- イ 銅に錫などを混ぜて作る合金。
- ウ 物に見えるさまざまな色合い。
- エ ガラス、または水晶を指す古い語。

(2) 「丸形」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 火山活動でできた黒くガラス質の岩石。
- イ 輪郭が丸い形。
- ウ 花から赤や黄色の染料を得る植物。
- エ 鍵を差し込んで錠を開閉する穴。

(3) 「和紙」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 日本で伝統的な方法により作られる紙。
- イ 銅に錫などを混ぜて作る合金。
- ウ ガラス、または水晶を指す古い語。
- エ 物に見えるさまざまな色合い。

(4) 「黒曜石」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 花から赤や黄色の染料を得る植物。
- イ 鍵を差し込んで錠を開閉する穴。
- ウ 輪郭が丸い形。
- エ 火山活動でできた黒くガラス質の岩石。

(5) 「青銅」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア ガラス、または水晶を指す古い語。
- イ 物に見えるさまざまな色合い。
- ウ 銅に錫などを混ぜて作る合金。
- エ 日本で伝統的な方法により作られる紙。

(6) 「紅花」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 鍵を差し込んで錠を開閉する穴。
- イ 花から赤や黄色の染料を得る植物。
- ウ 輪郭が丸い形。
- エ 火山活動でできた黒くガラス質の岩石。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 色彩 紅花 瓦 丸形 玻璃 凸面 和紙 鍵穴 凹面 黒曜石 綿布 銅鈴 青銅 銅鏡

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| (1) 祭りの衣装には鮮やかな（ ）が使われている。 | (8) 古い扉の（ ）から部屋の中をのぞいた。 |
| (2) 角のない（ ）の机なら、狭い部屋にも置きやすい。 | (9) 丈夫な（ ）で作業着を仕立てた。 |
| (3) 職人が（ ）をすいて、丈夫な障子紙を作った。 | (10) 遺跡から磨かれた（ ）が出土した。 |
| (4) 旧石器時代には（ ）で刃物が作られた。 | (11) 屋根の（ ）がずれ、雨漏りが起きた。 |
| (5) 古代の鏡や武器には（ ）が使われた。 | (12) （ ）の鏡は像を大きく映す。 |
| (6) （ ）から採った染料で布を赤く染める。 | (13) （ ）の鏡は広い範囲を小さく映す。 |
| (7) 正倉院の宝物には、古く「（ ）」と呼ばれたガラス器がある。 | (14) 祭祀で使われた小さな（ ）が古墳から見つかった。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「青銅」と「銅」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 青銅は単独の金属元素としての銅、銅は銅に錫などを混ぜて作る合金を表す。
- イ どちらも銅を含むため、合金か単一の金属かは区別しない。
- ウ 青銅は青色、銅は赤色の場合だけを表す。
- エ 青銅は銅に錫などを混ぜて作る合金、銅は単独の金属元素としての銅を表す。

(2) 「玻璃」と「瑠璃」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 玻璃は青い宝石やガラス、またはそのような深い青色を指す語、瑠璃はガラスや水晶を指す古い語を表す。
- イ 玻璃はガラスや水晶を指す古い語、瑠璃は青い宝石やガラス、またはそのような深い青色を指す語を表す。
- ウ どちらも透明なガラスだけを表し、素材や色の違いはない。
- エ 玻璃は中国製、瑠璃は日本製の場合だけに用いる。

(3) 「銘文」と「墨書」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 銘文は墨で表面へ書いた文字や記号、墨書は器物や碑へ刻み付けた文字や文章を表す。
- イ どちらも物に残る文字なので、刻んだか墨で書いたかは区別しない。
- ウ 銘文は金属、墨書は紙にだけ残る。
- エ 銘文は器物や碑へ刻み付けた文字や文章、墨書は墨で表面へ書いた文字や記号を表す。

(4) 「凸面」と「凹面」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 凸面は中央が内側へくぼんだ面、凹面は中央が外側へ膨らんだ面を表す。
- イ 凸面は中央が外側へ膨らんだ面、凹面は中央が内側へくぼんだ面を表す。
- ウ どちらも平らでない面なので、膨らむ向きは区別しない。
- エ 凸面は丸形、凹面は四角形の場合だけに用いる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「鏡の(A)を読む」 B「瓦の(B)を撮る」

- ア A＝銘文／B＝墨書 イ A＝墨書／B＝銘文
- ウ A＝銘文／B＝銘文 エ A＝墨書／B＝墨書

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の鈴を铸る」 B「(B)線を延ばす」

- ア A＝銅／B＝青銅 イ A＝青銅／B＝銅
- ウ A＝青銅／B＝青銅 エ A＝銅／B＝銅

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| (1) この町のトクショクは、古い水路が残ることだ。 | (9) 畑一面に白いメンカの花が咲いた。 |
| (2) 遺跡から青銅製のドウキが出土した。 | (10) 棚に並ぶ茶のメイガラを比べた。 |
| (3) 警備員は、地面に落ちたダンガンを発見した。 | (11) 金属を磨き、キョウメンのように仕上げた。 |
| (4) 秋の葉を深いコウショクで塗った。 | (12) 古い倉庫は赤いレンガで造られている。 |
| (5) 新聞のシメンに、大きな写真が載った。 | (13) 道のオウトツをならし、車が通りやすくした。 |
| (6) 深い青色の宝石をルリと呼ぶ。 | (14) 版のくぼみにインクを入れる方法をオウハン印刷という。 |
| (7) 黒板をコクショクの絵の具で塗り直した。 | (15) 夏の縁側でフウリンが涼しい音を立てた。 |
| (8) 家族用のアイカギを一つ作った。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 鉛板 () | (17) 金属塊 () | (18) 墨書 () | (19) 羅紗 () | (20) 材料 () |
|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

出土品の作り方を逆にたどる

遺跡から、丸形の銅鏡、銅鈴、玻璃の玉、瓦、和紙の断片が見つかった。色彩は美しいが、悠人は完成品の見た目だけで産地を決めないことにした。鏡の凸面と凹面には磨き方の差があり、縁の鍵穴のような孔には紐の摩耗が残る。青銅の割合を調べると、同じ銅器でも硬さが違った。形と材料の両方が用途を示す。

破片の内側には、表面から見えない削り跡が残っていた。完成形から工程を逆にたどるには、裏側と断面を見る必要がある。黒曜石は欠け口が鋭く、鉛板は柔らかい。金属塊を溶かして鋳型へ流した痕と、石を打ち欠いた痕は異なる。加工痕を読むと、必要だった道具と温度を推定できる。

【工程を逆にたどる】素材／成形／加熱／研磨／文字・色／使用痕

銘文は表面へ刻まれ、別の瓦には墨書があった。文字の内容だけでなく、刻む前に作られたか、焼いた後に書かれたかを確かめると、製作と使用の順序が分かる。

紅花で染めた綿布と、厚い羅紗の断片も出た。色が似ていても繊維と染料は別である。見た目を保つ復元と、当時の材料を再現する復元を分けて表示した。

真央は、玻璃の透明さを「技術が進んでいた証拠」とだけ書かず、原料・炉の温度・交易の可能性を列挙した。優れた品が一つあるだけでは、地域全体の技術水準は決められない。二人は材料、道具の跡、加熱の有無を順に記し、分からない工程を空欄のまま残した。

遺物は完成した姿だけを見せているようで、表面には作る過程と使った時間が残る。素材、形、加工痕、文字を順に読むと、物を作った人の選択と、遠くから運ばれた材料の道が見えてきた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「器物や碑などに刻まれた文字や文章」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「コクヨウセキ」を漢字 3 字で書きなさい。

（3）本文中の「羅紗」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 厚手の毛織物を指す語。

イ 銅に錫などを混ぜて作る合金。

ウ 中央部分が内側へくぼんだ面。

エ 物を作るもとになるもの。

（4）透明な玻璃一つで地域全体の技術水準を決めなかったのはなぜか。

ア 玻璃は加工痕を一切残さないから。

イ 透明な品は歴史資料にならないから。

ウ 地域では色のある物だけを作ったから。

エ 遠方から完成品や材料が運ばれた可能性があり、地域で製作した証拠とは限らないから。

（5）銘文と墨書の作られた順序を確かめたのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「素材」「加工痕」の二語を用い、遺物の製作工程を復元する方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) ウ 物に見えるさまざまな色合い。 | (4) エ 火山活動でできた黒くガラス質の岩石。 |
| (2) イ 輪郭が丸い形。 | (5) ウ 銅に錫などを混ぜて作る合金。 |
| (3) ア 日本で伝統的な方法により作られる紙。 | (6) イ 花から赤や黄色の染料を得る植物。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|---------|---------|
| (1) 色彩 | (8) 鍵穴 |
| (2) 丸形 | (9) 綿布 |
| (3) 和紙 | (10) 銅鏡 |
| (4) 黒曜石 | (11) 瓦 |
| (5) 青銅 | (12) 凸面 |
| (6) 紅花 | (13) 凹面 |
| (7) 玻璃 | (14) 銅鈴 |

使い分けを確かめよう：青銅は銅に錫などを混ぜて作る合金、銅は単独の金属元素としての銅を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) エ 青銅は銅に錫などを混ぜて作る合金、銅は単独の金属元素としての銅を表す。

用例：青銅の鈴を鋳る／銅線を延ばす

(2) イ 玻璃はガラスや水晶を指す古い語、瑠璃は青い宝石やガラス、またはそのような深い青色を指す語を表す。

用例：玻璃の器を復元する／瑠璃色の玉を飾る

(3) エ 銘文は器物や碑へ刻み付けた文字や文章、墨書は墨で表面へ書いた文字や記号を表す。

用例：鏡の銘文を読む／瓦の墨書を撮る

(4) イ 凸面は中央が外側へ膨らんだ面、凹面は中央が内側へくぼんだ面を表す。

用例：凸面が光を広げる／凹面に液がたまる

(5) ア A＝銘文、B＝墨書。(3)の使い分けを参照。

(6) イ A＝青銅、B＝銅。(1)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 特色	(11) 鏡面
(2) 銅器	(12) 煉瓦
(3) 弾丸	(13) 凹凸
(4) 紅色	(14) 凹版
(5) 紙面	(15) 風鈴
(6) 瑠璃	(16) えんばん
(7) 黒色	(17) きんぞくかい
(8) 合鍵	(18) ぼくしょ
(9) 綿花	(19) らしゃ
(10) 銘柄	(20) ざいりょう

七 文章の中で考えよう

- (1) 銘文 本文中では「銘文」と表されている。
- (2) 黒曜石
- (3) ア 厚手の毛織物を指す語。
- (4) エ 遠方から完成品や材料が運ばれた可能性があり、地域で製作した証拠とは限らないから。
- (5) 解答例（47 字）

文字が製作時に刻まれたのか、完成後の使用中に書き加えられたのかで、示す時期と目的が異なるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例（76 字）

金属・石・布などの素材を特定し、成形・加熱・研磨・染色による加工痕を順に調べる。完成後の摩耗や墨書を分け、必要な道具と工程、材料が運ばれた道を推定する。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十六回

食文化と装い

華やかな献立や衣服の背後にある供給・身分・不足を読む。

今日の中心漢字

酒 被 糖 飢 扉 酢 煎 餅

いっしょに覚える漢字

板	豆	香	幕	甘	粘
畳	帽	酌	宛	溜	襲

砂糖・食酢・烏帽子など食と装いに関わる語を確かめたあと、宴の記録と飢饉の帳簿を並べて読みます。

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
酒	シュ・ sake ・さか	アルコールを含む飲み物 酒宴・日本酒・飲酒・酒造	扉	ヒ・とびら	開閉する戸 扉・門扉・鉄扉・扉絵
被	ヒ・こうむる・お おう・かぶる・か ぶせる	おおう／受ける 被服・被害・被告・被る	酢	サク・す	酸味のある調味料 食酢・酢酸・甘酢・米酢
糖	トウ	甘みをもつ炭水化物 砂糖・糖分・果糖・製糖	煎	セン・いる・にる	水分を飛ばす／煮出す 煎茶・煎餅・煎じる・焙煎
飢	キ・うえる	食べ物がなく苦しむ 飢饉・飢餓・飢える・飢寒	餅	ヘイ・もち	穀物をついて作る食品 餅・餅米・鏡餅・煎餅

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
板	ハン・バン・いた	薄く平たい材 板戸・板材・黒板・看板	畳	ジョウ・たたむ・ たたみ	重ねる／敷物 畳・畳表・折り畳む・重畳
豆	トウ・ズ・まめ	豆科植物の種 大豆・小豆・豆類・豆腐	帽	ボウ・モウ	頭にかぶるもの 烏帽子・帽子・脱帽・制帽
香	コウ・キョウ・ か・かおり・かお る	よいにおい 香辛料・香料・線香・香り	酌	シャク・くむ	酒をくむ／事情を考える 酌・晩酌・酌量・手酌
幕	マク・バク	仕切りや覆いにする布 天幕・幕府・開幕・暗幕	宛	あてる・あて・ず つ	送り先／それぞれに割り当てる 宛名・宛先・一人宛・宛てる
甘	カン・あまい・あ まえる・あまやか す	砂糖などの味／厳しくない 甘味・甘酒・甘口・甘受	瑠	ル・リュウ	青い宝石などに関わる字 瑠璃・瑠璃色・浄瑠璃・瑠璃玉
粘	ネン・ねばる	ねばりつく／持ちこたえる 粘性・粘土・粘着・粘り	襲	シュウ・おそう・ かさね	重ねる／受け継ぐ／突然攻める 襲の色目・襲撃・世襲・襲名

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「酒宴」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア サトウキビなどから作る甘味料。
- イ 建物や家具などの入口を開閉する戸。
- ウ 茶葉に湯を注いで成分を煎じ出す茶。
- エ 酒を飲みながら行う宴会。

(2) 「被服」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 作物の不作などで広い範囲に食料不足が起こること。
- イ 酸味を付け保存にも用いる液体の調味料。
- ウ 身に着ける衣類の総称。
- エ 主にもち米を蒸してつき、形を整えた食品。

(3) 「砂糖」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 建物や家具などの入口を開閉する戸。
- イ サトウキビなどから作る甘味料。
- ウ 茶葉に湯を注いで成分を煎じ出す茶。
- エ 酒を飲みながら行う宴会。

(4) 「飢饉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 作物の不作などで広い範囲に食料不足が起こること。
- イ 酸味を付け保存にも用いる液体の調味料。
- ウ 主にもち米を蒸してつき、形を整えた食品。
- エ 身に着ける衣類の総称。

(5) 「扉」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 茶葉に湯を注いで成分を煎じ出す茶。
- イ 酒を飲みながら行う宴会。
- ウ サトウキビなどから作る甘味料。
- エ 建物や家具などの入口を開閉する戸。

(6) 「食酢」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 主にもち米を蒸してつき、形を整えた食品。
- イ 身に着ける衣類の総称。
- ウ 酸味を付け保存にも用いる液体の調味料。
- エ 作物の不作などで広い範囲に食料不足が起こること。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 酒宴 食酢 香辛料 被服 煎茶 天幕 砂糖 餅 甘味 飢饉 板戸 粘性 扉 大豆

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| (1) 祝勝の（ ）が夜遅くまで続いた。 | (8) 正月に家族で丸い（ ）を焼いた。 |
| (2) 寒冷地に合った（ ）を支給した。 | (9) 風を防ぐため、木の（ ）を閉めた。 |
| (3) 菓子に使う（ ）の量を少し減らした。 | (10) 畑で採れた（ ）からみそを仕込む。 |
| (4) 冷害による（ ）で、多くの人が食料を失った。 | (11) 料理に（ ）を加えて香りと辛みを出す。 |
| (5) 重い（ ）を押して倉庫へ入った。 | (12) 遠征軍は野営地に大きな（ ）を張った。 |
| (6) 米から作った（ ）で酢の物を調えた。 | (13) 果物の自然な（ ）を生かした菓子だ。 |
| (7) 急須で香りのよい（ ）をいれた。 | (14) この液体は（ ）が高く、ゆっくり流れる。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「酒宴」と「宴会」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 酒宴は人々が集まり飲食や余興を楽しむ会、宴会は酒を飲むことを中心に含む宴を表す。
- イ どちらも飲食する集まりなので、酒を中心とするかどうかは区別しない。
- ウ 酒宴は酒を飲むことを中心に含む宴、宴会は人々が集まり飲食や余興を楽しむ会を表す。
- エ 酒宴は夜、宴会は昼にだけ行う。

(2) 「甘味」と「砂糖」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 甘味は舌で感じる甘い味そのもの、砂糖は甘味を付けるため用いる具体的な食品材料を表す。
- イ 甘味は甘味を付けるため用いる具体的な食品材料、砂糖は舌で感じる甘い味そのものを表す。
- ウ どちらも甘さを表すため、感覚か材料かは区別しない。
- エ 甘味は自然、砂糖は人工の甘さだけを表す。

(3) 「煎茶」と「煎じ薬」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 煎茶は薬草などを煮出して成分を取り出す薬、煎じ薬は茶葉に湯を注いで味や香りを出す飲み物を表す。
- イ どちらも湯で成分を出すため、飲む目的や材料は同じである。
- ウ 煎茶は茶葉に湯を注いで味や香りを出す飲み物、煎じ薬は薬草などを煮出して成分を取り出す薬を表す。
- エ 煎茶は温かく、煎じ薬は冷たい飲み物だけを表す。

(4) 「被服」と「装束」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 被服は日常・仕事・儀礼を含む衣類の総称、装束は一定の儀礼や役目に合わせ整えた衣服一式を表す。
- イ 被服は一定の儀礼や役目に合わせ整えた衣服一式、装束は日常・仕事・儀礼を含む衣類の総称を表す。
- ウ どちらも身に着ける物なので、一般的な衣類が用途を定めた一式かは同じである。
- エ 被服は庶民、装束は貴族だけが着るものを表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)の材料を調べる」 B「祭礼の(B)を着ける」

- ア A=装束／B=被服 イ A=被服／B=被服
- ウ A=被服／B=装束 エ A=装束／B=装束

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「豆の(A)を生かす」 B「(B)を加えて煮る」

- ア A=砂糖／B=甘味 イ A=甘味／B=甘味
- ウ A=砂糖／B=砂糖 エ A=甘味／B=砂糖

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 未成年者のインシュは法律で禁じられている。 | (9) 机を作るため、乾燥させたイタザイを切った。 |
| (2) 学校のモンピは、夕方六時に閉まる。 | (10) い草を織ったタタミオモテを張り替えた。 |
| (3) 裁判でヒコクが、起訴内容について答えた。 | (11) 冬至にはアズキを入れた粥を食べる地域もある。 |
| (4) 酢に含まれるサクサンが、酸味を生む。 | (12) 食品に加えるコウリョウの量を確認した。 |
| (5) 飲み物のトウブンを表示で確かめた。 | (13) 江戸時代のバクフと藩の関係を学んだ。 |
| (6) 薄いセンベイを、音を立ててかじった。 | (14) 米こうじから、温かいアマザケを作った。 |
| (7) 干ばつが続き、地域は深刻なキガに陥った。 | (15) 土器を復元するため、柔らかなネンドを使った。 |
| (8) 正月には床の間へカガミモチを飾る。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|--------------|------------|-------------|-------------|---------------|
| (16) 烏帽子 () | (17) 酌 () | (18) 宛名 () | (19) 瑠璃 () | (20) 襲の色目 () |
|--------------|------------|-------------|-------------|---------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

宴の献立と飢えの帳簿

宮殿の酒宴記録には、砂糖を使った餅、食酢でしめた魚、大豆の料理、香辛料、煎茶が並ぶ。瑠璃の杯で酌をしたとあり、華やかな食文化を伝えている。

同じ年の村の帳簿には飢饉が記され、穀物を求める人が公会堂の扉へ列を作った。宴の甘味や豊かさは、社会全体に食料が行き渡ったことを意味しない。

宴の献立は豊かでも、同じ年の救済帳には穀物を求める人が並んでいた。一つの町の中に、満ち足りた食卓と飢えが共存する。

餅の粘性や酢の保存効果は調理法を示すが、高価な砂糖が使われた量は身分差も映す。献立を味の歴史だけでなく、供給と分配の歴史として読む必要がある。

【並べて読む】 食材の産地／運んだ人／食べた人／不足した地域／代用品

衣装帳には、綿の被服、烏帽子、襲の色目が細かく書かれた。

畳の部屋と屋外の天幕では装いが違い、板戸の内外で席順も分かれていた。衣服と空間が立場を表した。

招待状の宛名から、宴へ招かれた人は分かるが、料理人や運搬人の名は少ない。豪華な装束も、織り、染め、縫った人の労働を自動的に伝えない。

真央は宴の献立と飢饉の帳簿を同じ年の上下に置いた。悠人は「豊かな時代」という見出しを、「豊かさが偏って見える時代」へ直した。

真央は二冊を別の展示箱へ分けて、同じ年の上下へ置いた。対照が見えることで、数字の偏りも問い直せる。

食文化や装いは、人々の工夫と美意識を示す。

同時に、材料を得られた人と得られなかった人、名を残した人と労働だけを残した人も示す。華やかさの背後まで読むことで、文化の厚みが見えてくる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

(1) 本文中から、「衣を重ねたときの表裏や上下の色の組合せ」という意味で使われている語を抜き出
しなさい。

(2) 「ショクス」を漢字 2 字で書きなさい。

(3) 本文中の「烏帽子」の意味として最も近いものを選びなさい。

- ア 屋外で雨や日差しを防ぐため張る布。
- イ 古く男性が礼装などで頭にかぶったもの。
- ウ 手紙や荷物に記す送り先の名前。
- エ 物質が流れにくくねばる性質。

(4) 宴の献立だけで「豊かな時代」としなかったのはなぜか。

- ア 宴では砂糖が一切使われなかったから。
- イ 献立には食材の名前を書けなかったから。
- ウ 同じ年に飢饉と食料不足があり、宮殿の豊かさが社会全体へ行き渡ってはいなかったから。
- エ 飢饉の年には衣服を着なかったから。

(5) 招待客のほかに料理人や運搬人へ注目したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

(6) 「供給」「分配」の二語を用い、宴と飢饉の記録を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| (1) エ 酒を飲みながら行う宴会。 | (4) ア 作物の不作などで広い範囲に食料不足が起こること。 |
| (2) ウ 身に着ける衣類の総称。 | (5) エ 建物や家具などの入口を開閉する戸。 |
| (3) イ サトウキビなどから作る甘味料。 | (6) ウ 酸味を付け保存にも用いる液体の調味料。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|----------|
| (1) 酒宴 | (8) 餅 |
| (2) 被服 | (9) 板戸 |
| (3) 砂糖 | (10) 大豆 |
| (4) 飢饉 | (11) 香辛料 |
| (5) 扉 | (12) 天幕 |
| (6) 食酢 | (13) 甘味 |
| (7) 煎茶 | (14) 粘性 |

使い分けを確かめよう：酒宴は酒を飲むことを中心に含む宴、宴会は人々が集まり飲食や余興を楽しむ会を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ウ 酒宴は酒を飲むことを中心に含む宴、宴会は人々が集まり飲食や余興を楽しむ会を表す。

用例：客を酒宴でもてなす／祝賀の宴会を開く

(2) ア 甘味は舌で感じる甘い味そのもの、砂糖は甘味を付けるため用いる具体的な食品材料を表す。

用例：豆の甘味を生かす／砂糖を加えて煮る

(3) ウ 煎茶は茶葉に湯を注いで味や香りを出す飲み物、煎じ薬は薬草などを煮出して成分を取り出す薬を表す。

用例：客に煎茶を出す／薬草を煎じ薬にする

(4) ア 被服は日常・仕事・儀礼を含む衣類の総称、装束は一定の儀礼や役目に合わせ整えた衣服一式を表す。

用例：被服の材料を調べる／祭礼の装束を着ける

(5) ウ A＝被服、B＝装束。(4)の使い分けを参照。

(6) エ A＝甘味、B＝砂糖。(2)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 飲酒	(11) 小豆
(2) 門扉	(12) 香料
(3) 被告	(13) 幕府
(4) 酢酸	(14) 甘酒
(5) 糖分	(15) 粘土
(6) 煎餅	(16) えぼし
(7) 飢餓	(17) しゃく
(8) 鏡餅	(18) あてな
(9) 板材	(19) るり
(10) 畳表	(20) かさねのいろめ

七 文章の中で考えよう

- (1) 襲の色目 本文中では「襲の色目」と表されている。
- (2) 食酢
- (3) イ 古く男性が礼装などで頭にかぶったもの。
- (4) ウ 同じ年に飢饉と食料不足があり、宮殿の豊かさが社会全体へ行き渡ってはいなかったから。
- (5) 解答例 (48 字)

宴の華やかさは、記録に名が少ない人々が食材を運び、調理し、衣装を作る労働にも支えられているから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (71 字)

献立から食材の産地と供給経路を調べ、同じ年の飢饉帳簿と重ねる。だれへ食料が分配され、だれが不足したか、調理・運搬・被服を担った人の労働も示す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十七回

技法・工程・輸送

復元実験を、昔の技術の証明ではなく可能性を試す方法として使う。

今日の中心漢字

算 船 矢 穴 酸 垂 瓶 搭

いっしょに覚える漢字

弓	突	柄	帆	軌	舶
艇	弄	墳	擦	縛	窯

酸化・摩擦・窯など技法と構造に関わる語を確かめたあと、船と土器の復元実験を評価する文章を読みます。

[意味の芯](#) → [熟語](#) → [使い分け](#) → [短文](#) → [文章](#)

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
算	サン	数を計る／見込みを立てる 計算・算数・予算・換算	酸	サン・すい	すっぱい／水素イオンを生じる物質 酸化・酸性・酸素・炭酸
船	セン・ふね・ふな	水上を進む乗り物 船体・船員・造船・風船	垂	スイ・たれる・た らす	下へたれる 垂直・垂線・懸垂・垂木
矢	シ・や	弓で射る道具／方向を示す形 矢印・弓矢・矢先・一矢	瓶	ビン・かめ	口が狭い容器 瓶・花瓶・土瓶・瓶詰
穴	ケツ・あな	くぼんだ所／向こうへ通じる空間 穴・洞穴・風穴・穴場	搭	トウ	乗り物に載せる／組み入れる 搭載・搭乗・搭載量・搭載品

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
弓	キュウ・ゆみ	弦を張り矢を射る道具 弓・弓術・洋弓・弓形	艇	テイ	小型の船 小艇・艦艇・競艇・救命艇
突	トツ・つく	勢いよく押し当てる／急に出る 突起・衝突・煙突・突然	弄	ロウ・もてあそ ぶ・いじる・いら う	手でいじる／思うままに扱う 翻弄・弄ぶ・愚弄・弄する
柄	ヘイ・がら・え	手で持つ部分／模様や性質 矢柄・取っ手・人柄・図柄	墳	フン	土を盛った墓 古墳・墳丘・墳墓・円墳
帆	ハン・ほ	風を受け船を進める布 帆船・帆走・出帆・帆柱	擦	サツ・する・すれ る・こする・こす れる	こすれ合う 摩擦・擦過傷・擦る・擦れ
軌	キ	車輪の通る跡／一定の道筋 軌道・軌跡・常軌・軌間	縛	バク・しばる	ひもなどで結び動けなくする 結縛・束縛・捕縛・緊縛
舶	ハク	大きな船 船舶・舶来・舶載・商舶	窯	ヨウ・かま	陶器などを高温で焼く設備 窯・窯元・登窯・窯業

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「計算」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 数や式を用いて答えを求めること。
- イ 方向や関係を示す矢の形のしるし。
- ウ 物質が酸素と結び付くなどして起こる化学変化。
- エ 液体などを入れる口の狭い容器。

(2) 「船体」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物の表面や内部にあいたくぼみや空間。
- イ 水平面に対して直角に交わる向き。
- ウ 乗り物や機械に人・荷物・装置を積み載せること。
- エ 船の本体となる構造。

(3) 「矢印」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質が酸素と結び付くなどして起こる化学変化。
- イ 液体などを入れる口の狭い容器。
- ウ 方向や関係を示す矢の形のしるし。
- エ 数や式を用いて答えを求めること。

(4) 「穴」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 水平面に対して直角に交わる向き。
- イ 物の表面や内部にあいたくぼみや空間。
- ウ 乗り物や機械に人・荷物・装置を積み載せること。
- エ 船の本体となる構造。

(5) 「酸化」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 物質が酸素と結び付くなどして起こる化学変化。
- イ 液体などを入れる口の狭い容器。
- ウ 数や式を用いて答えを求めること。
- エ 方向や関係を示す矢の形のしるし。

(6) 「垂直」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 乗り物や機械に人・荷物・装置を積み載せること。
- イ 船の本体となる構造。
- ウ 物の表面や内部にあいたくぼみや空間。
- エ 水平面に対して直角に交わる向き。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 計算 垂直 矢柄 船体 瓶 帆船 矢印 搭載 軌道 穴 弓 船舶 酸化 突起

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| (1) 材料費と人件費を順に（ ）した。 | (8) 探査機には高性能のカメラが（ ）されている。 |
| (2) 修理中の船は（ ）の一部を陸に上げている。 | (9) 弦を引き絞った（ ）から矢を放つ。 |
| (3) 出口までの道を床の（ ）で示した。 | (10) 部品の（ ）が他の部分に当たっている。 |
| (4) 板に小さな（ ）を開け、ひもを通した。 | (11) 折れた矢の（ ）だけが地面に残った。 |
| (5) 鉄が空気中の酸素と結び付いて（ ）する。 | (12) 風を受けた（ ）がゆっくり港を離れた。 |
| (6) 柱が地面に対して（ ）か、器具で確かめた。 | (13) 人工衛星は地球の周りの（ ）を回る。 |
| (7) 薬品を褐色の（ ）に入れて保管する。 | (14) 大型の（ ）が安全に通れる航路を確保する。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「帆船」と「船舶」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 帆船は人や物を運ぶ船を広くまとめた総称、船舶は帆に風を受けて進む種類の船を表す。
- イ 帆船は帆に風を受けて進む種類の船、船舶は人や物を運ぶ船を広くまとめた総称を表す。
- ウ どちらも船を指すため、動力の種類か船全般かは区別しない。
- エ 帆船は木造、船舶は金属製の場合だけに用いる。

(2) 「酸化」と「腐食」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 酸化は化学反応により金属などの材料が損なわれる現象、腐食は物質が酸素と結び付くなどする化学変化を表す。
- イ どちらも表面の色が変わるため、反応そのものか材料の劣化かは同じである。
- ウ 酸化は空气中、腐食は水中だけで起こる。
- エ 酸化は物質が酸素と結び付くなどする化学変化、腐食は化学反応により金属などの材料が損なわれる現象を表す。

(3) 「垂直」と「直角」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 垂直は二本の線や面が九十度で交わる関係、直角は水平面などに対してまっすぐ立つ向きを表す。
- イ 垂直は水平面などに対してまっすぐ立つ向き、直角は二本の線や面が九十度で交わる関係を表す。
- ウ どちらも九十度に関わるため、向きか二者の交わりかは区別しない。
- エ 垂直は縦線、直角は横線だけを表す。

(4) 「摩擦」と「抵抗」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 摩擦は運動や働きに逆らって妨げる力を広く示す語、抵抗は接する物同士の動きを妨げる力を表す。
- イ どちらも進みにくくするため、接触面の力か広い妨げかは同じである。
- ウ 摩擦は固体、抵抗は液体にだけ生じる。
- エ 摩擦は接する物同士の動きを妨げる力、抵抗は運動や働きに逆らって妨げる力を広く示す語を表す。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)を復元する」 B「出土した(B)部材を調べる」

- ア A=帆船/B=船舶 イ A=船舶/B=帆船
- ウ A=帆船/B=帆船 エ A=船舶/B=船舶

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「帆柱を(A)に立てる」 B「部材を(B)に組む」

- ア A=直角/B=垂直 イ A=垂直/B=直角
- ウ A=垂直/B=垂直 エ A=直角/B=直角

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) サンスウの文章題を、図を描いて解いた。 | (9) 武士はキュウジュツの稽古を重ねた。 |
| (2) 青い試験紙で、液体がサンセイか確かめた。 | (10) 港に複数のカンテイが停泊していた。 |
| (3) 客船のセンインが、救命具を点検した。 | (11) 交差点で車同士がショウトツした。 |
| (4) 点から直線へスイセンを引いた。 | (12) 穏やかなヒトガラが、話し方にも表れている。 |
| (5) 博物館で古代のユミヤを見学した。 | (13) ヨットは風を受け、湾内をハンソウした。 |
| (6) 窓辺のカビンに、季節の花を生けた。 | (14) 彗星が空に残したキセキを観測した。 |
| (7) 石灰岩のホラアナを、照明を持って進んだ。 | (15) 海外から入った品を、昔はハクライ品と呼んだ。 |
| (8) 乗客は案内に従って飛行機ヘトウジョウした。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| (16) 翻弄 () | (17) 古墳 () | (18) 摩擦 () | (19) 結縛 () | (20) 窯 () |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

復元船は何を証明するか

海辺の古墳から、船体の板、弓と矢柄、土器の瓶が見つかった。研究班は小艇を復元し、船舶の一種である帆船でどこまで進めるか試した。悠人は成功すれば古代航路が証明されると思った。

【実験で記す条件】材料／寸法／風と波／乗員／失敗／現代の道具

まず搭載できる荷の量を計算し、帆柱を垂直に立て、縄で結縛した。板の穴や突起は出土品に合わせたが、木の種類や帆の布は推定を含む。復元物は遺物そのものではない。

復元船が進んだからといって、古代の航海が同じ条件で成功した証明にはならない。現代の材料と安全設備を区別する必要がある。

航海では風に翻弄され、予定の軌道から外れた。船底と水の抵抗、縄の摩擦、積荷の位置を変えると進み方も変わる。成功例だけでなく、失敗した条件が技法の限界を示した。

土器は窯の温度を変えて焼き、表面の酸化と色を比べた。古い瓶と似た色になっても、同じ工程だったとは限らない。別の材料や温度でも似た結果が生まれることがある。矢印で工程を示す際、確かな出土痕と実験上の選択を色分けした。弓の強さや矢の飛距離も、現代の作り手の技能に左右される。

真央は「航路を証明した」を「この条件なら航海できる可能性を示した」と直した。一度の成功は、昔の人が実際に同じ方法を選んだ証拠ではないからである。試験航海の記録には、成功だけでなく修理と中断も残した。できたことの範囲を狭く示すほど、実験の意味は明確になる。

復元実験は、過去をそのまま再現する装置ではない。材料と条件を明示し、結果が変わる境目を探る方法である。遺物・計算・失敗を往復すると、技法が働く範囲と残る不確かさが見えてくる。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「乗り物や機械に人・荷物・装置を積み載せること」という意味で使われている熟語を抜き出さなさい。

（2）「マサツ」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「結縛」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 船の本体となる構造。

イ 物体が運動するときに通る道筋。

ウ 縄やひもで結んで固定すること。

エ 陶磁器などを高温で焼く設備。

（4）復元船の成功を古代航路の証明としなかったのはなぜか。

ア 復元船には帆を付けることができなかったから。

イ 材料や条件に推定と現代の技能が含まれ、昔の人が同じ方法を用いた証拠にはならないから。

ウ 古代には計算という考えがなかったから。

エ 小艇は水上を進むことができないから。

（5）失敗した実験条件も記録したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「可能性」「証明」の二語を用い、復元実験の結果を述べる方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| (1) ア 数や式を用いて答えを求めること。 | (4) イ 物の表面や内部にあいたくぼみや空間。 |
| (2) エ 船の本体となる構造。 | (5) ア 物質が酸素と結び付くなどして起こる化学変化。 |
| (3) ウ 方向や関係を示す矢の形のしるし。 | (6) エ 水平面に対して直角に交わる向き。 |

四 熟語を広げよう

- | | |
|--------|---------|
| (1) 計算 | (8) 搭載 |
| (2) 船体 | (9) 弓 |
| (3) 矢印 | (10) 突起 |
| (4) 穴 | (11) 矢柄 |
| (5) 酸化 | (12) 帆船 |
| (6) 垂直 | (13) 軌道 |
| (7) 瓶 | (14) 船舶 |

使い分けを確かめよう：帆船は帆に風を受けて進む種類の船、船舶は人や物を運ぶ船を広くまとめた総称を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) イ 帆船は帆に風を受けて進む種類の船、船舶は人や物を運ぶ船を広くまとめた総称を表す。

用例：帆船を復元する／出土した船舶部材を調べる

(2) エ 酸化は物質が酸素と結び付くなどする化学変化、腐食は化学反応により金属などの材料が損なわれる現象を表す。

用例：鉄が酸化する／海水で金具が腐食する

(3) イ 垂直は水平面などに対してまっすぐ立つ向き、直角は二本の線や面が九十度で交わる関係を表す。

用例：帆柱を垂直に立てる／部材を直角に組む

(4) エ 摩擦は接する物同士の動きを妨げる力、抵抗は運動や働きに逆らって妨げる力を広く示す語を表す。

用例：船底と砂の摩擦を測る／水の抵抗を受ける

(5) ア A＝帆船、B＝船舶。(1)の使い分けを参照。

(6) イ A＝垂直、B＝直角。(3)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 算数	(11) 衝突
(2) 酸性	(12) 人柄
(3) 船員	(13) 帆走
(4) 垂線	(14) 軌跡
(5) 弓矢	(15) 舶来
(6) 花瓶	(16) ほんろう
(7) 洞穴	(17) こふん
(8) 搭乗	(18) まさつ
(9) 弓術	(19) けつぱく
(10) 艦艇	(20) かま

七 文章の中で考えよう

- (1) 搭載 本文中では「搭載」と表されている。
- (2) 摩擦
- (3) ウ 縄やひもで結んで固定すること。
- (4) イ 材料や条件に推定と現代の技能が含まれ、昔の人が同じ方法を用いた証拠にはならないから。
- (5) 解答例 (46 字)

成功例だけでは分からない、材料・風・積荷などのどの条件で技法が働かなくなるかを確かめるため。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

- (6) 解答例 (78 字)

材料・寸法・環境・現代の道具を明示し、その条件で技法が働く可能性を示す。一度の成功を過去の方法の証明とはせず、遺物の痕跡と一致する範囲、不確かな点を分ける。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと

第十八回

歴史・芸術・慣習

作品を一つの意味へ閉じず、制作・使用・受容の場を重ねて読む。

今日の中心漢字

絵 幸 礼 宮 劇 奏 祥 儒

いっしょに覚える漢字

墓	拝	殿	韓	莊	彫
呪	唐	琴	碑	摯	神※

儀礼・吉祥・儒学など歴史と芸術に関わる語を確かめたあと、地域史展の最後に置く一枚の絵巻を多面的に読みます。 ※再会漢字：神（第四冊第十八回）

意味の芯 → 熟語 → 使い分け → 短文 → 文章

一 今日の中心漢字の芯

字	主な読み	意味の芯／熟語	字	主な読み	意味の芯／熟語
絵	カイ・エ	色や線で表した像 絵巻・絵画・挿絵・絵図	劇	ゲキ	激しい／舞台上で演じる作品 演劇・劇場・悲劇・劇的
幸	コウ・さいわい・さち・しあわせ	よい巡り合わせ／しあわせ 幸福・幸運・不幸・多幸	奏	ソウ・かなでる	音楽をかなでる／申し上げる 演奏・合奏・奏者・奏上
礼	レイ・ライ	敬意を表す作法 儀礼・礼儀・礼拝・謝礼	祥	ショウ	めでたいしるし 吉祥・発祥・瑞祥・吉祥文
宮	キュウ・グウ・ク・みや	君主や神がいる建物 宮殿・神宮・王宮・宮廷	儒	ジュ	儒教を学ぶ人／儒教 儒学・儒教・儒者・大儒

二 いっしょに覚える漢字

字	主な読み	意味の方向／熟語	字	主な読み	意味の方向／熟語
墓	ボ・はか	遺体や遺骨を葬る場所 墓制・墓地・墓標・墳墓	呪	ジュ・シュ・のろ う・まじなう	言葉などで災いや加護を願う 呪術・呪文・呪い・呪符
拝	ハイ・おがむ	敬って頭を下げる／受ける 礼拝・拝見・拝借・参拝	唐	トウ・から	中国の王朝名／外国 唐代・唐文化・唐草・唐突
殿	デン・テン・と の・どの	大きな建物／敬称 神殿・宮殿・殿堂・御殿	琴	キン・こと	弦を張って奏でる楽器 琴・木琴・琴線・和琴
韓	カン・から	朝鮮半島の国名・地域名に用いる 韓国・三韓・韓流・訪韓	碑	ヒ	文字を刻んで立てる石 石碑・墓碑・碑文・記念碑
荘	ソウ・ショウ・チ ヤン・ほうき	おごそか／まとまった土地・建物 荘園・別荘・荘厳・山荘	摯	シ	まじめで心がこもる 真摯・摯実・摯情・懇摯
彫	チョウ・ほる	材料を刻んで形を作る 彫刻・彫像・木彫・浮彫	神 ※	シン・ジン・か み・かん・こう	再会：信仰の対象／人知を超える存在 神話・神社・精神・神聖

三 漢字の働きを考えよう

次の問いに答えなさい。

(1) 「絵巻」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 社会や宗教で定められた作法に従う行為。
- イ 絵と文章を横長の紙などに連続して表した巻物。
- ウ 俳優が台詞や動作で物語などを舞台上に表す芸術。
- エ よいことが起こる前触れ、またはめでたいこと。

(2) 「幸福」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 心が満たされ、しあわせであること。
- イ 君主などが暮らし政治や儀礼を行う建物。
- ウ 楽器を奏でたり歌を合わせたりして音楽を表すこと。
- エ 孔子の教えをもとに社会や道徳を考える学問。

(3) 「儀礼」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 俳優が台詞や動作で物語などを舞台上に表す芸術。
- イ よいことが起こる前触れ、またはめでたいこと。
- ウ 絵と文章を横長の紙などに連続して表した巻物。
- エ 社会や宗教で定められた作法に従う行為。

(4) 「宮殿」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 楽器を奏でたり歌を合わせたりして音楽を表すこと。
- イ 孔子の教えをもとに社会や道徳を考える学問。
- ウ 君主などが暮らし政治や儀礼を行う建物。
- エ 心が満たされ、しあわせであること。

(5) 「演劇」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア よいことが起こる前触れ、またはめでたいこと。
- イ 俳優が台詞や動作で物語などを舞台上に表す芸術。
- ウ 絵と文章を横長の紙などに連続して表した巻物。
- エ 社会や宗教で定められた作法に従う行為。

(6) 「演奏」の説明として最も適切なものを選びなさい。

- ア 楽器を奏でたり歌を合わせたりして音楽を表すこと。
- イ 孔子の教えをもとに社会や道徳を考える学問。
- ウ 心が満たされ、しあわせであること。
- エ 君主などが暮らし政治や儀礼を行う建物。

四 熟語を広げよう

次の文に合う熟語を、語群から選んで書きなさい。

【語群】 絵巻 演奏 神殿 幸福 吉祥 韓国 儀礼 儒学 莊園 宮殿 墓制 彫刻 演劇 礼拝

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) 長い（ ）に、都での暮らしと祭りが描かれている。 | (8) 江戸時代の藩校では（ ）が重んじられた。 |
| (2) 自分にとっての（ ）が何かを静かに考えた。 | (9) 古墳の形から当時の（ ）を考える。 |
| (3) 式の（ ）に従い、順に杯を交わした。 | (10) 聖堂で静かに祈り、（ ）をささげた。 |
| (4) 王は広大な（ ）で外国の使節を迎えた。 | (11) 古代都市の中央に大きな（ ）が建てられた。 |
| (5) 劇場で古典を題材にした（ ）を鑑賞した。 | (12) 隣国の（ ）を訪れ、文化交流を行った。 |
| (6) 弦楽器の（ ）が礼拝堂に響いた。 | (13) 中世には有力者の（ ）が各地に広がった。 |
| (7) 鶴や亀は（ ）の印として描かれてきた。 | (14) 石を削った精巧な（ ）が門を飾っている。 |

五 似た語を使い分けよう

それぞれの語の違いとして、最も適切なものを選びなさい。

(1) 「儀礼」と「礼拝」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 儀礼は社会や宗教で定められた作法に従う行為、礼拝は神仏などを敬って祈る行為を表す。
- イ 儀礼は神仏などを敬って祈る行為、礼拝は社会や宗教で定められた作法に従う行為を表す。
- ウ どちらも決まった作法を行うため、宗教的な祈りを中心とするかは区別しない。
- エ 儀礼は集団、礼拝は一人で行う。

(2) 「宮殿」と「神殿」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 宮殿は神を祭り宗教儀礼を行う建物、神殿は君主が暮らし政治や儀礼を行う建物を表す。
- イ どちらも立派な建物なので、居住・政治の場か祭祀の場かは同じである。
- ウ 宮殿は君主が暮らし政治や儀礼を行う建物、神殿は神を祭り宗教儀礼を行う建物を表す。
- エ 宮殿は木造、神殿は石造の場合だけに用いる。

(3) 「吉祥」と「幸福」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 吉祥はよい出来事の前触れやめでたいしるし、幸福は心が満たされしあわせである状態を表す。
- イ 吉祥は心が満たされしあわせである状態、幸福はよい出来事の前触れやめでたいしるしを表す。
- ウ どちらもよいことを表すため、象徴か心身の状態かは区別しない。
- エ 吉祥は未来、幸福は過去のよいことだけを表す。

(4) 「石碑」と「墓碑」の違いとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 石碑は墓に立て故人について記した碑、墓碑は出来事や人物を記念し文字を刻んだ石を表す。
- イ どちらも文字を刻んだ石なので、墓に関わるかどうかは区別しない。
- ウ 石碑は出来事や人物を記念し文字を刻んだ石、墓碑は墓に立て故人について記した碑を表す。
- エ 石碑は公共地、墓碑は私有地にだけ置かれる。

(5) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「(A)で使節を迎える」 B「(B)へ供物を運ぶ」

- ア A=神殿/B=宮殿 イ A=宮殿/B=宮殿
- ウ A=宮殿/B=神殿 エ A=神殿/B=神殿

(6) A・Bに入る語の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。A「橋の完成を(A)に刻む」 B「(B)の銘を読む」

- ア A=墓碑/B=石碑 イ A=石碑/B=石碑
- ウ A=墓碑/B=墓碑 エ A=石碑/B=墓碑

六 短文で使ってみよう

A カタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 近代のカイガを集めた展覧会を訪れた。 | (9) 村外れのボチに、古い石碑が並んでいる。 |
| (2) 古いゲキジョウを修復し、再び公演を始めた。 | (10) 物語の扉を開くジュモンを唱えた。 |
| (3) 天候に恵まれるコウウンが重なった。 | (11) ご著書をハイケンし、多くを学びました。 |
| (4) 学級の全員で器楽ガッソウを行った。 | (12) 名選手の記録が、スポーツのデンドウに展示された。 |
| (5) 相手を敬うレイギを、挨拶から学んだ。 | (13) 首脳のホウカン日程が発表された。 |
| (6) この地域は、ある祭礼のハッショウ地とされる。 | (14) 夏は山のベッソウで、涼しく過ごした。 |
| (7) 使節はオウキュウで国王へ謁見した。 | (15) 広場の中央に、人物のチョウゾウが立っている。 |
| (8) 東アジアに広がったジュキョウの教えを学んだ。 | |

B 次の熟語の読みを書きなさい。

- | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (16) 唐代 () | (17) 琴 () | (18) 石碑 () | (19) 真摯 () | (20) 神話 () |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

七 文章の中で考えよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一枚の絵巻に重なる世界

地域史展の最後に、宮殿から神殿へ進む儀礼を描いた絵巻を置くことになった。琴の演奏、仮面の演劇、吉祥の彫刻が続き、人々の幸福を願う華やかな場面である。

画面の端には墓制を示す石碑、荘園から運ばれた供物、呪術に用いる符も描かれていた。中心の行列だけを見ると、儀礼を支えた土地と死者への礼拝が見えなくなる。

絵巻の一場面には、儀礼、商い、祈り、遊びが同時に描かれていた。人物を一つの役割だけで読めば、場面の重なりを失う。

衣装には唐代の文様と、朝鮮半島の諸国を経て伝わった意匠が混ざる。現在の韓国を含む地域との交流史を、現代の国境へそのまま当てはめず、当時の呼称と経路を注記した。

絵巻の儒学者は礼を説き、神話を語る人は神々の加護を述べる。異なる考えが一つの行事に同席していた。作品全体を一つの宗教や思想だけで説明することはできない。

【作品を読む層】描かれた内容／作った人／使われた場／後世の見方／欠けた部分

後世の舞台では、この場面が悲劇として演じられた。元の絵巻にない台詞も加わるが、それを誤りとして捨てれば、時代ごとに作品を受け取り直した歴史が失われる。

悠人と真央は、絵巻・石碑・演劇台本を上下に並べた。真摯に原作へ向き合うことは、一つの正解へ固定することではない。何が受け継がれ、何が変わられたかを示すことである。

二人は視線の向きと持ち物をたどり、画面の外へ続く関係を矢印で示した。絵は静止していても、物語は動いている。

歴史と芸術は、過去を飾る付録ではない。人々が世界をどう見て、どの関係を大切に、後世がそれをどう読み替えたかを残す。複数の層を重ねた展示は、六冊目へ向かう新しい問いを開いた。

七 文章の中で考えよう（問い）

本文を根拠にして答えなさい。

（1）本文中から、「木・石・金属などを彫り、立体的な形を作る芸術」という意味で使われている熟語を抜き出さない。

（2）「ジュガク」を漢字 2 字で書きなさい。

（3）本文中の「墓制」の意味として最も近いものを選びなさい。

ア 君主が暮らし政治を行う建物。

イ 神仏などを敬い祈ること。

ウ 青色の宝石やそのような深い青色。

エ 墓の形や葬り方に関する制度・慣習。

（4）絵巻を一つの宗教や思想だけで説明しなかったのはなぜか。

ア 儒学・神話・礼拝など異なる考えと、複数地域から伝わった文様が同じ儀礼に重なっていたから。

イ 絵巻には人物が一人も描かれていなかったから。

ウ 儀礼では音楽を演奏できなかったから。

エ 石碑と絵巻は必ず同じ作者が作るから。

（5）後世の演劇で加わった台詞も展示したのはなぜか。45～55 字で説明しなさい。

（6）「制作」「受容」の二語を用い、歴史的な芸術作品を読む方法を 70～90 字でまとめなさい。

三 漢字の働きを考えよう

(1) イ 絵と文章を横長の紙などに連続して表した巻物。

(4) ウ 君主などが暮らし政治や儀礼を行う建物。

(2) ア 心が満たされ、しあわせであること。

(5) イ 俳優が台詞や動作で物語などを舞台上に表す芸術。

(3) エ 社会や宗教で定められた作法に従う行為。

(6) ア 楽器を奏でたり歌を合わせたりして音楽を表すこと。

四 熟語を広げよう

(1) 絵巻

(8) 儒学

(2) 幸福

(9) 墓制

(3) 儀礼

(10) 礼拝

(4) 宮殿

(11) 神殿

(5) 演劇

(12) 韓国

(6) 演奏

(13) 荘園

(7) 吉祥

(14) 彫刻

使い分けを確かめよう：儀礼は社会や宗教で定められた作法に従う行為、礼拝は神仏などを敬って祈る行為を表す。

五 似た語を使い分けよう

(1) ア 儀礼は社会や宗教で定められた作法に従う行為、礼拝は神仏などを敬って祈る行為を表す。

用例：即位の儀礼を描く／神殿で礼拝する

(2) ウ 宮殿は君主が暮らし政治や儀礼を行う建物、神殿は神を祭り宗教儀礼を行う建物を表す。

用例：宮殿で使節を迎える／神殿へ供物を運ぶ

(3) ア 吉祥はよい出来事の前触れやめでたいしるし、幸福は心が満たされしあわせである状態を表す。

用例：吉祥文を衣に配する／人々の幸福を願う

(4) ウ 石碑は出来事や人物を記念し文字を刻んだ石、墓碑は墓に立て故人について記した碑を表す。

用例：橋の完成を石碑に刻む／墓碑の銘を読む

(5) ウ A＝宮殿、B＝神殿。(2)の使い分けを参照。

(6) エ A＝石碑、B＝墓碑。(4)の使い分けを参照。

六 短文で使ってみよう

(1) 絵画	(11) 拝見
(2) 劇場	(12) 殿堂
(3) 幸運	(13) 訪韓
(4) 合奏	(14) 別荘
(5) 礼儀	(15) 彫像
(6) 発祥	(16) とうだい
(7) 王宮	(17) こと
(8) 儒教	(18) せきひ
(9) 墓地	(19) しんし
(10) 呪文	(20) しんわ

七 文章の中で考えよう

(1) 彫刻 本文中では「彫刻」と表されている。

(2) 儒学

(3) エ 墓の形や葬り方に関する制度・慣習。

(4) ア 儒学・神話・礼拝など異なる考えと、複数地域から伝わった文様が同じ儀礼に重なっていたから。

(5) 解答例（48 字）

原作との違いを示すことで、各時代の人々が作品へ新しい意味を与え、受け取り直した歴史も読めるから。

見る点：本文中の判断と、その理由を結びつけていること

(6) 解答例（76 字）

作品に描かれた内容だけでなく、材料・作者・使用場所から制作の背景を確かめる。さらに後世の演劇や解説による受容を重ね、何が継承され何が変えられたかを示す。

見る点：指定語を用いたこと／本文の具体と結論を結んだこと